

令和4年度
事業報告書

社会福祉法人萱垣会

令和4年度 事業報告

法人本部 本部1～23

飯田エリア 飯田エリア1～28

- 養護老人ホーム信濃寮
- ヘルパーセンターしなの
- かなえデイサービスセンター
- かなえ在宅介護支援センター
- シルバーハウスゆめの郷
- デイサービスセンター四季
- ゆめの郷ケアプランセンター
- 飯田市かなえ地域包括支援センター

阿南エリア 阿南エリア1～24

- 特別養護老人ホーム赤石寮
- 赤石寮グループホーム「やすらぎの郷」
- 新野デイサービスセンター
- 赤石寮居宅介護支援事業所
- 新野ホームヘルプセンターはなのき
- はなのき在宅介護支援センター
- 新野高齢者生活福祉センター

下條エリア 下條エリア1～35

- 養護盲老人ホーム光の園
- 特別養護老人ホーム第二光の園
- 下條村デイサービスセンター
- 光の園デイサービスセンター
- 光の園ホームヘルプセンター
- 光の園ケアプランセンター

中津川エリア 中津川エリア1～16

- 特別養護老人ホーム延暦寺広済寮
- ゆうらく苑デイサービスセンター
- 中津川市ゆうらく苑地域包括支援センター
- ゆうらく苑ケアプランセンター
- みなみ在宅介護支援センター

認定こども園鼎あかり保育園 あかり保育園1～7

鼎あかり児童クラブ 児童クラブ1～6

萱垣会職員状況 (参考資料)

社会福祉法人萱垣会 令和4年度事業報告

I 事業概要の報告

2020年以降3年数カ月に亘り、新型コロナウイルス感染症が日本中の医療・介護・保育を大混乱に陥れたところですが、去る5月8日感染法上の位置付けが第2類から第5類へと変更されました。令和4年度は法人内の事業所の多くの職員・利用者が罹患され、殊に介護現場では昼夜を分かたず尽力されたことに感謝を申し上げます。

法的にはインフルエンザと同等の5類とは言え、高齢者への感染は命にかかわることになるので気を緩めることなく緊張感をもって努めて行きたいと思えます。

さて、令和4年度の法人の大きな動きとしては、認定こども園高森あかり保育園の開園に向けて作業を進めてまいりました。保育園の運営主体が高森町営から民間法人へと運営を移管されたこともあり、保護者への説明会をはじめ地区説明会は十数回に上り、また当初の建設予定地が変更になるなどの紆余曲折がありました。町担当課の支援をいただきこの春4月1日に定員120名の保育園を開園することができました。この事業の総括をすれば、ウクライナ関連で資材や燃料の高騰が大きく響き、法人の予定価格よりも事業費が上回ってしまったことでもあります。心配していた職員の採用については、幸いにして定数以上の応募をいただき保育体制も充実してのスタートとなりました。

そして、令和4年度の末には高森あかり保育園に続いて松尾地区の飯田市松尾東保育園の民営化に参入することとなりました。まだ具体的な進捗計画は定まっていませんが、令和6年4月からは保育園の運営・経営主体が萱垣会となり、令和6年度中には新園舎を建設し令和7年春には新園舎での開園を迎えるという予定となっております。

各事業所で運営に大きな影響を及ぼしているものとして年度途中からの光熱水費、殊に電気ガス代金の高騰があります。これまでに経験をしたことのないほどの光熱水費の高騰は事業所運営に大きく影響を与えました。法人内のある介護施設では1カ月の電気料金が通常の数倍、300万円を超える事業所もありましたので、県の協会を通じ県担当課へも電気料等の助成を請願したところ、各事業所には応分の助成をいただきました。

その他各事業所の動きでは、光の園エリアに就業する外国人介護士の宿舎「トウインクル」が3月末に竣工しました。この事業には県・下条村からそれぞれ1700万円の補助を頂いております。これまでは下条村の村営住宅をお借りしていましたが敷地内から通勤することができ負担が大きく軽減されることになりました。

また、各デイサービスの稼働状況は数年前に比較して実績が低迷している傾向にあります。このことは当法人に限ったことではなく全国のデイサービスの利用状況もコロナ禍の影響から利用控えが大きく影響し、今後も運営が厳しいものになると予想します。

以上、令和4年度は保育園開園に向けての年となる一方で、各現場ではコロナの防疫対策の年でもありました。様々な事業所で介護・保育上の事故が後を絶たない現状から、一層事故防止に向けて努めて参ります。

II 事業の概要報告

1 飯田エリア

事業種別	名称	定員	稼働率%
第1種 養護老人ホーム	信濃寮	80人	90.6
〃 特別養護老人ホーム	シルバーハウスゆめの郷	68人	96.5
第2種 短期入所介護	シルバーハウスゆめの郷	4人	91.6
〃 通所介護	かなえデイサービスセンター	750/月	52.6
〃 通所介護	デイサービスセンター四季	750/月	61.3
〃 訪問介護	ヘルパーセンターしなの	—	—
公益 居宅介護支援事業所	ゆめの郷ケアプランセンター	70人	115.8
	地域包括支援事業所	—	—

2 阿南エリア

事業種別	名称	定員	稼働率%
第1種 特別養護老人ホーム	赤石寮	65人	95.7
第2種 短期入所介護	赤石寮	8人	91.5
〃 通所介護	新野デイサービスセンター	750/月	62.4
〃 認知症共同生活介護	やすらぎの郷	9人	96.7
〃 訪問介護	新野ホームヘルプセンター	3,150時間	7.3
公益 居宅介護支援事業所	赤石寮	59人	52.9
第2種 支援ハウス	新野高齢者生活福祉センター	10人	69.2

3 下條エリア

事業種別	名称	定員	稼働率%
第1種 養護盲老人ホーム	光の園	50人	95.5
〃 特別養護老人ホーム	第二光の園	60人	98.3
第2種 短期入所介護	第二光の園	6人	86.0
〃 地域密着型通所介護	デイサービスセンター幸齢館	750/月	69.0
〃 地域密着型通所介護	光の園デイサービスセンター	300/月	81.2
〃 訪問介護	光の園ホームヘルプセンター	3,612時間	78.7
公益 居宅介護支援事業所	光の園ケアプランセンター	109人	76.1

4 中津川エリア

事業種別	名称	定員	稼働率%
第1種 特別養護老人ホーム	延暦寺広済寮	70人	97.2%
第2種 短期入所介護	延暦寺広済寮	10人	60.6%
〃 通所介護	ゆうらく苑デイサービスセンター	750/月	68.7%
公益 居宅介護支援事業所	ゆうらく苑ケアプランセンター	87人	67.0%

5 鼎あかり保育園

事業種別	名称	定員	稼働率%
第2種 保育所	鼎あかり保育園	150人	108

6 鼎あかり児童クラブ

事業種別	名称	定員	稼働率%
放課後児童健全育成	鼎あかり児童クラブ	50人	95

III 法人本部事業

1 理事会

(1) 第1回理事会

- ① 開催日；令和4年6月9日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 出席者数；理事6人・監事4人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；萱垣光英 安静監事 鷲山監事 原監事 澤柳監事
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	令和3年度事法人及び事業所の第2次補正予算書(案)について	可決
2号議案	令和3年度事業報告及び計算書類等(案)について	可決
3号議案	令和3年度監事監査報告	可決
4号議案	新みつば保育園(仮称)入札結果と今後の工事予定について ① 建設業者入札の結果について ② 造成工事進捗状況について ③ 工事・事業工程について	可決 可決 可決
5号議案	下條エリア土地取得について	可決
6号議案	下條エリア土地取得にともなう定款変更について	可決
7号議案	下條エリア職員宿舍建設について	可決
8号議案	旧高森保育園(みつば保育園)の新名称について	可決
9号議案	その他 ① 光の園家族面会室工事(令和3年度長野県地域医療介護総合確保基金事業・介護施設等整備分)事業報告について ② パートタイム・有期雇用労働法に基づく報告の徴収の実施結果について ③ 新みつば保育園(仮称)の厨房機器入札にかかる業者指名三社(タムラ厨房、ホシザキ北信越、地球堂)案について	可決 可決 可決

(2) 第2回理事会

- ① 開催日；令和4年8月25日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 出席者数；理事6人・監事3人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；萱垣光英 安静監事 鷲山監事 澤柳監事
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	令和4年度敬老祝賀会について	可決
2号議案	旧みつば保育園、建設進捗状況について	可決
3号議案	旧みつば保育園、園名の公募について	可決
4号議案	赤石寮給湯配管設備の更新とデイサービス車両の購入について	可決
5号議案	令和4年10月～社会保険適用拡大にともなう法人の対応について	可決
6号議案	令和4年10月～最低賃金の引上げにともなう法人の対応について	可決
7号議案	評議員会決議の省略について	可決
8号議案	その他 ① 下條村職員宿舍施設整備事業について ② 全国的な措置控えの実態について ③ 高森保育園遊具コンペ入札について ④ 高森保育園器具備品入札について	可決 可決 可決 可決

(3) 第3回理事会

- ① 開催日；令和4年10月20日
- ② 場所；本部会議室
- ③ 出席者数；理事6人・監事4人（成立）
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；萱垣光英 安静監事 鷲山監事 原監事 澤柳監事
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	旧みつば保育園建設進捗状況について	可決
2号議案	旧みつば保育園遊具プロポーザル結果について	可決
3号議案	旧みつば保育園園名の公募結果と園名の決定	可決
4号議案	下條村職員宿舍トウインクル入札結果について	可決
5号議案	赤石寮給湯配管設備の更新入札結果について	可決
6号議案	令和4年10月～育児介護休業法改正に伴う対応について	可決
7号議案	経理規程の小口現金の取り扱い金額について	可決
8号議案	評議員会決議の省略について	可決
9号議案	その他 ① 飯田市社会福祉施設等原油価格等物価高騰対策支援事業補助金について	可決

(4) 第4回理事会

- ① 開催日；令和5年1月10日
- ② 萱垣会本部2階会議室
- ③ 出席者数；理事6人・監事3人（成立）

- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；萱垣光英 安静監事 鷲山監事 澤柳監事
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	高森保あかり保育園建設関係 ① 建設進捗状況 ② 園舎建設工事以外の備品等の購入について ③ 建設及び備品購入に係る借入金について ④ 保育士等職員の採用状況と令和5年度入園予定者状況 ⑤ 開園式の日程 ⑥ 内科医・歯科医の委託について	可決 可決 可決 可決 可決 可決
2号議案	松尾東保育園民営化による応募申請について	可決
3号議案	下條エリア、外国人介護士職員宿舍の建設について ① 進捗状況 ② 下條村の補助内容	可決 可決
4号議案	物価高騰に伴う市町村補助の概要	可決
5号議案	赤石寮給湯配管改修工事の完了について	可決
6号議案	経理規程の一部改正について	可決
7号議案	その他 ① 下條村幸学館一般競争入札について ② インフレ手当支給について(案)	可決 可決

(5) 第5回理事会

- ① 開催日；令和5年3月23日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 出席者数；理事6人・監事3人(成立)
- ④ 議長；萱垣光英
- ⑤ 議事録署名人；萱垣光英 安静監事 鷲山監事 澤柳監事
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	令和4年度法人及び事業所の補正予算書(案)について	可決
2号議案	令和5年度法人及び事業所の事業計画(案)について	可決
3号議案	令和5年度法人及び事業所の当初予算書(案)について	可決
4号議案	高森あかり保育園進捗状況と開園・入園式について	可決
5号議案	飯田市松尾東保育園の経営移管について	可決
6号議案	給与支払い明細書等の電子交付について	可決

7号議案	評議員決議の省略について	可決
8号議案	その他 ① 令和4年度経理監査について	可決

2 経理監査

(1) 令和3年度会計経理監査

コロナウイルス感染拡大防止の為、事前に書類監査後報告

- ① 開催日；令和4年6月1日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室
- ③ 監査員；安静監事 鷲山監事 原監事 澤柳監事
- ④ 監査エリア；本部 飯田エリア 下條エリア 阿南エリア 中津川エリア
- ⑤ 出席者；理事長・各エリア長・施設長・経理担当者

3 評議委員会

(1) 第1回評議員会決議事項（コロナ感染拡大防止の為決議の省略にて実施）

- ① 決議日；令和4年4月4日
- ② 同意者数；8人
- ③ 議長；
- ④ 議事録署名人；萱垣光英
- ⑤ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	令和3年度法人及び事業所の補正予算書（案）について	可決
2号議案	令和4年度法人及び事業所の事業計画（案）について	可決
3号議案	令和4年度法人及び事業所の当初予算書（案）について	可決

(2) 第2回評議員会決議事項

- ① 開催日；令和4年6月24日
- ② 開催場所；本部会議室
- ③ 出席者；評議員7名 理事6名 監事4名
- ④ 議長；伊藤昭和
- ⑤ 議事録署名人；萱垣光英 伊藤昭和 斎藤博人 花田百恵
- ⑥ 議案採決状況

議案番号	議案名	採決
1号議案	令和3年度法人及び事業所の事業報告及び計算書類・財産目録の承認について	可決
2号議案	令和3年度監事監査報告	可決
3号議案	定款変更の承認について	可決

4 敬老祝賀会

実施日	エリア名	出席者（理事、評議員、三者委員等）
令和4年9月15日	下條エリア（光）	—
令和4年9月15日	下條エリア（第2）	—
令和4年9月18日	飯田エリア（ゆ）	理事長
令和4年9月19日	飯田エリア（信）	理事長
令和4年9月21日	阿南エリア	理事長
令和4年9月20日	中津川エリア	理事長

5 サービス評価事業

実施日	エリア名	出席者（理事、評議員、三者委員等）
—	飯田エリア	コロナウイルス感染拡大防止のため中止
—	下條エリア	コロナウイルス感染拡大防止のため中止
—	阿南エリア	コロナウイルス感染拡大防止のため中止
—	中津川エリア	コロナウイルス感染拡大防止のため中止

IV エリア長会所管事業

1 着任式

- ① 日時；令和4年3月31日
- ② 場所；萱垣会本部2階会議室

2 新任職員研修

(1) 基礎研修 コロナ感染症拡大防止の為オンラインにて実施

実施日	場所	出席者数	講師名
令和3年3月7日	オンライン	8名	理事長 常務理事 各事業所施設長他
—	赤石寮	—	コロナウイルス感染拡大防止のため中止
—	広済寮	—	コロナウイルス感染拡大防止のため中止
—	光の園	—	コロナウイルス感染拡大防止のため中止
—	ゆめの郷	—	コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) 居士林研修

実施日	場所	備考
—	—	コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 職員採用試験

試験名	日程	受験者数	合格者数
第1回新規職員採用試験(保育)	令和4年7月1日	2名	2名
第2回新規職員採用試験(保育)	令和4年10月24日	2名	2名
第3回新規職員採用試験(介護)	令和4年8月10日	0名	0名

試験名	日程	受験者数	合格者数
正規登用試験(介護)	令和4年10月27日	2名	2名
正規登用試験(保育)	令和3年11月5日	1名	1名
試験名	日程	受験者数	合格者数
中途採用試験(正規)	令和4年4月15日	1名	1名
中途採用試験(正規)	令和5年1月16日	1名	1名

V 代表者会所管事業

1 満足度調査

コロナウイルス感染拡大防止の為中止

2 代表者会の概要(法令順守委員会を兼ねる)

実施日	議題	出席者数
—	新型コロナウイルス感染症予防対策の為、開催なし。	

VI 法人重点事項

1 法令遵守の方針(報酬、加算、運営基準、預り金)

萱垣会の運営する事業は、社会福祉事業法等の法制度に則り、公金(租税)を原資として運営している事業体であるので、公正・公平な運用を図る責務がある。よって、これらの事業の適正を図るための法令遵守責任者等を配置し、定期的な相互干渉を行った。

(1) 介護報酬請求の管理

法令遵守責任者は、介護報酬請求一覧表とチェック表を法令遵守担当者会議(代表者会)に提出し相互干渉を行う。

(2) 加算要件等の管理

法令遵守責任者は、加算要件チェック表を作成の上、法令遵守担当者会議に報告した。

(1)(2)の法令順守会議実施状況

実施日	方法	出席者数
実施なし	請求等の月次報告(1,2,3月)の相互干渉	—

(3) 運営基準の管理

「事業所管理者、相談員、ケアマネ、主任、副主任等、業務上必要となる職種とリーダーは、毎年度当初、運営基準の確認を行う」ことについて、各事業所で実施した。

(4) 利用者預り金の管理

各事業所で会計担当者以外の職員によるチェックを実施した。

2 事故対応

(1) 介護事故の予防

介護事故について、代表者会に概要を報告し意見交換を行った。各事業所で委員会の開催をしているが、現状では特効薬とはなっていない。次年度の重点対応事項にしたい。

介護事故発生の概況（転倒事故について対策を強化するため、全事故の中から抜粋した）

エリア名	行政へ報告が必要な事故	転倒（転落）事故	
		転倒・転落	転倒・転落しそうになった
飯田エリア	5件	50件	306件
阿南エリア	3件	48件	202件
下條エリア	3件	57件	70件
中津川エリア	4件	35件	40件
合計	15件	190件	618件

過去の状況（参考）

年度	行政へ報告が必要な事故	転倒（転落）事故	
		転倒・転落	転倒・転落しそうになった
2年度合計	23件	263件	448件
3年度合計	18件	235件	546件

(2) 保育事故の予防

保育事故について、代表者会に概要を報告し意見交換を行った。大きな保育事故は起こっていないが、予防の観点から保育中の事故内容を分析し次年度の重点対応事項にしたい。

エリア名	行政へ報告が必要な事故	園内・園外保育事故			
		骨折	火傷	打撲・捻挫	転倒
鼎あかり保育園	0件	0	0	6	0

過去の状況（参考）

年度	行政へ報告が必要な事故	園内・園外保育事故			
		骨折	火傷	打撲・捻挫	転倒
2年度	0件	0	0	2	0
3年度	0件	0	0	4	0

(3) 職員事故の予防

各事業所で実施した。

(4) 交通事故の予防

- ① エリアごと交通安全研修を実施した。
- ② 「地域版」安全運転マニュアルを作成した。
- ③ ドライブレコーダーを公用車全車装着した。

(5) 交通事故発生状況

エリア名	人身事故		車両破損等	
	加害側	被害側	加害側	被害側
飯田エリア	0件	0件	7件	0件
阿南エリア	0件	0件	0件	1件
下條エリア	0件	0件	0件	1件
中津川エリア	0件	0件	0件	0件
あかり保育園	0件	0件	0件	0件
合計	0件	0件	7件	2件

※車両破損はこすりキズ等の軽微なものも含む

過去の状況（参考）

年度	人身事故		車両破損等	
	加害側	被害側	加害側	被害側
2年度	0件	0件	5件	2件
3年度	0件	0件	3件	3件

3 収支マネジメント

(1) 稼働率の相互干渉

① 稼働率の相互干渉の実施状況

実施日	内容	出席者数
実施なし	請求等の月次報告（1. 2. 3月）の相互干渉	—
実施なし	収支の月次報告（4. 5. 6月）の相互干渉	—
実施なし	収支の月次報告（7. 8. 9月）の相互干渉	—
実施なし	収支の月次報告（10. 11. 12月）の相互干渉	—

② 稼働率の詳細はP2に掲載

4 地域貢献の見える化

厚生労働省社会・援護局「社会福祉法人の在り方等に関する検討会」において、社会貢献事業の実施の義務付けが提案され、29年度から制度化される。萱垣会では、それに先駆け、“見える化”の実施のため現状を評価してみた。

新制度では、会計に新たな科目を設置する方向などが検討中であり、今後、国から示される方針に合わせて対応する。

地域貢献活動の状況

エリア名	事業数	収入	支出	収支差
飯田エリア	13	1,432,900	2,173,750	△740,850
阿南エリア	8	731,080	1,146,770	△415,690
下條エリア	9	844,482	1,289,573	△445,091
中津川エリア	7	428,000	1,085,500	△657,500
法人合計	37	3,436,462	5,695,593	△2,259,131

過去の状況(参考)

地域貢献見える化の状況

年度	事業数	収入	支出	収支差
2年度	39	2,889,788	4,323,492	△1,433,074
3年度	38	2,669,759	4,372,371	△1,702,612

5 トイレ排泄の推進（おむつ外し）作戦

今後の介護報酬の方向性は「基本報酬；減」「加算報酬；増」の形が予測される。加算の趣旨は「サービス向上の成果に対する報酬」であるので加算対象の可能性もある。何より、利用者様の気持ちの良い排泄実現のためにトイレ排泄の推進について強化していきたい。

おむつ使用率の状況

施設名（定員）	おむつ使用者数（割合）			
	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月
ゆめの郷（68）	18（30.0）	23（38.3）	28（46.7）	37（54.5）
赤石寮（65）	26（37.1）	30（42.9）	34（48.6）	33（50.8）
第二光の園（60）	29（48.3）	31（53.4）	30（50.0）	30（50.0）
広済寮（70）	14（28.0）	10（20.0）	29（41.4）	32（45.7）
信濃寮（80）	3（8.8）	3（8.8）	1（1.3）	2（2.5）
光の園（50）	8（26.7）	6（21.4）	7（22.6）	8（17.4）

6 施設内での看取りの推進

“終の棲家”という位置付けの特別養護老人ホームは、看取りの場としての機能が求められ、加算が設定された。人生の最期の生活の場となるにふさわしいよう、介護の内容を充実させていく。

施設での看取り状況

	退所者数 (A)	看取り介護者数 (B)	看取り率 (B) ÷ (A)
ゆめの郷 (68)	32 人	27 人	84.4%
赤石寮 (65)	20 人	15 人	75.0%
第二光の園 (60)	14 人	13 人	92.9%
広済寮 (70)	22 人	9 人	40.9%
信濃寮 (80)	16 人	14 人	87.5%
光の園 (50)	7 人	6 人	85.7%
合計	111 人	84 人	75.6%

過去の状況 (参考)

前年 (参考)	退所者数 (A)	看取り介護者数 (B)	看取り率 (B) ÷ (A)
2 年度合計	86 人	63 人	73.2%
3 年度合計	81 人	62 人	76.5%

7 感染症、食中毒の状況

(1) 報告 (感染者 10 人以上保健所へ) には至らないまでも、感染者の発生は起こっており、早期に収束するよう引き続き対応を行っていく。

介護事業部 市町村へ報告を要する感染症発生の状況 (件数)

エリア名	感染症	食中毒	備考
飯田エリア	45	0	新型コロナウイルス
阿南エリア	95	0	新型コロナウイルス
下條エリア	13	0	新型コロナウイルス
中津川エリア	52	0	新型コロナウイルス
合計	205	0	

過去の状況 (参考)

年度	感染症	食中毒	備考
2 年度	0	0	
3 年度	2	0	

(2) 報告 (基本的に 2 人以上罹患した場合は行政 10 名以上は保健所) には至らないまでも、感染者の発生は起こっており、早期に収束するよう引き続き対応を行っていく。

エリア名	感染症	食中毒	備考
あかり保育園	112	0	コロナ感染者 84 名 インフルエンザ 28 名

過去の状況 (参考)

年度	感染症	食中毒	備考
2年度	0	0	
3年度	3	0	

8 その他

(1) 広報について

インターネットホームページの内容を増やしているが、定期に情報発信していく状況にはなっていない。更新の体制を整えていきたい。

(2) 職員採用

ホームページの求人欄の充実し応募者の増加をはかる。更新の体制を整えていく。

採用・離職の状況

エリア名	正規職員		契約職員	
	採用	離職	採用	離職
飯田エリア	8人	8人	1人	6人
阿南エリア	0人	1人	4人	4人
下條エリア	4人	8人	0人	4人
中津川エリア	2人	2人	11人	14人
あかり保育園	3人	2人	7人	0人
合計	17人	21人	23人	28人

過去の状況（参考）

年度	正規職員		契約職員	
	採用	離職	採用	離職
2年度合計	8人	9人	19人	21人
3年度合計	17人	12人	13人	22人

(3) 実習生受入れの指導充実

実習担当者の設置を行い、受入数の増加をはかっていく。

実習生受入れの状況；実人員（延べ日数）

エリア名	短期大学	大学	その他	合計
飯田エリア	7 (66)	2 (9)	0 (0)	9 (75)
阿南エリア	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
下條エリア	0 (0)	0 (0)	7 (7)	7 (7)
中津川エリア	0 (0)	0 (0)	3 (11)	3 (11)
あかり保育園	1(10)	3 (30)	1(2)	5(42)
合計	8 (76)	5 (39)	11 (20)	24 (135)

その他は、高校生、中学生等の職場体験（ZOOM 含）など

過去の状況（参考）

年度	短期大学	大学	その他	合計
2年度合計	6 (74)	1 (11)	30 (47)	37 (132)
3年度合計	5 (156)	1 (24)	3 (11)	18 (200)

(4) 人材育成、研修計画

① 福祉・介護・保育の資格試験

法人全体で、31人が資格試験に挑戦した。引き続き受験支援をしていきたい。

資格取得者（受験者数）

エリア名	介護福祉士	介護支援専門員	社会福祉士	保育士	合計
飯田エリア	0 (0)	0 (3)	0 (0)	—	0 (3)
阿南エリア	0 (0)	0 (3)	0 (0)	—	0 (3)
下條エリア	1 (2)	0 (0)	0 (1)	—	1 (3)
中津川エリア	0 (1)	0 (3)	0 (0)	—	0 (4)
あかり保育園	—	—	—	0	0 (0)
合計	1 (3)	0 (9)	0 (1)	0 (0)	1 (12)

過去の状況（参考）

年度	介護福祉士	介護支援専門員	社会福祉士	合計
2年度合計	3 (6)	2 (9)	0 (0)	5 (15)
3年度合計	3 (6)	4 (10)	1 (1)	8 (17)

② 専門研修の受講状況

介護サービスの向上のため、さらに受講者の増加をはかりたい。

介護報酬加算に影響する研修の終了者

エリア名	主任介護支援専門員	①認知症介護実践者	②認知症介護実践リーダー	③認知症介護指導者	喀痰吸引等研修
飯田エリア	0	0	0	0	0
阿南エリア	0	0	0	0	1
下條エリア	0	0	0	0	2
中津川エリア	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	3

※認知症介護実践者(県)⇒認知症介護実践リーダー(県)⇒認知症介護指導者(大府センタ)

過去の状況（参考）

年度	主任介護支援専門員	①認知症介護実践者	②認知症介護実践リーダー	③認知症介護指導者	喀痰吸引等研修
2年度合計	1	0	0	0	4

3年度合計	1	1	0	0	3
-------	---	---	---	---	---

③ 保育処遇改善に影響する研修の受講者

	幼児 保育	障害児 保育	乳児 保育	食育アレ ルギー	保健衛生 安全対策	保護者支援 子育て支援	マネジ メント	保育 実践
あかり	15	24	26	2	1	0	0	0

過去の状況（参考）

年度	幼児 保育	障害児 保育	乳児 保育	食育アレ ルギー	保健衛生 安全対策	保護者支援 子育て支援	マネジ メント	保育 実践
2年度	6	4	6	2	1	3	0	0
3年度	23	0	27	0	0	0	0	0

④ キャリア段位制度アセッサーの取得者

当該制度を活用し、職員の育成をはかる。アセッサー（評価者）の資格取得者の増加をはかる。

エリア名	合格（受験者）	氏名
飯田エリア	0 (0)	
阿南エリア	0 (0)	
下條エリア	0 (0)	
中津川エリア	0 (0)	
合計	0 (0)	

過去の状況（参考）

年度	合格（受験者）	氏名
2年度合計	0 (0)	—
3年度合計	0 (0)	—

⑤ キャリア段位認定者

エリア名	レベル1	レベル2	レベル3	合計
飯田エリア	0	0	0	0
阿南エリア	0	0	0	0
下條エリア	0	0	0	0
中津川エリア	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

過去の状況（参考）

年度	レベル1	レベル2	レベル3	合計
令和2年度	0	0	0	0

令和3年度	0	0	0	0
-------	---	---	---	---

キャリア段位制度

シルバーサービス振興会「介護プロフェッショナル・キャリア段位制度」が、本格的に稼働した。当該制度は自動車学校の指導と同じように業務中の行動を評価し指導するOJT型の育成制度であり、全国的に統一された制度である。

所管が内閣府から厚生労働省へと移管されたこと、処遇改善加算のキャリア要件に記載されたことなどから、介護保険制度への連動が予測される。

⑥ 報奨考課制度

介護サービスの提供態度等について、個々の良い点を職員相互が評価し合う報奨制度を実施した。現状では、実施したエリアは1か所にとどまったが、引き続き実施の推進をはかりたい。考課に対するアレルギーが推進の障害になっているが、実施した所では好ましい効果も見られている。

「福祉サービス第三者評価」の評価項目

一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。 ⇒ 「評価とは」…人事考課制度等

「介護職員処遇改善加算」の資質の向上の要件

研修の受講やキャリア段位制度と人事考課と連動する。

(5) 補助金関係の施設整備事業

補助金（交付金）を取得した事業は以下のとおり

エリア名	事業名（補助団体）	補助金額
飯田エリア	・価格高騰対策支援金（県）	1,978,000円
	・感染予防対策交付金(市)	2,200,000円
	・食糧費等物価高騰対策補助金(市)	2,862,000円
	・原油価格等物価高騰対策補助金(市)	5,344,341円
阿南エリア	・価格高騰対策支援金（県）	1,333,000円
	・介護事業所等の長距離通勤支援事業補助金（町）	459,860円
	・赤石寮給湯配管設備更新事業補助金（町）	3,500,000円
	・新型コロナウイルス感染症による小学校等対応助成金(国)	50,130円
下條エリア	・外国人介護人材住居借上支援事業（長野県）	172,000円
	・EPA介福士候補者学習支援補助金（長野県）	900,000円
	・キャリア段位処遇改善補助金（下條村）	555,000円
	・ショートステイ利用居住費補助金（下條村）	976,205円
	・新型コロナウイルス抗原検査助成金（下條村）	40,000円
	・新型コロナウイルス抗原検査等助成金（下條村）	986,220円
	・原油価格等物価高騰対策事業補助金（下條村）	2,020,000円
	・地域介護・福祉空間整備等補助金（下條村）	4,180,000円
中津川エリア	・EPA介福士候補者学習支援補助金（岐阜県）	585,000円

	<ul style="list-style-type: none"> ・岐阜県介護サービス事業所等食材料費等負担軽減支援金 ・岐阜県高齢者施設等光熱費高騰対策支援金 ・中津川市社会福祉事業所物価高騰支援交付金 ・岐阜県緊急時介護人材確保・職場環境復旧等事業費補助金 	<p>1,332,348 円</p> <p>1,161,600 円</p> <p>1,600,000 円</p> <p>3,030,000 円</p>
あかり保育園	・保育対策総合支援事業（市）	500,000 円
あかり児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・特別保育事業補助金（市） ・民間保育所 ICT 化推進補助金（市） ・放課後児童健全育成事業補助金（市） 	<p>6,111,000 円</p> <p>895,000 円</p> <p>8,772,000 円</p>
合計		51,543,704 円

高額購入品・修繕

エリア名	事業名（入札・随意契約の別）	金額
飯田エリア	—	—
阿南エリア	赤石寮給湯配管設備更新工事（入札）	7,000,000 円
	新野デイサービスセンターリフト車購入	3,213,800 円
	赤石寮グループホームシステムキッチン入替	496,500 円
下條エリア	業務用冷凍冷蔵庫購入	1,456,400 円
	75人槽チェッカープレート改修工事	550,000 円
中津川エリア	—	—
あかり保育園	公用車購入	1,799,450 円
あかり児童クラブ	午睡用センサーマット	1,903,330 円
合計		16,419,480 円

(6) 職員の給与改善に関する変更事項

職員の給与改善に係る協議を行い、以下のとおり変更した。

- ① 新卒介護職員の本俸に、介護福祉士手当を含める。

(7) 会計業務の相互干渉

会計事務を確実にを行うため、各エリアの事務担当者が本部事務所において、相互干渉をおこなった。

① 給与支払い事務の相互干渉

月	最終決裁者	相互干渉職員名（本部事務所）
4月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 佐々木ゆかり
5月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 佐々木ゆかり
6月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 佐々木ゆかり
7月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 佐々木ゆかり
8月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳

8月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳
9月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳
10月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳
11月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳
12月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳
1月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳
2月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳
3月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 城田照美 木下いそみ 松原由佳

② 業者支払い事務の相互干渉

月	最終決裁者	相互干渉職員名
4月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 佐々木ゆかり
5月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 佐々木ゆかり
6月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 佐々木ゆかり
7月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳
8月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳
9月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳
10月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳
11月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳
12月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳
1月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳
2月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳
3月	萱垣光英	伊藤拓郎 吉澤幸子 栗生良子 古田真弓 松原由佳

(8) 事業の改廃の状況

① 新規事業

エリア名	事業名	開設日
飯田エリア	なし	—
阿南エリア	なし	—
下條エリア	なし	—
中津川エリア	なし	—
あかり保育園	なし	—

② 休止・廃止事業

エリア名	事業名	休止・廃止日
飯田エリア	なし	—

阿南エリア	なし	—
下條エリア	なし	—
中津川エリア	なし	—
あかり保育園	なし	—

(9) 預り金監査事務、介護報酬加算要件確認の状況

① 飯田エリア (信濃寮)

○ 預り金定期監査事務

月	最終決裁者	監査人	事務担当者	実施日
4月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	4月10日
5月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	5月10日
6月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	6月10日
7月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	7月10日
8月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	8月10日
9月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	9月10日
10月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	10月10日
11月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	11月10日
12月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	12月10日
1月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	1月10日
2月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	2月10日
3月	宮澤正夫	萱垣尚英	宮澤 純	3月10日

○ 介護報酬請求事務 (加算等請求要件の確認)

月	最終決裁者	確認者	事務担当者	請求日
4月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	4月8日
5月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	5月8日
6月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	6月8日
7月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	7月8日
8月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	8月8日
9月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	9月8日
10月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	10月8日
11月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	11月8日
12月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	12月8日
1月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	1月8日
2月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	2月8日
3月	宮澤正夫	井伊 愛	林 彩	3月8日

② 飯田エリア (ゆめの郷)

○ 預り金定期監査事務

月	最終決裁者	監査人	事務担当者	実施日
4月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	—
5月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	5月20日
6月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	—
7月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	—
8月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	8月20日
9月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	—
10月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	—
11月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	11月20日
12月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	—
1月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	—
2月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	2月20日
3月	萱垣充英	山田美勝	上嶋秀子	—

○ 介護報酬請求事務（加算等請求要件の確認）

月	最終決裁者	確認者	事務担当者	請求日
4月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	4月9日
5月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	5月9日
6月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	6月9日
7月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	7月9日
8月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	8月9日
9月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	9月9日
10月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	10月9日
11月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	11月9日
12月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	12月9日
1月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	1月9日
2月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	2月9日
3月	萱垣充英	吉澤幸子	上嶋秀子	3月9日

2 阿南エリア

○ 預り金定期監査事務

月	最終決裁者	監査人	事務担当者	実施日
4月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	4月1日
5月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	—
6月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	—
7月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	7月1日
8月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	—
9月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	—
10月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	10月1日
11月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	—
12月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	—

1月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	1月1日
2月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	—
3月	芝田和弘	長谷 たつ江	城田 照美	—

○ 介護報酬請求事務（加算等請求要件の確認）

月	最終決裁者	確認者	事務担当者	請求日
4月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	4月10日
5月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	5月10日
6月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	6月10日
7月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	7月10日
8月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	8月10日
9月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	9月10日
10月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	10月10日
11月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	11月10日
12月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	12月10日
1月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	1月10日
2月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	2月10日
3月	芝田和弘	長谷 たつ江	栗生 良子	3月10日

3 下條エリア

○ 預り金定期監査事務

月	最終決裁者	監査人	事務担当者	実施日
4月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	—
5月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	—
6月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	7月25日
7月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	—
8月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	—
9月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	10月2日
10月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	—
11月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	—
12月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	1月20日
1月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	—
2月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	—
3月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	4月27日

○ 介護報酬請求事務（加算等請求要件の確認）

月	最終決裁者	確認者	事務担当者	請求日
4月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	4月10日
5月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	5月10日
6月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	6月9日
7月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	7月10日

8月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	8月10日
9月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	9月9日
10月	東海林真	熊谷栄美	萩野俊樹	10月10日
11月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	11月9日
12月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	12月10日
1月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	1月10日
2月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	2月9日
3月	東海林真	小林由実	萩野俊樹	3月9日

4 中津川エリア

○ 預り金定期監査事務

月	最終決裁者	監査人	事務担当者	実施日
4月	萱垣憲英	熊崎 厚	島崎さちみ	—
5月				—
6月				6月30日
7月	萱垣憲英	熊崎 厚	島崎さちみ	—
8月				—
9月				9月30日
10月	萱垣憲英	熊崎 厚	島崎さちみ	—
11月				—
12月				12月26日
1月	萱垣憲英	熊崎 厚	島崎さちみ	—
2月				—
3月				3月31日

○ 介護報酬請求事務（加算等請求要件の確認）

月	最終決裁者	確認者	事務担当者	請求日
4月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	4月9日
5月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	5月9日
6月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	6月9日
7月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	7月9日
8月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	8月8日
9月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	9月9日
10月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	10月9日
11月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	11月9日
12月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	12月9日
1月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	1月9日
2月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	2月9日
3月	萱垣憲英	太田 崇	松原由佳	3月9日

5 あかり保育園

○ 保育措置費請求事務（加算等請求要件の確認）

月	最終決裁者	確認者	事務担当者	請求日
4月	福岡恵子	—	福澤遥平	4月16日
5月	福岡恵子	—	福澤遥平	5月9日
6月	福岡恵子	—	福澤遥平	6月6日
7月	福岡恵子	—	福澤遥平	7月9日
8月	福岡恵子	—	福澤遥平	8月7日
9月	福岡恵子	—	福澤遥平	9月9日
10月	福岡恵子	—	福澤遥平	10月9日
11月	福岡恵子	—	福澤遥平	11月12日
12月	福岡恵子	—	福澤遥平	12月9日
1月	福岡恵子	—	福澤遥平	1月10日
2月	福岡恵子	—	福澤遥平	2月12日
3月	福岡恵子	—	福澤遥平	3月11日

令和4年度 飯田エリア事業報告（案）

目次

I	利用者処遇	
1	利用者サービスの状況（振り返り）	1
2	看取りの状況	2
3	行事報告	4
II	運営管理（サービス状況報告）	
1	苦情解決報告	10
2	事故対応報告	11
3	ひやり・ハットの状況報告	12
4	身体拘束の状況報告	13
III	会計・経理	
1	主な収入、人件費の状況（エネルギー支出）	14
2	経営の状況（振り返り）	15
IV	安全対策	
1	災害安全対策の状況	
(1)	避難誘導訓練の状況	16
(2)	点検の状況	16
2	交通安全対策の状況	
(1)	交通安全対策の状況	16
(2)	事故発生の状況	16
V	職員関係	
1	必須委員会、研修会の実施状況	
(1)	苦情解決委員会	17
(2)	事故防止委員会	19
(3)	身体拘束委員会	21
(4)	感染症及び食中毒防止委員会	23
(5)	褥瘡予防委員会	25
2	職員研修の状況	27
3	人材育成の状況	27
VI	その他	
1	預り金の状況	28

エリア名	記載者	記載日
飯田エリア	萱垣充英	令和5年5月1日

I 利用者処遇

1 サービスの状況（振り返り）

（1）信濃寮(入所定員80名)

各市町村の措置入所待機者数について。しばらく一桁台が続いていたが昨年夏頃より徐々に増え待機者が二桁に増加した。しかし、緊急措置者として含まれない状況もあり措置へと繋がらなかった。結果、9割以上の入所は保っていたものの、空室期間が一定数続いたため運営に影響を与えた。物価高騰・エネルギー費の上昇が与える運営への影響は大きく、早急に対策を講じていきたい。

コロナ禍の中でも、施設内行事・余暇活動を継続的に実施し入所者様が楽しんで過ごしていただけるよう行事の充実を図った。

（2）かなえデイサービスセンター（一般型通所介護定員30名 認知症対応型定員10名）

令和4年12月に新型コロナウイルス感染症においてクラスター発生し10日間の休館を余儀なくされた。そのためデイサービス利用稼働率が低下。更に施設入所、入院、死亡等があり稼働率は伸び悩んだ一年となった。配食サービス事業については、需要の受入を拡大し地域貢献の一環とした。

（3）ゆめの郷ケアプランセンター

令和4年度は飯田市内のデイサービスや短期入所でクラスターが多発し受入れ停止となった事業所もあり利用者様の代替サービスに苦戦をした。

（4）シルバーハウスゆめの郷（長期入所定員68名 短期入所定員4名）

令和4年5月に16名(利用者10名、職員6名)、同年11月に7名(利用者5名、職員2名)の新型コロナウイルスクラスターが発生した。全利用者が施設内療養となったが職員、嘱託医、感染管理認定看護師の連携のもと対応した。クラスター対応の経験から赤石寮大規模クラスターへ看護師を1名派遣した。年間退所者が32/68であり、平均利用日数が1年11カ月であり看取りケアの重要性を痛感した。

（5）デイサービスセンター四季（一般型通所介護定員30名）

令和4年10月に新型コロナウイルスクラスターが発生し7日間の休館とした。年間稼働率は74.2%(前年比76.4%)であり、特に下半期に稼働率を下げた。しかし平均介護度が上がったため収入については同水準であった。職員不足もあり、労務環境の改善が今後の課題である。

（6）飯田市かなえ地域包括支援センター

・新規相談件数は、214件あり、昨年は188件となっており、増加傾向です。コロナウイルス蔓延期間では、本人家族の感染による日常生活の困りごとが寄せられたことが特徴的である。また猛暑の影響で、熱中症、脱水による入退院も多くあった。「医療に関すること」46件、「日常生活に関すること」154件、「介護保険に関すること」149件といずれも昨年比でも、増加傾向。「認知症に関すること」39件「介護予防に関すること」12件「総合事業に関すること」42件、常に相談内容として高数値を示している点では、様々なメディアで取り上げられることもあり、関心が高くなっていると考えられる。

2 看取りの状況

(1) 信濃寮

令和4年度

	氏名	逝去場所	日付	最大疾患（死因）	ターミナル	入所期間	享年
1	A	病院	4/3	心不全	2ヶ月	8年7月	78歳
2	B	施設	5/14	呼吸不全	3ヶ月	6年8月	95歳
3	C	施設	6/11	大腸がん	日	9年9月	89歳
4	D	病院	6/24	縊頸	1日	0年11月	73歳
5	E	病院	6/25	老衰	1月	5年2月	85歳
6	F	施設	7/1	肺癌	2月	1年4月	79歳
7	G	施設	7/17	老衰	1月	10年5月	108歳
8	H	施設	8/9	老衰	21日	11年1月	100歳
9	I	施設	11/9	呼吸不全	2月	10年6月	91歳
10	J	病院	11/15	老衰	3月	1年7月	85歳
11	K	病院	12/22	心不全	1日	2年1月	73歳
12	L	施設	12/27	敗血症	14日	1年6月	67歳
13	M	施設	2/16	誤嚥性肺炎	1月	3年6月	88歳
14	N	施設	2/24	呼吸不全	3月	3年10月	87歳

※1 網掛け→病院での逝去 ※2 二重線→四半期ごとの区切り

(2) ゆめの郷

記載者：山田美勝

記載日：令和5年4月27日

	氏名	逝去場所	日付	最大疾患（死因）	ターミナル	入所期間	享年
1	A	施設	4/24	老衰	16日間	2年3ヵ月	88歳
2	B	施設	6/10	老衰	1ヵ月	3年10ヵ月	88歳
3	C	病院	6/11	肺炎治療中急変	10日間	3年1ヵ月	88歳
4	D	施設	6/13	老衰	1ヵ月	5ヵ月	95歳
5	E	病院	6/14	老衰	2週間	7ヵ月	92歳
6	F	施設	6/20	老衰	3週間	1年4ヵ月	92歳
7	G	施設	7/4	老衰	20日間	9ヵ月	97歳
8	H	病院	7/9	誤嚥性肺炎	3週間	1年0ヵ月	81歳
9	I	施設	7/21	老衰	2ヵ月	5年6ヵ月	90歳
10	J	施設	8/3	老衰	2ヵ月	1年0ヵ月	95歳
11	K	施設	8/20	胆管癌	7ヵ月	4年5ヵ月	85歳
12	L	施設	8/27	老衰	1ヵ月	1年8ヵ月	95歳
13	M	施設	8/28	老衰	2ヵ月	1年4ヵ月	99歳
14	N	施設	8/29	老衰	2ヵ月	1年3ヵ月	86歳
15	O	施設	8/30	老衰	20日間	2年1ヵ月	95歳
16	P	施設	10/13	老衰	40日間	1年4ヵ月	99歳
17	Q	施設	10/14	老衰	20日間	2ヵ月	95歳
18	R	施設	10/25	老衰	3日間	3ヵ月	96歳
19	S	施設	11/4	老衰	1ヵ月	7年4ヵ月	92歳
20	T	施設	11/6	老衰、誤嚥性肺炎	1ヵ月	4ヵ月	95歳
21	U	施設	11/8	老衰	1ヵ月	3年3ヵ月	95歳
22	V	施設	11/22	老衰	1ヵ月	1年2ヵ月	83歳

23	W	施設	11/23	老衰、脳梗塞、心不全	1ヵ月	1年5ヵ月	90歳
24	X	施設	12/4	老衰、クモ膜下出血	10日間	4年8ヵ月	108歳
25	Y	施設	12/15	老衰	2ヵ月	4ヵ月	91歳
26	Z	病院	12/15	低アルブミン血症	40日間	9ヵ月	81歳
27	A*	施設	12/23	老衰	1ヵ月	1年6ヵ月	96歳
28	B*	施設	1/3	老衰	20日間	11ヵ月	94歳
29	C*	施設	1/13	老衰	1ヵ月	3年3ヵ月	90歳
30	D*	施設	1/20	老衰	2週間	6ヵ月	95歳
31	E*	施設	1/25	老衰	1ヵ月	3年4ヵ月	96歳
32	F*	施設	1/26	癌(原因不明)	2週間	1ヵ月	86歳

※最大疾患(死因)及びターミナル期間は診断書を基に記載しました。

- ・信濃寮退所者(転寮、転院、逝去)は16件、そのうち特養転寮した者が1件、医療機関へ転院した者が1件、急変を含めて逝去した者が14件であった。今年度退所した方の平均年齢は91.2歳でした。
- ・令和4年度ゆめの郷の退所者は32名(平均年齢92歳)、開設以来退所者が最多となった。(令和3年度28名) 施設の平均利用日数は1年11ヵ月、長期利用者68名に対し1年で約半数の利用者様が入れ替わるペースであり、特養の役割の一つでもある看取りケアの理解をより深める必要性と、目まぐるしく変わる状況の中でユニットケアをどう実現させていくかが課題として残る。
コロナ対応として今年度も看取り期は短時間面会を可能とした。

施設名	記載者	記載日
養護老人ホーム 信濃寮	萱垣尚英	令和 5年 5月 1日

3 行事報告

	季節の行事	お楽しみ	誕生会	その他
4月	よもぎ会(1) 一色獅子舞(10) いちご会(25) ※喬木村イチゴ 30 パック	出張理美容(中止)	誕生会(18)	売店(毎水) PT指導(中止) 飯田市介護相談員(中止) 胸部レントゲン(13)
5月	八十八夜茶会(2) 花祭り(6) 母の日(9) 握り寿司の日(23)	出張理美容(17) 趣味の集い(中止)梅漬け(23)	誕生会(23)	売店(毎水) 飯田市介護相談員(休止)
6月	夜間想定避難訓練(3) 父の日(17) 五平餅会(中止)	出張理美容(20)	誕生会(24)	健康診断(13) 売店(毎水) PT指導(20) 飯田市介護相談員(休止)
7月	シャワー浴開始(1) 仏器磨き(8) 土用の丑(22)	出張理美容(18)	誕生会(22)	参議院不在者投票(6) 売店(毎水) 飯田市介護相談員(休止)
8月	アイス販売開始(1) なごみ祭(5) お施餓鬼(8) 迎え火(13) 送り火(16)	出張理美容(12)	誕生会(22)	長野県知事不在者投票(3) 売店(毎水) 飯田市介護相談員(休止) ワクチン接種(18.25)
9月	敬老祝賀会(19) 彼岸法要(12) 一泊旅行(中止) 鼎中文化祭交流(中止)	出張理美容(20)	誕生会(26)	婦人会作業奉仕(5) 売店(毎水) ワクチン接種(1) 飯田市介護相談員(休止)
10月	ケース研究会市町村(3.7.14.17) 県小運動会交流(中止) 握り寿司の日(21) 地震防災避難訓練(31)	出張理美容(18)	誕生会(21)	売店(毎水)・PT指導(18)・飯田市 介護相談員(休止) 高齢者クラブ年輪会作業奉仕(13)
11月	柿取り、柿剥き、柿干し(4) インフルエンザ予防接種(17.18)	出張理美容(14)	誕生会(21)	日赤奉仕(4) 売店(毎水) 介護の日、 飯田市介護相談員(休止)
12月	成道会(中止) ゆず湯(17.18.20.22) クリスマス会(23) 餅つき(26) カレンダー配布(28) 大晦日・年越し(31)	出張理美容(19)	誕生会・忘年会 (16)	健康診断(13) 売店(毎水) 飯田市介護相談員(休止) PT指導(中止) ワクチン接種(12.15.19)
1月	新年親睦会(1)・初詣(1)書初め(2) 初売り(4)・七草(7) 鏡開き(9) 餅花作り(9) 小正月(15)	出張理美容(16)	誕生会(23)	売店(毎水) 飯田市介護相談員(休止)
2月	節分(3) 針供養・涅槃会(13)	出張理美容(20)	誕生会(21)	売店(毎水) PT指導(20)
3月	ひな祭り(3) 彼岸法要(20)	出張理美容(20)	誕生会(24)	売店(毎水)

施設名	記載者	記載日
シルバーハウスゆめの郷	山田 美勝	令和5年 4月 27日

3 行事報告

	季節の行事	施設全体でのお楽しみ	ユニット行事	その他
4月		お花見	各ユニット メニュー	PT指導月 4日
5月	母の日 花まつり(中止)		各ユニット メニュー	PT指導月 4日
6月	父の日		各ユニット メニュー	PT指導月 4日 避難訓練(14) 胸部レントゲン(22)
7月	七夕 お施餓鬼(中止)		各ユニット メニュー	PT指導月 4回 健康診断(27)
8月		お盆 迎え火(13) 送り火(16)	各ユニット メニュー	PT指導月 4回 ワクチン接種
9月	敬老祝賀会(18) 彼岸法要(中止)	花火大会(10)	各ユニット メニュー	PT指導月 4回 ワクチン接種
10月		周年祭(中止)	各ユニット メニュー	PT指導月 4回 ワクチン接種
11月		運動会(中止)	各ユニット メニュー	PT指導月 4回 総合防災訓練(22) 日赤環境整備
12月	成道会(中止)		各ユニット メニュー	PT指導月 4回 健康診断(22)
1月	元旦 成道会 七草粥・鏡開き・小正月・もち 花作り	書き初め、新年遊び 初詣	各ユニット メニュー	PT指導月 4回 ワクチン接種
2月	節分(3) 涅槃会(中止)		各ユニット メニュー	PT指導月 4回
3月	彼岸法要(中止)		各ユニット メニュー	PT指導月 4回

※令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策でボランティアの受け入れは全て休止しています。
 全体行事については人数を制限し実施しました。
 各ユニット行事を主として実施しました。

施設名	記載者	記載日
飯田市かなえデイサービスセンター	木下雅直	令和5年5月1日

3 行事報告

	一般型		認知症対応型	
	季節の行事	その他	季節の行事	その他
4月		誕生日会 おやつ作り		おやつ作り 昼食作り 外出
5月			五月の節句工作 柏餅作り	
6月			ドライブ	
7月			七夕祭り	
8月	夏祭り		夏祭り	
9月	敬老週間		ドライブ	
10月	運動会 五平餅		紅葉ドライブ	
11月			紅葉ドライブ	
12月	クリスマス会		クリスマス会 年賀状作り	
1月	お正月行事		正月行事	
2月	節分			
3月		↓		↓

施設名	記載者	記載日
デイサービスセンター四季	片桐義寿	令和 5 年 5 月 1 日

3 行事報告

	季節の行事	お楽しみ	誕生会	その他
4月			第3週実施	13周年記念献立(1~7) コロナワクチン接種(職員)
5月		端午の節句献立(5) 炭火バーベキュー(20)	第3週実施	営業休止(4・5)
6月		フルーチェ作り(20~25)	第3週実施	
7月	七夕献立(7) 土用の丑うな井(23)		第3週実施	
8月	すいとん提供(15)		第3週実施	コロナワクチン接種(職員)
9月	敬老祝賀会(19~24)		第3週実施	避難訓練(29) コロナワクチン接種(職員)
10月	五平餅会(17~22)		第3週実施	営業休止(18・19)(25~29)
11月		豚汁作り(17)	第4週実施	年末大掃除開始(1~) Xマスツリー設営(19)
12月	ゆず湯(20~22)		第3週実施	
1月	書き初め(4~7)	七草粥提供(7) お汁粉提供(11)	第4週実施	コロナワクチン接種(職員)
2月	節分献立(3)		第3週実施	コロナワクチン接種(職員) 営業休止(11)
3月	ひなまつり献立(3)	三色ぼたもち提供(21)	第4週実施	ひな人形設営(2)

施設名	記載者	記載日
養護老人ホーム 信濃寮	萱垣尚英	令和 5年5月1日

4 クラブ活動報告

	ペン習字	生け花クラブ	歌の集い	カラオケクラブ	音楽クラブ
4月	4.18	6.20	10.27	4.25	休止
5月	2.20	4.18	11.25	2.16	休止
6月	6.20	1.15	8.22	6.27	休止
7月	4.18	6.20	13.27	11.25	休止
8月	1.15	3.17	10.24	1.29	休止
9月	5.19	14.28	7.21	16	休止
10月	10	5.19	12.26	10	休止
11月	7	2.16	9.23	7	休止
12月	26	21	14	休止	休止
1月	2.23	4.18	11.25	16	休止
2月	6.27	1.15	8.22	13.27	休止
3月	13.27	1.15	8.15	13.27	休止

※インフルエンザ流行期およびコロナ対策予防開始時は、講師を招かず担当係が実施しました。

施設名	記載者	記載日
シルバーハウス ゆめの郷	山田 美勝	令和5年4月27日

4 クラブ活動報告

	音楽クラブ	絵手紙クラブ	傾聴ボランティア	
4月	休止	休止	休止	
5月				
6月				
7月				
8月				
9月				
10月				
11月				
12月				
1月				
2月				
3月	↓	↓	↓	

※令和4年度は感染症対策として外部ボランティアの受入は全て休止しました。

エリア名	記載者	記載日
飯田エリア	宮澤正夫	令和5年5月1日

II 運営管理（サービス状況報告）

1 苦情解決報告

(1) 苦情件数

(令和4年度)

	苦情内容	事業所宛	第三者委員宛	サービス評価事業
①	サービス利用に係わる事項	2件	0件	0件
②	職員の接遇	0件	0件	0件
③	事故・被害・損害	1件	0件	0件
④	利用者間のトラブル	0件	0件	0件
⑤	建物の構造に対する要望	0件	0件	0件
⑥	法人・施設・事業所運営に対する要望	0件	0件	0件
⑦	契約内容に関する要望	0件	0件	0件
⑧	制度・施策・法律に関する要望	0件	0件	0件
⑨	その他（事務）	0件	0件	0件
⑩	その他	0件	0件	0件
	合計	3件	0件	0件

(2) 特定事項点検事項（苦情に至らないが自主点検で確認した事項、又は問い合わせがあった事項）

	点検事項	件数
①	短期入所（長期含む）忘れ物	0件
②	デイサービス忘れ物	35件
③	デイサービス送迎時間問合せ	16件
④	ホームヘルプ訪問時間問合せ	0件
⑤	その他訪問時間問合せ	0件
⑥	その他（事務）問合せ	0件
⑦	その他問合せ	0件
	合計	51件

(3) 考察

- (1) 苦情について ……①入浴後のパットとして用意している 400mlパットが使われず、別の 200mlのものになっていた。その結果、自宅での失禁でズボンやフローリングが濡れてしまった。折角大き目のパットを用意しているのに困る。
- ②家族が帰宅した際、職員が自宅に入った形跡がある。デイとの連絡で自宅に入らない事になっているが周知されているのか？また、荷物の置き場所も居間のドア前に置かれてしまっておりドアが開けづらかった。もう少し考えて送り届けて欲しい。
- ③「ショート利用後、身体の痛みを訴えられているが、施設で変わったことはなかったか？」と問い合わせがある。
- ※ ①②とも S 様に陳謝し、職員は十分注意し行動するようにした。
- ※ ③施設での様子や退所時には痛みは無かった事をお伝えすると納得される。
- (2) 忘れ物について……少しずつご利用者様が増え、ご利用が多い日は職員の動きにも余裕なく忘れ物発生につながっている。お帰り時に私物（自助具、座布団、タオルなど）を積み忘れてしまうことが度々あり、新年度に向けて改めたい。

エリア名	記載者	記載日
飯田エリア	宮澤正夫	令和5年5月1日

2 事故対応報告

(1) 事故発生件数 (行政への報告を要したもの)

令和4年度

	事故内容	発生件数	家族報告	保険者報告	本部報告
①	骨折	5件	5件	5件	0件
②	打撲・捻挫・脱臼	0件	0件	0件	0件
③	切傷・摩過傷	0件	0件	0件	0件
④	その他の外傷	0件	0件	0件	0件
⑤	異食・誤嚥	0件	0件	0件	0件
⑥	食中毒	0件	0件	0件	0件
⑦	感染症・結核	0件	0件	0件	0件
⑧	職員の法令違反	0件	0件	0件	0件
⑨	その他	0件	0件	0件	0件
	合計	5件	5件	5件	0件

※介護サービス提供により事故が発生した場合、事故の解決及び再発防止のため、事業所は保険者に速やかに報告することとなっています。その範囲については、以下のとおりとします。

報告すべき事故の範囲

- (1) 介護サービスの提供(送迎・通院等含む)により、利用者のケガ、または死亡事故が発生した場合
- ① ケガの程度については、医療機関で治療(複数回の通院加療を要すケガ)、または入院したもの。
 - ② 事業所の責任や過失の有無によらない。
- (2) 感染症、食中毒及び結核が発生した場合
- ① 感染症については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に定められている「疾病分類表」に掲載されているもの及びノロウイルスや疥癬症、食中毒等を対象とする。なお、原因不詳でも、嘔吐や下痢、高熱が伴う症状が10人以上、もしくは入所者の半数を超える場合には報告する。
 - ② 個々の保険者で別途、届出義務が定められている場合は、それに従うこと。
- (3) 職員(従業員)の法令違反、不祥事等が発生した場合
- (4) その他、報告が必要と認められる事故が発生した場合
- ① 無断外出により外部組織に捜索依頼した場合など

(2) 事故発生の状況 (行政への報告を要しないもの)

内容	発生件数	内容	発生件数
① 転倒 (けがの有無は問わない)	31件	⑧ 異食 (治療を要したもの)	0件
② 転落 (けがの有無は問わない)	15件	⑨ 無断外出 (自主捜索)	0件
③ ずり落ち (けがの有無は問わない)	18件	⑩ 利用者間のトラブル (けがあり)	0件
④ 表皮剥離	5件	⑪ 誤薬 (実際に飲んだ)	4件
⑤ 擦過傷	11件	⑫ 入れ歯、メガネ、補聴器等の破損	0件
⑥ 打撲	5件	⑬ その他	0件
⑦ 誤飲・誤嚥 (つまった)	0件	合計	89件

3 ひやりハットの取り組み

(1) 身体的事項

()内は事故

内容	発生件数	内容	発生件数
①転倒しそうになった(ふらつき)	218(36)	⑧異食(治療を要しないもの)	38(0)
②転落しそうになった	88(14)	⑨無断外出(出て行きそうになった)	6(0)
③ずり落ちそうになった	8(18)	⑩利用者間のトラブル(けがなし)	5(0)
④はさみこみ(表皮剥離していない)	1(5)	⑪配薬ミス(実際に飲んでいない)	50(4)
⑤こすった(擦過傷にはならない)	2(11)	⑫	
⑥ぶつけた(打撲はしていない)	29(5)	⑬その他(火傷・脱水他)	1(1)
⑦誤飲・誤嚥(むせた)	0(0)	合計	446(94)

(2) 介護者中の事項

内容	発生件数	内容	発生件数
①車椅子等の取扱いを誤った	1(0)	⑥その他機具の取扱いを誤った	0(0)
②ベッドの取扱いを誤った	0(0)	⑦支持(支え方)、介助方法を誤った	10(0)
③入浴器具の取扱いを誤った	0(0)	⑧利用者間の誤った介助があった	1(0)
④介護器具の取扱いを誤った	0(0)	⑨その他(浴槽で泳いだ)	28(0)
⑤医療器具の取扱いを誤った	1(0)	合計	41(0)

※1「車椅子等」とは→歩行器、杖等の移動に使用する器具を示す。

※2「医療器具」とは→在宅酸素、胃ろうチューブ、バルン、点滴等の取扱いを示す。

(3) その他の事項

内容	発生件数	内容	発生件数
①車椅子等の整備に不備があった	0(1)	⑥その他機具の備に不備があった	0(0)
②ベッドの整備に不備があった	0(0)	⑦衛生手順のミスがあった	0(0)
③入浴器具の整備に不備があった	0(0)	⑧持ち物取違え、紛失、破損	2(0)
④介護器具の整備に不備があった	0(3)	⑨その他(危険運転へのクレーム)	1(0)
⑤医療器具の整備に不備があった	0(0)	合計	3(4)

※3「連絡ミス」とは→ケアプランの記載事項の連絡ミスを示す。(逆にケアプランへの記載漏れ含む)

(4) ひやりハットの分析

()内は事故

発生場所	件数	発見の契機	件数	発生曜日	件数	発生時間	件数
居室	245(59)	職員が発見	373(81)	月曜日	68(11)	0:00～ 2:59	28(3)
食堂	119(18)	本人の通報	7(5)	火曜日	66(16)	3:00～ 5:59	38(7)
浴室	14(9)	他利用者の通報	0(8)	水曜日	67(13)	6:00～ 8:59	60(11)
トイレ	27(3)	家族の通報	0(0)	木曜日	68(17)	9:00～ 11:59	77(31)
機能訓練室	0(0)	センサー作動	66(7)	金曜日	65(16)	12:00～14:59	86(31)
廊下	31(3)	その他	0(0)	土曜日	59(11)	15:00～17:59	73(26)
移送時	1(1)			日曜日	53(10)	18:00～20:59	48(9)
その他	9(1)					21:00～23:59	36(6)
合計	446(94)	合計	446(94)	合計	446(94)	合計	446(94)

※2 (1)(2)の①～③までの内容を対象として分析します。

エリア名	記載者	記載日
飯田エリア	宮澤正夫	令和5年5月1日

4 身体拘束の状況報告

(1) 身体拘束（合法的手続きに基づく拘束の実施）

	身体拘束事項	件数
①	徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
②	転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
③	自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。	2件
④	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。	0件
⑤	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。	0件
⑥	車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったたりしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける。	1件
⑦	立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する。	0件
⑧	脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。	0件
⑨	他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
⑩	行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。	0件
⑪	自分の意志で開けることのできない居室等に隔離する。	0件
⑫	その他	0件
	合計	3件

※1 「身体的拘束等とは」→指定基準において禁止の対象となっている行為は、「身体的拘束その他、利用者の行動を制限する行為」です。厚生労働省が発行した「身体拘束ゼロへの手引き」では、具体的な行為として、以上のような行為をあげています。なお、「言葉による拘束」や、「虐待的な行為」も含まれます。

※2 「当報告書の目的は」→以上の行為がないことを確認することと、発見した場合、速やかに解決することです。発見しても目をつぶらず、即時、対応することで解決を図りましょう。

(2) 無届の拘束の発見

項目	説 明
① 無届の拘束の有無	無
② 発見の職（通報者）	-
③ 拘束の概要	-
④ 行われていた事情	-
⑤ 対処	-

※1 届出がされていなくても緊急性があり実施され、直ちに合法的な手続きが実施されたものは含みません。 ※2 発見後、直ちに中止した場合は「あり」として記載してください。

エリア名	記載者	記載日
飯田エリア	宮澤正夫	令和5年5月1日

Ⅲ 会計・経理

1 主な収入、人件費の状況（エネルギー支出）

	稼働数	(率)	収入・支出管理	金額(円)	(率)
(1)信濃寮	80×365				
① 稼働率	26,464 床	90.7%	① 主な収入	246,046,199	
② 入退所空床	1,676 床	5.7%	② 人件費支出	142,892,676	58.0%
③ 入退院空床	1,060 床	3.6%	③ エネルギー支出	17,624,232	7.2%
(2)ゆめの郷	68×365 ×4			(357,497,045)	
① 稼働率	23,955 床	96.5%	① 主な収入	338,996,682	
② 入退所空床	480 床	1.9%	② 短期収入	18,500,363	
③ 入退院空床	387 床	1.6%	③ 人件費支出	261,313,815	73.1%
④ 短期入所稼働率	1,337 床	91.6%	④ エネルギー支出	20,254,875	5.7%
(3)かなえデイ	750×12				
① 稼働率	4,736.7 名	52.6%	① 主な収入	66,036,114	
② キャンセル(欠席)	142	1.6%	② 人件費支出	43,411,038	65.7%
③ 受入れ拒否状況	0	0%	③ エネルギー支出	5,896,856	8.9%
(4)デイ四季	750×12				
① 稼働率	5,513 名	61.3%	① 主な収入	59,995,719	
② キャンセル(欠席)	22	0.4%	② 人件費支出	44,278,644	73.8%
③ 受入れ拒否状	0	0%	③ エネルギー支出	5,388,246	9.0%
(5)ゆめの郷ケアプラン	35×2×12				
① 延ベケアプラン数	973 件	115.8%	① 主な収入	10,902,303	
			② 人件費支出	6,961,583	63.9%
			③ エネルギー支出	365,852	3.4%
(6)かなえ包括					
① 延ベケアプラン数	2,610 件		① 主な収入	30,808,995	
			② 人件費支出	19,899,509	64.6%
			③ エネルギー支出	216,887	0.7%
(7)エリア					
	525,240,176		① 主な収入	771,286,375	
	375,864,589		② 人件費支出	518,757,265	67.3%
	32,122,716		③ エネルギー支出	49,746,948	6.4%

注①→デイサービスの稼働率は「定員×稼働日数」を100としてください。

注②→ケアプランセンターは職員の常勤換算により、指定基準上、対応可能な件数(35件×職員常勤換算)を100としてください。(支援のプラン数も同様です。)

注③→ホームヘルプは1日のサービス提供時間を1人5時間とし、常勤換算と稼働日数かけた数を100としてください。

エリア名	記載者	記載日
飯田エリア	萱垣充英	令和5年5月1日

2 経営の状況（振り返り）

（1）飯田エリア

事業活動計算書

① サービス活動収益計	774,950 千円	前年比(+24,849 千円)
② サービス活動増減差額	43,340 千円	前年比(+20,880 千円)
③ その他		
・飯田エリア本部繰入	計 13,640 千円（ゆめ 9,37 千円・四季 1,870 千円・かなえデイ 2,40 千円）	
・長期借入金返済	ゆめの郷⇒本部(20,000 千円) 信濃寮 ⇒本部(1,035 千円)	

【参考：7年間の比較 千円】

飯田エリア	サービス活動収益	エリア人件費	人件費率	経費率
平成28年度	693,401	437,162	63.5%	27.1%
平成29年度	737,129	458,540	62.2%	26.2%
平成30年度	745,027	451,170	60.5%	26.5%
令和1年度	753,079	488,433	64.8%	25.9%
令和2年度	762,183	499,252	65.5%	25.0%
令和3年度	750,101	498,995	66.5%	25.9%
令和4年度	774,950	494,886	63.8%	27.0%

（2）令和4年度各事業所経常増減差額（千円）

飯田エリア 各事業所	サービス活動 増減差額	サービス活動 増減差額比率	経常増減差額	経常増減差額 比率
養護老人ホーム信濃寮	9,548	3.8%	13,276	5.4%
かなえデイサービスセンター	2,067	3.4%	2,046	3.3%
ゆめの郷	19,328	5.2%	18,086	4.9%
デイサービスセンター四季	3,402	5.5%	3,415	5.6%
ゆめの郷ケアプランセンター	2,666	24.3%	2,666	24.3%
かなえ地域包括支援センター	6,327	20.8%	6,296	20.7%
飯田エリア	43,340	5.5%	45,788	5.9%

（3）考察

- ・令和4年度は飯田エリア全事業所黒字となった。令和3年度は3/6が赤字(かなえ、四季、ケアプ)
- ・ゆめの郷については、年間退所者が32名(47%)であり稼働率確保に苦戦した
- ・クラスター発生により感染対策備品の備蓄、エネルギー費の高騰により経費率が上昇した

エリア名	記載者	記載日
飯田エリア	宮沢正夫	令和5年5月1日

IV 安全対策

1 災害安全対策の状況

(1) 避難誘導訓練の状況

	実施日	訓練内容	参加者	参加数	備考
①	6月3日	火災による夜間想定避難訓練	職員・利用者様	85名	信濃寮
②	9月27日	地震及び非常災害避難訓練	職員・利用者様	88名	信濃寮
④	6月14日	夜間想定・情報伝達・避難誘導等	職員・利用者様他	50名	ゆめの郷
⑤	11月22日	地震総合防災訓練	職員・利用者様他	50名	ゆめの郷
⑥	10月19日	地震防災訓練	職員・利用者様	25名	かなえデイ
⑦	3月27日	火災訓練・誘導訓練	職員・利用者様	25名	かなえデイ
⑧	9月29日	火災避難訓練・情報伝達訓練	職員・利用者様	34名	デイ四季

(2) 点検の状況

	内容	実施日①	実施日②	備考
①	火災警報設備	4月22日	10月28日	信濃寮
②	火災警報設備	12月2日	3月10日	ゆめの郷・デイ四季
③	火災警報設備	10月22日	-	かなえデイ
④	消火器・スプリンクラー	4月22日	10月28日,11月11日	信濃寮
⑤	火災警報設備	12月2日	3月10日	ゆめの郷・デイ四季
⑥	非常電源設備	12月2日	3月10日	ゆめの郷・デイ四季
⑦	消防用発電設備	7月21日	-	信濃寮

2 交通安全対策の状況

(1) 交通安全対策の状況

免許証、任意保険証の定期的確認を行う。 ミーティングにおける安全運転の呼びかけとポスターによる交通安全の啓蒙活動を重点的に行う。 交通安全週間の周知

(2) 事故発生の状況

	公務中の交通事故	通勤途上の交通事故	備考
①人身事故	-	-	
②対物事故	4	3	
③自損事故	-	-	
④その他	-	-	
合計	4	3	

V 職員関係

施設名	委員会名	記載者	記載日
信濃寮	苦情解決委員会	萱垣尚英	令和5年5月1日

1 必須委員会、研修会の実施状況

(1) 苦情解決委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月4日
出席者	相談員 ケアマネ、介護主任 介護副主任、リーダー、介護士
議題	事業目標の反省 苦情に対する対応方針について
内容	苦情に対する対応方針について (個人に対して苦情が発生した場合)

第1回研修

① タイトル	職員会
② 企画担当	苦情解決委員会
③ 開催日	令和4年4月4日
④ プログラム	苦情に対する対応方針について 1 昨年度の苦情件数・内容報告 2 作成した対応で準を全職員で読み合わせ・周知

エリア名	委員会名	記載者	記載日
飯田エリア（ゆ）	苦情解決委員会	山田美勝	令和5年4月27日

V 職員関係

1 必須委員会、研修会の実施状況

(1) 苦情解決委員会

第1回委員会

開催日	令和4年4月12日
出席者	施設長 相談員 ケアマネ看護師 介護主任 介護副主任 事務員 栄養士
議題	苦情解決指針、マニュアルの流れの確認
内容	苦情の発生から解決まで流れを確認する。 苦情の報告、記録の仕方、提示方法、周知徹底と取り決めの確認。

研修

①タイトル	苦情相談研修会
②企画担当	苦情解決委員会
③開催日	令和5年3月6日
④プログラム	苦情に対する対応方針について 1 制度上における苦情対応の意義 2 苦情相談時の対応 3 事例検討

施設名	委員会名	記載者	記載日
養護老人ホーム 信濃寮	事故防止委員会	萱垣尚英	令和5年5月1日

(2) 事故防止委員会

① 第1回委員会(他 毎月開催)

開催日	毎月1回および事故発生時随時開催
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	検証と対策
内容	事故の検証と対策 ヒヤリハット検証と対策

第1回研修

① タイトル	持ち上げない介助
② 企画担当	事故防止委員会
③ 開催日	令和4年10月29日
④ プログラム	1 移乗の方法 説明・実技 2 まとめ

第2回研修

① タイトル	窒息に対する救急法
② 企画担当	事故防止委員会
③ 開催日	令和4年12月16日・23日
④ プログラム	講師 信濃寮看護師 1 救急法の説明 ～窒息の予防と対応～ 2 「窒息・心肺停止の対応」 ・ハイムリック法(胸部突き上げ法) ・背部叩打法・AED 3 まとめ

エリア名	委員会名	記載者	記載日
飯田エリア (ゆ)	事故防止委員会	山田美勝	令和5年4月27日

(2) 事故防止委員会

① 第1回委員会(他 毎月開催)

開催日	第二木曜日・事故発生時随時開催
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	事故の検証、今後の対策、情報交換
内容	①前年度事故振り返りから今年度の事故対策について ②前月事故・ヒヤリはっと事例検討

第1回研修

① タイトル	事故防止研修会
② 企画担当	事故防止委員会
③ 開催日	令和4年9月8日
④ プログラム	1 防ぐ罣事故と防ぎきれない事故との区別 2 事故防止策と抑制の関係性について考える

第2回研修

① タイトル	自立動作中の事故の減少に向けて
② 企画担当	事故防止委員会
③ 開催日	令和5年2月9日
④ プログラム	1 事例A様の対策案を検討 2 事例B様の対策案を検討

施設名	委員会名	記載者	記載日
養護老人ホーム 信濃寮	身体拘束廃止委員会	萱垣尚英	令和5年5月1日

(3) 虐待防止・身体拘束廃止委員会

① 第1回委員会(他 毎月開催)

開催日	毎月1回
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	身体拘束廃止の現況と検証
内容	拘束の現況確認と分析 11項目身体拘束廃止の徹底と確認事項 権利擁護、虐待防止事項

第1回研修

① タイトル	三好弁護士による虐待防止についての講義
② 企画担当	虐待防止・身体拘束廃止委員会
③ 開催日	令和4年8月19日
④ プログラム	施設職員による高齢者虐待とその予防 1 過去の虐待防止事例から学ぶ 2 虐待防止に関する法の定めを理解する 3 虐待防止委員会設置の義務化とクリアのための要件 4 虐待発生の要因 5 虐待発生の予防的取り組み 6 発生時の対応 7 虐待防止委員会における取組を学ぶ

第2回研修

① タイトル	身体拘束・虐待防止の理解
② 企画担当	虐待防止・身体拘束廃止委員会
③ 開催日	令和5年2月24日
④ プログラム	1 身体拘束・虐待防止の理解 ・身体拘束指針について ・高齢者虐待の考え方 2 グループワーク 不適切ケアについて考えてみましょう

エリア名	委員会名	記載者	記載日
飯田エリア（ゆ）	身体拘束廃止委員会	山田美勝	令和5年4月27日

(3) 身体拘束廃止委員会

第1回委員会(他 毎月開催)

開催日	第一月曜日
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	身体拘束廃止の現状と対応策
内容	①身体拘束実施者・状況確認 ②身体拘束3要件から見るケース検証 ③記録内容確認

第1回研修

① タイトル	身体拘束研修会
② 企画担当	身体拘束廃止委員会
③ 開催日	令和4年4月14日
④ プログラム	1 身体拘束の基礎知識 2 なぜ特養は身体拘束を禁止されているのか、制度上の位置づけを考える 3 不適切なケア(グレーゾーン)

権利擁護・高齢者虐待防止研修

第2回研修

① タイトル	接遇・言葉使いを見直す
② 企画担当	身体拘束廃止委員会
③ 開催日	令和5年1月10日
④ プログラム	1 専門職としてあるべき接遇 2 接遇対応5つの基本 3 居室での直接面会再開にあたり注意すべき事

施設名	委員会名	記載者	記載日
養護老人ホーム 信濃寮	感染症及び食中毒防止委員会	萱垣尚英	令和5年5月1日

(4) 感染症及び食中毒防止委員会

① 第1回委員会

開催日	毎月1回
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	感染症の予防と対策
内容	1 現況報告 検証 2 予防と対策 3 感染症マニュアルの確認、見直し

第1回研修

① タイトル	感染症発生時の対策・初期対応を学ぶ
② 企画担当	感染症及び食中毒防止委員会
③ 開催日	令和4年5月23日
④ プログラム	1 社会福祉施設、高齢者施設等における新型コロナ感染症対策 ～日々の感染防止対策から発生時の対応まで～ 2 まとめ

第2回研修

① タイトル	新型コロナ感染症発生施設からの事例を聞き、対応策を学ぶ
② 企画担当	感染症及び食中毒防止委員会
③ 開催日	令和4年8月29日
④ プログラム	講師：ゆめの郷 施設長 1 新型コロナ発生施設の事例報告 2 信濃寮で発生したと想定し、対応策について考える 3 まとめ

エリア名	委員会名	記載者	記載日
飯田エリア (ゆ)	感染症及び食中毒防止委員会	山田美勝	令和5年4月27日

(4) 感染症及び食中毒防止委員会

第1回委員会

開催日	第三月曜日
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	感染症の予防と対策
内容	①長野県・飯田下伊那、感染症情報確認 ②施設面会、職員の行動制限について協議 ③施設内標準予防策確認事項

第1回研修

① タイトル	感染症研修会
② 企画担当	感染症及び食中毒防止委員会
③ 開催日	令和4年6月20日
④ プログラム	1 ゆめの郷 コロナ発生報告 2 ガウン着脱(実技) 3 日常的に使用する物品の感染予防

第2回研修

① タイトル	感染性胃腸炎対策
② 企画担当	感染症及び食中毒防止委員会
③ 開催日	令和4年10月19日
④ プログラム	1 嘔吐物処理セット物品確認 2 実技

施設名	委員会名	記載者	記載日
養護老人ホーム 信濃寮	褥瘡防止委員会	萱垣尚英	令和5年5月1日

(5) 褥瘡防止委員会

① 第1回委員会(他 毎月開催)

開催日	毎月1回
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	検証と分析
内容	1 現況報告 2 ブレーデンスケールから褥瘡を考察 3 褥瘡予防計画書の作成と防止策の検討 4 おむつ類の適正確認

第1回研修

① タイトル	PT 指導
② 企画担当	褥瘡防止委員会
③ 開催日	令和4年度 PT指導日(偶数月)
④ プログラム	1 利用者別実技指導及び説明 2 現状分析

第2回研修

① タイトル	褥瘡とは?基本を再確認
② 企画担当	褥瘡防止委員会
③ 開催日	令和4年11月25日(コロナ発生の為、中止。後日各個人でワークを行い提出)
④ プログラム	1 グループワーク 褥瘡について知っていること、覚えていることを改めて思い返してみる 2 褥瘡とは? 解説・対策、予防について資料の読み合わせ 3 グループワーク2 実際に信濃寮の利用者様についてグループごと褥瘡リスクについて話し合う 4 まとめ

エリア名	委員会名	記載者	記載日
飯田エリア（ゆ）	褥瘡防止委員会	山田美勝	令和5年4月27日

（5）褥瘡防止委員会

第1回委員会(他毎月開催)

開催日	第三月曜日
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	ブレーデンスケールから考える褥創危険度と対策
内容	1 各利用者様発赤・褥瘡状況事例確認 2 褥瘡ケア計画書検証

第1回研修

① タイトル	褥瘡予防研修会
② 企画担当	褥瘡防止委員会
③ 開催日	令和4年8月18日
④ プログラム	1 床ずれ予防ガイドポイントの周知 2 褥瘡予防マットレスの進化、体験

（6）機能向上・排泄委員会

第1回委員会(他毎月開催)

開催日	第四週のPT指導日に合わせて開催
出席者	施設長 相談員 看護師 ケアマネ 介護士
議題	特養での生活機能訓練評価 排泄ケアの課題について
内容	1 PT指導内容の確認 2 前回指導からの評価 3 適正なパット使用方法

第1回研修

① タイトル	生活習慣の改善による排便ケア
② 企画担当	機能向上排泄委員会
③ 開催日	令和4年12月26日
④ プログラム	1 排便障害による生活機能の低下を資料にて学ぶ 2 高齢者に見られる排便の悪循環(便秘の種類と下剤の効果) 3 水分や食事の影響 4 下剤に頼らない排便ケア～排便習慣と排便姿勢～ 5 高齢者の為の排便体操

エリア名	記載者	記載日
飯田エリア	宮澤正夫	令和5年5月1日

2 職員研修の状況

(1) 研修の状況（必須研修以外主なもの）

	研修名	参加数	研修の内容（ねらい）
①	社会福祉施設等における感染症及び食中毒等の発生並びにまん延防止に係る研修会	7	感染症・食中毒について
②	介護保険事業者サービス別研修会	3	人員基準、運営基準の留意点等
③	技能実習生指導者講習	3	制度の理解、実習生との向き合い方、指導方法
④	飯田市措置費説明会	3	今年度措置費説明
⑤	特定給食施設従事者研修会	2	給食業務に関する知識の向上及び衛生管理の徹底
⑥	認知症講習会	2	認知症の理解と具体的対応方法
⑦	長野県高齢者福祉事業協会	1	急がれる BCP 策定の実務と業務改善・効率化への効果的な運用
⑧	介護支援専門員研修	1	初回研修
⑨	栄養士会飯下支部研修会	1	食物アレルギーの現状と課題
⑩	高齢者施設等における感染対策研修	1	新型コロナ感染症対策・クラスター対策
⑪	栄養士会飯下支部研修会	1	講演「いつまでもおいしく食べるを支える～歯科と栄養」
⑫	飯伊地区防火管理者協議会	1	令和4年度定期総会

注①→研修は施設内、施設外を問いません。（法人で開催したものは含みません。）

3 人材育成の状況

(1) 資格取得の状況

		受験者数	合格者数	備考
①	介護福祉士	0	0	
②	介護支援専門員	3	0	
③	社会福祉士	0	0	
④	その他	0	0	
	合計	2	0	

注1→公的資格を対象とします。講習、研修の参加によって得られる資格は対象外とします。

(2) 採用・離職の状況

		正規職員	契約職員	備考
①	採用	8	1	
②	離職	8	5	
③	その他	2	1	異動、アルバイト
	合計	18	7	

注①→再雇用は含まないこととします。

VI その他

1 預かり金の状況

令和5年3月31日現在

施設名	預かり金総額	人数	備考
信濃寮	162,442,565 円	76 人	
ゆめの郷	102,334,316 円	51 人	
合 計	264,776,881 円	127 人	

令和4年度 阿南エリア事業報告

目次

I	利用者処遇	
1	利用者サービスの状況（振り返り）	1
2	看取りの状況	2
3	行事報告	3
II	運営管理（サービス状況報告）	
1	苦情解決報告	6
2	事故対応報告	7
3	ひやり・ハットの状況報告	8
4	身体拘束の状況報告	9
III	会計・経理	
1	主な収入、人件費の状況（エネルギー支出）	10
2	経営の状況	11
IV	安全対策	
1	災害安全対策の状況	
(1)	避難誘導訓練の状況	15
(2)	点検の状況	15
2	交通安全対策の状況	
(1)	交通安全対策の状況	15
(2)	事故発生の状況	15
V	職員関係	
1	必須委員会、研修会の実施状況	
(1)	苦情解決委員会	15
(2)	事故防止委員会	16
(3)	身体拘束委員会	17
(4)	感染症及び食中毒防止委員会	19
(5)	褥瘡予防委員会	21
2	職員研修の状況	23
3	人材育成の状況	23
VI	その他	
1	預り金の状況	23
2	阿南町人口地区別推移	24

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	芝田 和弘	令和5年5月1日

I 利用者処遇

1 サービスの状況（振り返り）

（1）特別養護老人ホーム赤石寮

昨年度に引き続きコロナ禍にあって、さまざまな制約の元、1年間サービス提供に励んで参りました。しかしながら、年の暮れから年明け中旬までのひと月あまり、第8波の影響を受けコロナクラスターを起こしてしまいました。「持ち込まない」を目標に職員の行動制限に始まり、面会制限、外出計画や行事計画など予防重視で自粛した運営をしてきましたが、結果的にはご利用者様、ご家族様をはじめ関係者の皆様にご迷惑をおかけしました。また、この期間はご利用者様の受入れも停止したことで、厳しい運営状況となりました。5月8日より第5類の扱いになるコロナ感染症。重症化リスクが高いご利用者様ですので、終息していないコロナ感染症対策が今後の課題と感じています。

『振り返り』を通して、より良いサービスを提供していきたいと考えます。

今年度は阿南町から350万円の補助をいただき給湯配管修繕工事が完了いたしました。

（2）新野デイサービスセンターはなのき荘

昨年度に引き続きコロナ禍により、外部ボランティアの受入れ制限をした為に来荘していただけませんでした。利用者様や職員でコロナ感染が確認されたことで休館対応を行い、サービスの提供ができませんでした。改めて感染防止対策の強化と利用者様、ご家族様に協力していただきながら運営する事ができました。このような状況でも、利用者様に楽しんで帰っていただけるよう、感染予防の徹底を重視し安心して利用できるサービスを提供してまいります。コロナ感染症が5類に引き下げとなった後も感染対策をしながら楽しんでもらえるデイサービスにしたいと思えます。

送迎用リフト車両も更新ができ、送迎時の安全性を向上する事が出来ました。

（3）特別養護老人ホーム赤石寮 居宅介護支援事業所

地域で生活し続けることができるように、阿南町地域包括支援センター、医療機関とも連携を図り新野地区の福祉の窓口として役割を果たしています。また、介護保険対象者以外の高齢者情報の収集、介護予防についても取り組んでいます。コロナ禍で帰省できず離れて暮らしている家族との連携を密にし、援助できるよう取り組みました。

（4）新野ホームヘルプセンターはなのき

赤石寮居宅支援事業所、阿南町地域包括支援センターと連携を図り、地域の高齢者の情報を集め、住み慣れたこの地で生活を続けられるよう援助してきました。しかしながら、地域人口が減少する中で訪問先も一桁となり、社会貢献も含み阿南町と今後について協議していきたいと考えます。

（5）赤石寮グループホームやすらぎの郷

コロナの感染状況を見ながら、利用者様と共に楽しめる事を考え、暖かい日は外へ出て過ごし、保育園交流会も外で、雨の日はデイの車庫をお借りして実施出来ました。入院中食事摂取出来なくなり看取り介護となった利用者様が、主治医の指示の下、覚悟を持って支援継続し、3ヶ月程で自力摂取が出来るまでに回復し意欲的に生活出来る様になりました。年末職員がコロナ感染するも利用者様は感染することなく過ごせました。年度末、入院の方の空室使用し2週間、短期入所を利用頂きました。

システムキッチンの更新ができ、利用者様と共に調理する事がより楽しくなりました。

（6）新野高齢者生活支援ハウス

みんなで集まるお茶会は今年度も感染予防の観点からできませんでした。入居者は高齢になってきて介護保険対象者が増え、施設サービスへの移行による退居者もありました。

2 看取りの状況

赤石寮

令和4年度

	氏名	逝去場所	日付	死 因	ターミナル	入所期間	享年
1	A	病院	6/9	低酸素脳症	急逝	4ヶ月	69歳
2	B	施設	7/25	老衰	看取り5日	7年3ヶ月	89歳
3	C	施設	8/28	老衰	急逝	10ヶ月	103歳
4	D	施設	8/29	老衰	急逝	2年6ヶ月	98歳
5	E	施設	9/20	老衰	急逝	5年1ヶ月	97歳
6	F	施設	10/1	老衰	看取り3日	11年8ヶ月	83歳
7	G	施設	10/3	老衰	看取り5日	9ヶ月	79歳
8	H	施設	10/16	老衰	看取り11日	6年9ヶ月	96歳
9	I	病院	11/9	老衰	急逝	1年3ヶ月	99歳
10	J	施設	12/12	老衰	看取り4日	16年7ヶ月	101歳
11	K	施設	12/30	老衰	急逝	2年9ヶ月	94歳
12	L	病院	12/29		急逝	2年6ヶ月	90歳
13	M	施設	1/9	老衰	急逝	7年6ヶ月	91歳
14	N	施設	1/12	老衰	看取り4日	4年3ヶ月	100歳
15	O	病院	1/13	急性肺炎	急逝	1年2ヶ月	80歳
16	P	施設	2/4	老衰	看取り13日	3年8ヶ月	96歳
17	Q	施設	2/16	老衰	看取り10日	1年11ヶ月	97歳
18	R	施設	3/13	誤嚥性肺炎	看取り4日	2年5ヶ月	78歳
19	S	施設	3/16	老衰	看取り2日	1年3ヶ月	94歳
20	T	病院	3/19	急性胆嚢炎	急逝	3年6ヶ月	96歳

※1 網掛け→病院での逝去 ※2 二重線→四半期ごとの区切り

(3) 看取りの状況 (まとめ)

従来型の赤石寮では、南信州広域連合から照会され、入所者の受け入れをします。受け入れは、入院治療の必要がある場合やその他適切なサービスを提供することが困難な場合を除いて、すべて受け入れますので必然的に入所者の重度化に繋がります。今年度の平均介護度が4.2でした。

令和4年度に逝去された方は20名。その内、病院内にて逝去された方は5名。幸いにもコロナ感染症による退所者はありませんでした。

全体の傾向として、赤石寮で最期を迎え、15名の看取り介護を行う事が出来ました。

コロナ感染症が終息しない中でも、家族や親しい人と最期まで寄り添っていただけるよう看取りと診断された際に限り直接面会を実施しました。まだまだ乗り越える課題があるものの、少しでも対応の改善が出来て良かったと感じています。

ご家族様からも、最期を一緒に過ごせたことに感謝の言葉をいただく事が出来ました。

今後も、課題解決ができるよう努めて参ります。

施設名	記載者	記載日
赤石寮	長谷 たつ江	令和5年5月1日

3 行事報告

	季節の行事	お楽しみ・誕生会	その他
4月	花見	各ユニット誕生会 選択食	町長選不在者投票 / リネン入れ替え / 歯科診察 / 口腔ケア ミールラウンド / PT指導 / 散髪 / 赤石寮ボランティア 内科往診 / ふれあい号
5月	花祭り (7) こいのぼり(3~)	各ユニット誕生会 選択食 協力会菓子販売(1) 蔵バイキング(9) おやつ作り(23)	回生堂診察 / 歯科診察 / 口腔ケア / ミールラウンド / PT指導 散髪 / 赤石寮ボランティア / 内科往診 / ふれあい号
6月	菖蒲湯(6~8)	各ユニット誕生会 選択食 焼き肉大会(10) あじさいユニット自宅訪問(8) 売木村お茶会(27)	夜間想定火災訓練 / 歯科診察 / 口腔ケア / ミールラウンド PT指導 / 散髪 / 赤石寮ボランティア / 新野ボランティア 内科往診 / ふれあい号
7月	夏祭り(17)	各ユニット誕生会 選択食	参議員選不在者投票 / 新野小学校花植え / 利用者採血 利用者胸部レントゲン撮影 / 歯科診察 / 口腔ケア / ミールラウンド PT指導 / 散髪 / 回生堂往診 / 赤石寮ボランティア シニアクラブ草刈り / ふれあい号 / 内科往診
8月	七夕飾り(2) お施餓鬼(4) 迎え火(13) 送り火(15)	各ユニット誕生会 選択食	県知事選不在者投票 / 歯科診察 / 口腔ケア / ミールラウンド PT指導/散髪 / コロナワクチン接種 / 内科往診/ふれあい号
9月	おはぎづくり(1) 敬老祝賀会(21) 彼岸法要(23)	各ユニット誕生会 選択食 流しそうめん(14) 秋刀魚焼き(24)	赤石寮ボランティア / 協力会草刈り / 歯科診察 / 口腔ケア ミールラウンド / PT指導 / 散髪 / コロナワクチン接種 回生堂往診 / 内科往診/ふれあい号
10月	運動会(16.23.30)	秋刀魚焼き(13) 各ユニット誕生会 選択食	地震防災訓練 / PT指導/散髪 / 赤石寮ボランティア 信金ボランティア / 歯科診察/口腔ケア / ミールラウンド 内科往診/ふれあい号
11月	焼き芋大会(19)	各ユニット誕生会 選択食 蔵バイキング(8)	赤石寮ボランティア / 新野ボランティア / 歯科診察 / 口腔ケア ミールラウンド / PT指導 / 散髪 / 回生堂往診 / 内科往診 ふれあい号
12月	成道会(8) 餅つき(14) クリスマス・忘年会/蔵バイキング(18) 松飾り(28) お年どり(31)	各ユニット誕生会 選択食	赤石寮ボランティア / インフルエンザ予防接種①② 下条村訪問 / 売木村訪問 / 散髪 / 歯科診察 / 口腔ケア ミールラウンド / 年末大掃除 / 内科往診 / ふれあい号
1月	元旦(1) 正月遊び(1~3) 松納め(5) 書き初め(2) 七草粥(7) 鏡開き(12)	各ユニット誕生会 選択食	歯科診察 / 口腔ケア / ミールラウンド PT指導 / 散髪 / コロナワクチン予防接種① 回生堂往診 / 内科往診 / ふれあい号
2月	はんぐい抜き(1) ぼたもち(2) 節分・まめまき(3)	各ユニット誕生会 選択食	歯科診察 / 口腔ケア / ミールラウンド / PT指導 / 散髪 内科往診 / ふれあい号 / 消防設備点検
3月	春彼岸(22) ぼたもち(22)	各ユニット誕生会 選択食	歯科診察 / 口腔ケア / PT指導 / 散髪 / ミールラウンド 回生堂診察 / 内科往診 / ふれあい号 / 赤石寮ボランティア

※ 毎月行事 : 内科診察/歯科診察/口腔ケア/ミールラウンド/PT指導

施設名	記載者	記載日
新野デイサービスセンター	小泉 雅子	令和5年5月1日

3 行事報告

	季節の行事	お楽しみ	誕生会	その他
4月	お花見ドライブ (地区内)	春のミニドライブ		リネン布団交換 夜勤職員健康診断 PT指導
5月	花祭り 端午の節句	折り紙かぶと作成 脳トレーニング		PT指導
6月		サイコロゲーム なつかしの歌		PT指導
7月	七夕祭り	七夕飾り作り タオル体操 盆踊り練習		PT指導
8月	盆踊り	かき氷作り お手玉送りゲーム 輪投げ		PT指導
9月	敬老週間	敬老週間職員余興 棒体操 ゲートボール		地震防災訓練 PT指導
10月	ミニ運動会	ミニ運動会 くじ引きゲーム 数え歌合唱		職員健康診断 PT指導
11月	紅葉ドライブ (地区内)	電報ゲーム リハビリ体操		インフルエンザ予防 PT指導
12月	正月準備 クリスマス会	おやす作り クリスマス工作 クリスマス会職員余興		大掃除 PT指導
1月	初詣	かるた取り/百人一首 坊主めぐり/書き初め 雪祭り		PT指導
2月	豆まき	鬼面作り 雪合戦ゲーム ボール遊び		PT指導
3月	ひな祭り	お雛様工作		PT指導

施設名	記載者	記載日
やすらぎの郷	勝野 晋子	令和5年5月1日

3 行事報告

	季節の行事	お楽しみ	誕生会	その他
4月	花見(新野、平石)(27) 雛祭り(3)	お楽しみ日(27)演奏、ゲーム 行人様(29)五平餅		運営推進会議(書面にて報告)/栄養 スクリーニング/事故防止委員会 身体拘束廃止委員会/退所1名
5月	花祭り(7) 母の日(8)いなり寿司、柏餅	お楽しみ日(18)ミニ運動会 保育園交流会(20)屋外 DS 前		認定調査1名/入所1名 食中毒感染症予防委員会
6月	菖蒲湯(3.4) 端午の節句(5)柏餅 父の日(19)焼肉、大福	お楽しみ日(17) (揚げ五平、苔玉作り) 保育園交流会(15)屋外		運営推進会議(書面にて報告) オムツ講習会(27) 入院1名
7月	ダニ対策(バルサン) 土用の丑の日(23)鰻	お楽しみ日(20)バイキング 保育園交流会(8)屋外、七夕		認定調査1名/預り金報告 キッチン改装工事/感染症学習会(11)
8月	七夕(7)盆踊り練習 迎え火(13)まこも編み 送り火(15)	お楽しみ日(22) 握り寿司、お菓子つかみ取り 盆踊り	2名 (食事会)	運営推進会議(書面にて報告)褥瘡予防 委員会/感染症・食中毒予防委員会/ 身体拘束廃止委員会 / コロナワクチン 接種④(2)/散髪(赤石)
9月	彼岸(24)おはぎ作り 行人様(18)五平餅	お楽しみ日(21)祝賀会(満 101歳祝)赤飯、刺身	1名 (食事会)	協力会草刈り
10月	焼きナス、焼き芋(3)	お楽しみ日(3)炭火焼 保育園交流会(20)芋掘り		運営推進会議(書面にて報告) 栄養スクリーニング インフルエンザ予防接種(18)
11月	干し柿作り	柿採り(9) お楽しみ日(23)サンドイッチ	1名 (食事会)	預り金報告/認定調査1名 食中毒感染症予防委員会
12月	障子貼り おやす作り クリスマス忘年会(中止) 柚子湯(21.22) 餅つき(28) 大晦日(31)	保育園交流会(中止) 歳取りご馳走作り(31)	1名 (食事会)	運営推進会議(書面にて報告) 散髪/コロナワクチン接種⑤(13) (職員2名コロナ感染の為、下旬の行事 中止)
1月	書初め(2)切り初め(3)七草 粥(7)餅花作り(13) 雪まつり(14)DVD鑑賞	保育園交流会(13)(餅花、手 紙渡し別々に作る) お楽しみ日(4)正月遊び	2名 (食事会)	入院1名/退所1名 散髪(赤石)
2月	はんぐいぬき(1)ぼた餅 節分(3)豆まき、鯛 バレンタインデー(14)	お楽しみ日(3)甘納豆、恵方 巻 保育園交流会(中止)		運営推進会議(書面にて報告) 入所1名/感染症予防委員会 PT 褥瘡委員会/身体拘束廃止委員会 消防設備点検(13)/入院1名
3月	春彼岸(21) ぼた餅、天ぷら、うどん	保育園お別れ会(6) お楽しみ日(13)焼肉、どら焼き	2名 (食事会)	入院2名/短期入所1名 預り金報告/非常誘導灯交換(6)

毎月：新野診療所薬受け、体重測定、赤石寮ボランティア、移動図書館、PT指導、エリア会議、職員会、JANAみなみ信州阿南歯科
診療所往診、口腔ケア、口腔ケア指導 毎週：訪問看護「さくら」健康管理 移動販売車、パン販売

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	芝田 和弘	令和5年5月1日

II 運営管理（サービス状況報告）

1 苦情解決報告

(1) 苦情件数

(令和4年度)

	苦情内容	事業所宛	第三者委員宛	サービス評価事業
①	サービス利用に係わる事項	0件	0件	0件
②	職員の接遇	0件	0件	0件
③	事故・被害・損害	0件	0件	0件
④	利用者間のトラブル	0件	0件	0件
⑤	建物の構造に対する要望	0件	0件	0件
⑥	法人・施設・事業所運営に対する要望	0件	0件	0件
⑦	契約内容に関する要望	0件	0件	0件
⑧	制度・施策・法律に関する要望	0件	0件	0件
⑨	その他（事務）	0件	0件	0件
⑩	その他	0件	0件	0件
	合計	0件	0件	0件

(2) 特定事項点検事項（苦情に至らないが自主点検で確認した事項、又は問い合わせがあった事項）

	点検事項	件数
①	短期入所（長期含む）忘れ物	0件
②	デイサービス忘れ物	0件
③	デイサービス送迎時間問合せ	0件
④	ホームヘルプ訪問時間問合せ	0件
⑤	その他訪問時間問合せ	0件
⑥	その他（事務）問合せ	0件
⑦	その他問合せ	0件
	合計	0件

(3) 考察

赤石寮では、苦情対応に以下の工夫をしています。

- 1 面会簿に『ご意見・ご要望』欄を設けて感想を収集している（窓越し面会時にもご意見ありませんでした。）
- 2 第三者委員に家族会へ参加していただく（令和4年度は未開催）
- 3 長野県福祉サービス運営適正化委員会主催の「苦情対応システム研修会」に苦情受付担当者のみならず、第三者委員にも受講を促し知見を深めてもらう（オンライン開催）

令和4年度では、長引くコロナ禍の影響で上記の苦情等を心配しましたが、ありませんでした。

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	芝田 和弘	令和5年5月1日

2 事故対応報告

1. 事故発生の状況(行政への報告を要したものの)

	事故内容	発生件数	家族報告	保険者報告	本部報告
(1)	骨折	1件	1件	1件	1件
(2)	打撲・捻挫・脱臼	0件	0件	0件	0件
(3)	切傷・擦過傷	0件	0件	0件	0件
(4)	その他の外傷	0件	0件	0件	0件
(5)	異食・誤嚥	0件	0件	0件	0件
(6)	食中毒	0件	0件	0件	0件
(7)	感染症・結核	0件	0件	0件	0件
(8)	職員の法令違反	0件	0件	0件	0件
(9)	その他	0件	0件	0件	0件
	合計	1件	1件	1件	1件

※介護サービス提供により事故が発生した場合、事故の解決及び再発防止のため、事業所は保険者に速やかに報告することとなっています。その範囲については、以下のとおりとします。

報告すべき事故の範囲

(1)介護サービスの提供(送迎・通院等含む)により、利用者のケガ、または死亡事故が発生した場合

①ケガの程度については、医療機関で治療(複数回の通院加療を要すケガ)、または入院したもの。

②事業所の責任や過失の有無によらない。

(2)感染症、食中毒及び結核が発生した場合

①感染症については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に定められている「疾病分類表」に掲載されているもの及びノロウイルスや疥癬症、食中毒等を対象とする。なお、原因不詳でも、嘔吐や下痢、高熱が伴う症状が10人以上、もしくは入所者の半数を超える場合には報告する。

②個々の保険者で別途、届出義務が定められている場合は、それに従うこと。

(3)職員(従業員)の法令違反、不祥事等が発生した場合

(4)その他、報告が必要と認められる事故が発生した場合

①無断外出により外部組織に捜索依頼した場合など

2. 事故発生の状況(行政への報告を要しないものの)

内容	発生件数	内容	発生件数
① 転倒(けがの有無は問わない)	14件	⑧ 異食(治療を要したもの)	2件
② 転落(けがの有無は問わない)	12件	⑨ 無断外出(自主捜索)	0件
③ ずり落ち(けがの有無は問わない)	3件	⑩ 利用者間のトラブル(けがあり)	0件
④ 表皮剥離	30件	⑪ 誤薬(実際に飲んだ)	0件
⑤ 擦過傷	6件	⑫ 入れ歯、メガネ、補聴器等の破損	0件
⑥ 打撲	47件	⑬ その他 ()	2件
⑦ 誤飲・誤嚥(つまった)	4件	合計	120件

3 ひやりハットの取り組み

1. 身体的事項 ()は実際に起こった事故件数

内容	発生件数	内容	発生件数
① 転倒しそうになった(ふらつき)	58(14)	⑧ 異食(治療を要しないもの)	11(2)
② 転落しそうになった	80(12)	⑨ 無断外出(出て行きそうになった)	1(0)
③ ずり落ちそうになった	61(3)	⑩ 利用者間のトラブル(けがなし)	4(0)
④ はさみこみ(表皮剥離していない)	2(30)	⑪ 配薬ミス(実際に飲んでいない)	8(0)
⑤ こすった(擦過傷にはならない)	1(6)	⑫ 入れ歯、メガネ、補聴器等の破損の恐れ	2(0)
⑥ ぶつけた(打撲はしていない)	5(47)	⑬ その他 ()	22(2)
⑦ 誤飲・誤嚥(むせた)	6(4)	合計	261(120)

2. 介護中の事故

内容	発生件数	内容	発生件数
① 車椅子等の取扱いを誤った	0(0)	⑥ その他機具の取扱いを誤った	0(0)
② ベッドの取扱いを誤った	0(0)	⑦ 支持(支え方)、介助方法を誤った	0(0)
③ 入浴器具の取扱いを誤った	0(0)	⑧ 利用者間の誤った介助があった	0(0)
④ 介護器具の取扱いを誤った	0(0)	⑨ その他 ()	0(0)
⑤ 医療器具の取扱いを誤った	0(0)	合計	0(0)

※1 「車椅子等」とは→歩行器、杖等の移動に使用する器具を示す。

※2 「医療器具」とは→在宅酸素、胃ろうチューブ、バルン、点滴等の取扱いを示す。

3. その他の事項

内容	発生件数	内容	発生件数
① 車椅子等の整備に不備があった	0(0)	⑥ その他機具の備に不備があった	0(0)
② ベッドの整備に不備があった	0(0)	⑦ 衛生手順のミスがあった	0(0)
③ 入浴器具の整備に不備があった	0(0)	⑧ 持ち物取換え、紛失、破損	0(0)
④ 介護器具の整備に不備があった	1(0)	⑨ その他 ()	0(0)
⑤ 医療器具の整備に不備があった	0(0)	合計	1(0)

※3 「連絡ミス」とは→ケアプランの記載事項の連絡ミスを示す。(逆にケアプランへの記載漏れも含む)

4. ひやりハットの分析

発生場所	件数	発見の契機	件数	発生曜日	件数	発生時間	件数
居室	180(0)	職員が発見	185(0)	月曜日	38(0)	0:00～ 2:59	40(0)
食堂	26(0)	本人の通報	17(0)	火曜日	41(0)	3:00～ 5:59	28(0)
浴室	1(0)	他利用者の通報	5(0)	水曜日	31(0)	6:00～ 8:59	20(0)
トイレ	11(0)	家族の通報	0(0)	木曜日	51(0)	9:00～ 11:59	18(0)
機能訓練室	2(0)	センサー作動	55(0)	金曜日	38(0)	12:00～14:59	40(0)
廊下	38(0)	その他	0(0)	土曜日	35(0)	15:00～17:59	32(0)
移送時	1(0)			日曜日	28(0)	18:00～20:59	39(0)
その他	2(0)					21:00～23:59	44(0)
合計	261(0)	合計	262(0)	合計	262(0)	合計	261(0)

※4 1.の①～⑬までの内容を対象として分析します。

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	芝田 和弘	令和5年5月1日

4 身体拘束の状況報告

(1) 身体拘束（合法的手続きに基づく拘束の実施）

	身体拘束事項	件数
①	徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
②	転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
③	自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。	0件
④	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。	0件
⑤	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。	0件
⑥	車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったりにしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける。	0件
⑦	立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する。	0件
⑧	脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。	0件
⑨	他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
⑩	行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。	0件
⑪	自分の意志で開けることのできない居室等に隔離する。	0件
⑫	その他	0件
	合計	0件

※1 「身体的拘束等とは」→指定基準において禁止の対象となっている行為は、「身体的拘束その他、利用者の行動を制限する行為」です。厚生労働省が発行した「身体拘束ゼロへの手引き」では、具体的な行為として、以上のような行為をあげています。なお、「言葉による拘束」や、「虐待的な行為」も含まれます。

※2 「当報告書の目的は」→以上の行為がないことを確認することと、発見した場合、速やかに解決することです。発見しても目をつぶらず、即時、対応することで解決を図りましょう。

(2) 無届の拘束の発見

項目	説明
① 無届の拘束の有無	無し
② 発見の職（通報者）	
③ 拘束の概要	
④ 行われていた事情	
⑤ 対処	

※1 届出がされていなくても緊急性があり実施され、直ちに合法的な手続きが実施されたものは含みません。

※2 発見後、直ちに中止した場合は「あり」として記載してください。

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	芝田 和弘	令和5年5月1日

Ⅲ 会計・経理

1 主な収入、人件費の状況 (エネルギー支出)

1 実質的人件費比率の確認

	稼働率管理(数)	率(%)	収入・支出管理	金額	率(%)
(1)特別養護老人ホーム	25372 名	95.2 %		323,074,284 円	(収入計)
① 長期入所稼働率	22701 名	95.7 %	①主な収入	292,906,149 円	
② 入退所、院空床(長期)	1024 床	4.3 %	②短期収入	30,168,135 円	
③ 短期入所稼働率	2671 名	91.5 %	②人件費支出(率)	219,779,890 円	68.0 %
④ 入退所、院空床(短期)	249 床	8.5 %	③エネルギー支出	18,760,713 円	5.8 %
(2)グループホーム					
① 稼働率	3178 名	96.7 %	①主な収入	41,377,423 円	
② 入退所空床(率)	107 床	3.3 %	②人件費支出(率)	32,342,630 円	78.2 %
③ 入退院空床(率)			③エネルギー支出	2,541,098 円	6.1 %
(3)新野デイサービス	293日営業				
① 稼働率	5614 名	62.4 %	①主な収入	60,892,030 円	
② キャンセル(欠席)	0 名	0 %	②人件費支出(率)	40,874,323 円	67.1 %
③ 受入れ拒否状況	0 名	0 %	③エネルギー支出	5,136,921 円	8.4 %
(4)ホームヘルプ					
① 延べ提供時間	231.3 時間	7.3 %	①主な収入	897,448 円	
② キャンセル(欠席)	0 時間	0 %	②人件費支出(率)	2,982,289 円	332.3 %
③ 受入れ拒否状況	0 件	0 %	③エネルギー支出	- 円	0.0 %
(5)ケアプラン					
① 延べプラン数	508 件	52.9 %	①主な収入	6,149,160 円	
			②人件費支出(率)	6,491,526 円	105.6 %
			③エネルギー支出	115,641 円	1.9 %
(6)在宅介護支援					
① 延べプラン数			①主な収入	325,036 円	
			②人件費支出(率)	- 円	
			③エネルギー支出	- 円	
(7)高齢者支援ハウス					
① 稼働率	2526 名	69.2 %	①主な収入	7,160,328 円	
② 入退所空床(率)	1124 床	30.8 %	②人件費支出(率)	1,825,000 円	25.5 %
			③エネルギー支出	670,214 円	9.4 %
エリア合計					
			①主な収入	439,550,673 円	24.6 %
			②人件費支出(率)	304,295,658 円	69.2 %
			③エネルギー支出	27,224,587 円	6.2 %

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	芝田 和弘	令和5年5月1日

2 経営の状況（振り返り）

(1) 事業活動計算書より

表1（赤石寮拠点区分）

		平成30年度～令和4年度										
勘定科目		平成30年度	構成比率	令和元年度	構成比率	令和2年度	構成比率	令和3年度	構成比率	令和4年度	構成比率	趨勢指標
サービス活動増減の部	収入											
	介護保険事業収益	453,755,413	99.9%	455,959,853	99.9%	471,360,701	100.0%	434,245,401	100.0%	438,320,482	100.9%	96.6
	経常経費寄附金収益	446,423	0.1%	370,000	0.1%	140,000	0.0%	210,000	0.0%	349,700	0.1%	78.3
	サービス活動収益計(1)	454,201,836	100.0%	456,329,853	100.0%	471,500,701	100.0%	434,455,401	100.0%	438,670,182	101.0%	96.6
	費用											
	人件費	303,669,918	66.9%	313,584,270	68.7%	309,342,963	65.6%	302,619,597	69.7%	304,908,054	70.2%	100.4
	事業費	78,366,367	17.3%	77,408,909	17.0%	73,935,820	15.7%	73,942,270	17.0%	78,522,872	18.1%	100.2
事務費	33,045,076	7.3%	33,643,527	7.4%	32,327,389	6.9%	29,467,420	6.8%	30,429,597	7.0%	92.1	
減価償却費	17,733,230	3.9%	15,111,613	3.3%	16,255,714	3.4%	16,847,784	3.9%	15,949,114	3.7%	89.9	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,753,063	-1.9%	△ 6,481,413	-1.4%	△ 6,481,413	-1.4%	△ 6,316,038	-1.5%	△ 5,864,140	-1.3%	67.0	
サービス活動費用計(2)	424,061,528	93.4%	433,266,906	94.9%	425,380,473	90.2%	416,561,033	95.9%	423,945,497	97.6%	100.0	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	30,140,308	6.6%	23,062,947	5.1%	46,120,228	9.8%	17,894,368	4.1%	14,724,685	3.4%	48.9	
サービス活動外増減の部	収入											
	受取利息配当金収益	8,214	0.0%	9,603	0.0%	8,261	0.0%	4,946	0.0%	5,889	0.0%	71.7
	その他のサービス活動外収益	7,284,181	1.6%	2,294,880	0.5%	1,591,094	0.3%	9,186,160	2.1%	1,199,638	0.3%	16.5
	サービス活動外収益計(4)	7,292,395	1.6%	2,304,483	0.5%	1,599,355	0.3%	9,191,106	2.1%	1,205,527	0.3%	16.5
	費用											
その他のサービス活動外費用	340,253	0.1%	0	0.0%	564,345	0.1%	670,961	0.2%	1,126,922	0.3%	331.2	
サービス活動外費用計(5)	340,253	0.1%	0	0.0%	564,345	0.1%	670,961	0.2%	1,126,922	0.3%	331.2	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	6,952,142	1.5%	2,304,483	0.5%	1,035,010	0.2%	8,520,145	2.0%	78,605	0.0%	1.1	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	37,092,450	8.2%	25,367,430	5.6%	47,155,238	10.0%	26,414,513	6.1%	14,803,290	3.4%	39.9	

表2（赤石寮）

		平成30年度～令和4年度										
勘定科目		平成30年度	構成比率	令和元年度	構成比率	令和2年度	構成比率	令和3年度	構成比率	令和4年度	構成比率	趨勢指標
サービス活動増減の部	収入											
	介護保険事業収益	315,845,583	99.9%	321,220,369	99.9%	330,248,544	100.0%	312,192,856	99.9%	321,694,991	99.9%	101.9
	経常経費寄附金収益	406,423	0.1%	335,000	0.1%	135,000	0.0%	205,000	0.1%	349,700	0.1%	86.0
	サービス活動収益計(1)	316,252,006	100.0%	321,555,369	100.0%	330,383,544	100.0%	312,397,856	100.0%	322,044,691	100.0%	101.8
	費用											
	人件費	211,243,137	66.8%	218,837,148	68.1%	219,775,413	66.5%	217,691,692	69.7%	221,187,810	68.7%	104.7
	事業費	55,835,990	17.7%	57,077,605	17.8%	54,458,191	16.5%	55,456,542	17.8%	59,868,706	18.6%	107.2
事務費	24,617,514	7.8%	24,600,830	7.7%	24,076,788	7.3%	22,575,502	7.2%	23,440,571	7.3%	95.2	
減価償却費	13,594,197	4.3%	11,153,680	3.5%	11,830,506	3.6%	12,375,511	4.0%	11,574,196	3.6%	85.1	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 7,014,494	-2.2%	△ 4,737,844	-1.5%	△ 4,737,844	-1.4%	△ 4,737,844	-1.5%	△ 4,641,010	-1.4%	66.2	
サービス活動費用計(2)	298,276,344	94.3%	306,931,419	95.5%	305,403,054	92.4%	303,361,403	97.1%	311,430,273	96.7%	104.4	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	17,975,662	5.7%	14,623,950	4.5%	24,980,490	7.6%	9,036,453	2.9%	10,614,418	3.3%	59.0	
サービス活動外増減の部	収入											
	受取利息配当金収益	6,056	0.0%	6,834	0.0%	5,644	0.0%	3,157	0.0%	4,112	0.0%	67.9
	その他のサービス活動外収益	1,790,741	0.6%	1,284,761	0.4%	1,084,375	0.3%	8,942,633	2.9%	1,025,481	0.3%	57.3
	サービス活動外収益計(4)	1,796,797	0.6%	1,291,595	0.4%	1,090,019	0.3%	8,945,790	2.9%	1,029,593	0.3%	57.3
	費用											
その他のサービス活動外費用	340,253	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	670,961	0.2%	545,701	0.2%	160.4	
サービス活動外費用計(5)	340,253	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	670,961	0.2%	545,701	0.2%	160.4	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	1,456,544	0.5%	1,291,595	0.4%	1,090,019	0.3%	8,274,829	2.6%	483,892	0.2%	33.2	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	19,432,206	6.1%	15,915,545	4.9%	26,070,509	7.9%	17,311,282	5.5%	11,098,310	3.4%	57.1	

表3 (新野デイサービス)

		平成30年度～令和4年度											
勘定科目		平成30年度	構成比率	令和元年度	構成比率	令和2年度	構成比率	令和3年度	構成比率	令和4年度	構成比率	趨勢指標	
サービス活動増減の部	取	介護保険事業収益	77,619,053	99.9%	76,420,134	100.0%	79,851,883	100.0%	65,035,599	100.0%	60,886,912	100.0%	78.4
	取	経常経費寄附金収益	40,000	0.1%	30,000	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0
	取	サービス活動収益計(1)	77,659,053	100.0%	76,450,134	100.0%	79,851,883	100.0%	65,035,599	100.0%	60,886,912	100.0%	78.4
	費	人件費	48,348,950	62.3%	49,889,455	65.3%	46,230,111	58.0%	42,192,440	64.9%	41,001,451	67.3%	84.8
	費	事業費	12,758,467	16.4%	11,441,902	15.0%	10,935,706	13.7%	10,725,873	16.5%	11,202,343	18.4%	87.8
	費	事務費	4,206,910	5.4%	4,640,088	6.1%	3,984,792	5.0%	3,290,571	5.1%	3,642,419	6.0%	86.6
	費	減価償却費	1,442,454	1.9%	1,262,503	1.7%	1,651,474	2.1%	1,832,826	2.8%	2,302,653	3.8%	159.6
	費	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
	費	サービス活動費用計(2)	66,756,781	86.0%	67,233,948	87.9%	62,852,083	78.7%	58,041,710	89.2%	58,148,866	95.5%	87.1
	費	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	10,902,272	14.0%	9,216,186	12.1%	16,999,800	21.3%	6,993,889	10.8%	2,738,046	4.5%	25.1
サービス活動外増減の部	取	受取利息配当金収益	1,358	0.0%	1,849	0.0%	1,625	0.0%	1,076	0.0%	1,151	0.0%	84.8
	取	その他のサービス活動外収益	7,150	0.0%	5,439	0.0%	4,171	0.0%	4,917	0.0%	3,967	0.0%	55.5
	取	サービス活動外収益計(4)	8,508	0.0%	7,288	0.0%	5,796	0.0%	5,993	0.0%	5,118	0.0%	60.2
	費	その他のサービス活動外費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
	費		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
	費	サービス活動外費用計(5)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
	費	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	8,508	0.0%	7,288	0.0%	5,796	0.0%	5,993	0.0%	5,118	0.0%	60.2
費	経常増減差額(7)=(3)+(6)	10,910,780	14.0%	9,223,474	12.1%	17,005,596	21.3%	6,999,882	10.8%	2,743,164	4.5%	25.1	

表4 (やすらぎの郷)

		平成30年度～令和4年度											
勘定科目		平成30年度	構成比率	令和元年度	構成比率	令和2年度	構成比率	令和3年度	構成比率	令和4年度	構成比率	趨勢指標	
サービス活動増減の部	取	介護保険事業収益	40,765,741	100.0%	40,926,582	100.0%	41,754,634	100.0%	40,297,621	100.0%	41,206,913	100.0%	101.1
	取	経常経費寄附金収益	0	0.0%	5,000	0.0%	5,000	0.0%	5,000	0.0%	0	0.0%	-
	取	サービス活動収益計(1)	40,765,741	100.0%	40,931,582	100.0%	41,759,634	100.0%	40,302,621	100.0%	41,206,913	100.0%	101.1
	費	人件費	31,176,678	76.5%	32,083,598	78.4%	31,718,280	76.0%	31,552,490	78.3%	32,627,246	79.2%	104.7
	費	事業費	4,877,282	12.0%	4,661,588	11.4%	4,469,145	10.7%	4,206,670	10.4%	4,184,442	10.2%	100.0
	費	事務費	2,238,783	5.5%	2,298,529	5.6%	2,030,742	4.9%	2,110,857	5.2%	2,425,320	5.9%	100.0
	費	減価償却費	2,657,057	6.5%	2,684,900	6.6%	2,712,327	6.5%	2,458,552	6.1%	1,891,370	4.6%	71.2
	費	国庫補助金等特別積立金取崩額	△1,743,569	-4.3%	△1,743,569	-4.3%	△1,743,569	-4.2%	△1,578,194	-3.9%	△1,223,130	-3.0%	70.2
	費	サービス活動費用計(2)	39,206,231	96.2%	39,985,046	97.7%	39,186,925	93.8%	38,750,375	96.1%	39,905,248	96.8%	101.8
	費	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	1,559,510	3.8%	946,536	2.3%	2,572,709	6.2%	1,552,246	3.9%	1,301,665	3.2%	83.5
サービス活動外増減の部	取	受取利息配当金収益	358	0.0%	470	0.0%	525	0.0%	301	0.0%	320	0.0%	89.4
	取	その他のサービス活動外収益	5,458,690	13.4%	1,004,680	2.5%	502,548	1.2%	238,610	0.6%	170,190	0.4%	3.1
	取	サービス活動外収益計(4)	5,459,048	13.4%	1,005,150	2.5%	503,073	1.2%	238,911	0.6%	170,510	0.4%	3.1
	費	その他のサービス活動外費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
	費		0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
	費	サービス活動外費用計(5)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
	費	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,459,048	13.4%	1,005,150	2.5%	503,073	1.2%	238,911	0.6%	170,510	0.4%	3.1
費	経常増減差額(7)=(3)+(6)	7,018,558	17.2%	1,951,686	4.8%	3,075,782	7.4%	1,791,157	4.4%	1,472,175	3.6%	21.0	

表5 (居宅介護支援)

平成30年度～令和4年度

勘定科目		平成30年度	構成比率	令和元年度	構成比率	令和2年度	構成比率	令和3年度	構成比率	令和4年度	構成比率	趨勢指標
サービス活動増減の部	収益											
	介護保険事業収益	8,150,610	100.0%	7,473,850	100.0%	7,699,020	100.0%	6,901,840	100.0%	6,148,980	100.0%	75.4
	経常経費寄附金収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	サービス活動収益計(1)	8,150,610	100.0%	7,473,850	100.0%	7,699,020	100.0%	6,901,840	100.0%	6,148,980	100.0%	75.4
	費用											
	人件費	8,329,141	102.2%	8,135,416	108.9%	6,864,215	89.2%	6,449,146	93.4%	5,284,258	85.9%	63.4
	事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	事務費	287,289	3.5%	445,801	6.0%	268,381	3.5%	290,676	4.2%	253,788	4.1%	88.3
	減価償却費	25,272	0.3%	10,530	0.1%	35,933	0.5%	91,850	1.3%	91,850	1.5%	363.4
	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
サービス活動費用計(2)	8,641,702	106.0%	8,591,747	115.0%	7,168,529	93.1%	6,831,672	99.0%	5,629,896	91.6%	65.1	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 491,092	-6.0%	△ 1,117,897	-15.0%	530,491	6.9%	70,168	1.0%	519,084	8.4%	-105.7	
サービス活動外増減の部	収益											
	受取利息配当金収益	349	0.0%	348	0.0%	355	0.0%	297	0.0%	180	0.0%	51.6
	その他のサービス活動外収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	サービス活動外収益計(4)	349	0.0%	348	0.0%	355	0.0%	297	0.0%	180	0.0%	51.6
	費用											
	その他のサービス活動外費用	0	0.0%	0	0.0%	564,345	7.3%	0	0.0%	581,221	9.5%	—
サービス活動外費用計(5)	0	0.0%	0	0.0%	564,345	7.3%	0	0.0%	581,221	9.5%	—	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	349	0.0%	348	0.0%	△ 563,990	-7.3%	297	0.0%	△ 581,041	-9.4%	-169497.4	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 490,743	-6.0%	△ 1,117,549	-15.0%	△ 33,499	-0.4%	70,465	1.0%	△ 61,957	-1.0%	12.6	

表6 (新野ホームヘルプ)

勘定科目		平成30年度	構成比率	令和元年度	構成比率	令和2年度	構成比率	令和3年度	構成比率	令和4年度	構成比率	趨勢指標
サービス活動増減の部	収益											
	介護保険事業収益	2,074,000	100.0%	1,319,740	100.0%	2,969,820	100.0%	1,835,640	100.0%	897,421	100.0%	43.3
	経常経費寄附金収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	サービス活動収益計(1)	2,074,000	100.0%	1,319,740	100.0%	2,969,820	100.0%	1,835,640	100.0%	897,421	48.0%	43.3
	費用											
	人件費	2,722,012	131.2%	2,808,653	212.8%	2,879,944	97.0%	2,908,829	158.5%	2,982,289	332.3%	109.6
	事業費	29,246	1.4%	27,129	2.1%	201,834	6.8%	0	0.0%	0	0.0%	0.0
	事務費	94,329	4.5%	83,119	6.3%	277,099	9.4%	169,657	9.2%	182,970	20.4%	194.0
	減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	25,474	0.9%	89,045	4.9%	89,045	9.9%	#DIV/0!
	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
サービス活動費用計(2)	2,845,587	137.2%	2,918,901	221.2%	3,384,951	114.0%	3,167,531	172.6%	3,254,304	362.6%	114.4	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△ 771,587	-37.2%	△ 1,599,161	-121.2%	△ 415,131	-14.0%	△ 1,331,891	-72.6%	△ 2,356,883	-262.6%	305.5	
サービス活動外増減の部	収益											
	受取利息配当金収益	28	0.0%	27	0.0%	26	0.0%	25	0.0%	27	0.0%	96.4
	その他のサービス活動外収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
	サービス活動外収益計(4)	28	0.0%	27	0.0%	26	0.0%	25	0.0%	27	0.0%	96.4
	費用											
	その他のサービス活動外費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—
サービス活動外費用計(5)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	—	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	28	0.0%	27	0.0%	26	0.0%	25	0.0%	27	0.0%	96.4	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 771,559	-37.2%	△ 1,599,134	-121.2%	△ 415,105	-14.0%	△ 1,331,866	-72.6%	△ 2,356,856	-262.6%	305.5	

表7 (在宅介護支援)

		平成30年度～令和4年度												
勘定科目		平成30年度	構成比率	令和元年度	構成比率	令和2年度	構成比率	令和3年度	構成比率	令和4年度	構成比率	趨勢指標		
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	325,000	100.0%	325,000	100.0%	325,000	100.0%	325,000	100.0%	325,000	100.0%	100.0	
		経常経費寄附金収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	
		サービス活動収益計(1)	325,000	100.0%	325,000	100.0%	325,000	100.0%	325,000	100.0%	325,000	100.0%	100.0	
	費用		人件費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
			事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
			事務費	432	0.1%	432	0.1%	440	0.1%	440	0.1%	440	0.1%	101.9
			減価償却費	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
			国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
		サービス活動費用計(2)	432	0.1%	432	0.1%	440	0.1%	440	0.1%	440	0.1%	101.9	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	324,568	99.9%	324,568	99.9%	324,560	99.9%	324,560	99.9%	324,560	99.9%	100.0	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	36	0.0%	36	0.0%	37	0.0%	36	0.0%	36	0.0%	100.0	
		その他のサービス活動外収益	3,000	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	
		サービス活動外収益計(4)	3,036	0.9%	36	0.0%	37	0.0%	36	0.0%	36	0.0%	1.2	
	費用		その他のサービス活動外費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
			サービス活動外費用計(5)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,036	0.9%	36	0.0%	37	0.0%	36	0.0%	36	0.0%	1.2	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	327,604	100.8%	324,604	99.9%	324,597	99.9%	324,596	99.9%	324,596	99.9%	99.1		

表8 (高齢者支援ハウス)

		平成30年度～令和4年度												
勘定科目		平成30年度	構成比率	令和元年度	構成比率	令和2年度	構成比率	令和3年度	構成比率	令和4年度	構成比率	趨勢指標		
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	8,975,426	100.0%	8,274,178	100.0%	8,511,800	100.0%	7,656,845	100.0%	7,160,265	100.0%	79.8	
		経常経費寄附金収益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-	
		サービス活動収益計(1)	8,975,426	100.0%	8,274,178	100.0%	8,511,800	100.0%	7,656,845	100.0%	7,160,265	100.0%	79.8	
	費用		人件費	1,850,000	20.6%	1,890,000	22.1%	1,825,000	21.4%	1,825,000	23.8%	1,825,000	25.5%	98.6
			事業費	4,865,382	54.2%	4,200,685	50.8%	3,870,944	45.5%	3,553,185	46.4%	3,267,381	45.6%	67.1
			事務費	1,599,819	17.8%	1,574,728	19.0%	1,688,547	19.8%	1,029,717	13.4%	484,089	6.8%	30.0
			減価償却費	19,250	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0
			国庫補助金等特別積立金取崩額	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
		サービス活動費用計(2)	8,334,451	92.9%	7,605,413	91.9%	7,384,491	86.8%	6,407,902	83.7%	5,576,470	77.9%	66.9	
		サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	640,975	7.1%	668,765	8.1%	1,127,309	13.2%	1,248,943	16.3%	1,583,795	22.1%	247.1	
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	29	0.0%	39	0.0%	49	0.0%	54	0.0%	63	0.0%	217.2	
		その他のサービス活動外収益	24,600	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.0	
		サービス活動外収益計(4)	24,629	0.3%	39	0.0%	49	0.0%	54	0.0%	63	0.0%	0.3	
	費用		その他のサービス活動外費用	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
			サービス活動外費用計(5)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	-
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	24,629	0.3%	39	0.0%	49	0.0%	54	0.0%	63	0.0%	0.3	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	665,604	7.4%	668,804	8.1%	1,127,358	13.2%	1,248,997	16.3%	1,583,858	22.1%	238.0		

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	芝田 和弘	令和5年5月1日

IV 安全対策

1 災害安全対策の状況

(1) 避難誘導訓練の状況

	実施日	訓練内容	参加利用者	参加職員数	備考
①	6月23日	夜間想定火災訓練 (情報伝達・避難・消火)	70	30	新型コロナウイルス感染症まん延防止のためソーシャルディスタンスのうえ実施
②	10月9日	地震防災訓練及び火災訓練 (情報伝達・緊急対策本部招集・ 情報収集・応急処置・ラウンド・ 初期消火・炊き出し(非常食))	64	31	

(2) 点検の状況

	内容	実施日①	実施日②	備考
①	火災警報設備	4月26日 2月13日	9月6日	(株) 龍光電気工業
②	スプリンクラー設備	4月26日	9月6日	(株) 龍光電気工業

2 交通安全対策の状況

(1) 交通安全対策の状況

業務中の交通事故はありませんでした。1件生じたのが通勤途上による交通事故で原因はタイヤの摩耗によるパンクで、大事に至りませんでした。普段より、交通安全週間等の周知を行う中で、今年度からアルコールチェッカーを運転前に行うようになりました。

(2) 事故発生の状況

	公務中の交通事故	通勤途上の交通事故	備考
① 人身事故	0件	0件	
② 対物事故	0件	0件	
③ 自損事故	0件	1件	パンク
④ その他	0件	0件	
合計	0件	1件	

V 職員関係

1 必須委員会、研修会の実施状況

エリア名	委員会名	記載者	記載日
阿南エリア	苦情解決委員会	長谷 たつ江	令和5年5月1日

(1) 苦情解決委員会

① 第1回委員会

開催日	—
出席者	—
議題	ご利用者さまアンケート結果
内容	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため満足度調査が中止されたため開催せず

② 第2回委員会

開催日	—
出席者	—
議題	法人サービス評価結果より
内容	新型コロナウイルス感染症まん延防止のため法人サービス評価が中止されたため開催せず

エリア名	委員会名	記載者	記載日
阿南エリア	事故防止委員会	長谷 たつ江	令和5年5月1日

(2) 事故防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月22日(金)
出席者	施設長：芝田 生活相談員：長谷 介護支援専門員：牛山 看護師：東 介護主任：古川 管理栄養士：土屋 介護士：遠山・飛矢崎・高坂 GH介護士：栗下
議題	① 今年度委員会目標と活動計画 ② 令和3年度事故分析 ③ 2件の重大事故(骨折)検証 ④ ヒヤリハットと事故報告の区分明確化 ⑤ 事故報告書の記入方法について
内容	① 「情報を共有し事故を未然に防ぐ。再発防止に対する意識を持つ」ことを目標設定にする。報告書周知の方法、KYの検討など活動内容の計画を検討した ② 過去1年間の発生状況より誤薬事故について未然に防げる事故といえる。マニュアルに沿った与薬を行い「ゼロ」になるよう取り組みたい ③ PTとも協働した対策を講じる事が出来た。介護士1人で無理することなく複数名での介助を奨励する ④ 事故レベルの基準とヒヤリハットの基準を明確にした ⑤ ほのぼのを活用した事故報告書の作成を検討した。先行的に部署長へ伝え徐々に移行していく

② 第2回委員会

開催日	令和4年7月22日(金)
出席者	施設長：芝田 生活相談員：長谷介護主任 管理栄養士：土屋 介護主任：古川 介護士：宮島・高坂
議題	① R3.7月～R4.6月の事故・ヒヤリ報告について突 ② 発記録の入力について ③ 「介護中の事故」を減らすには ④ リスク評価表について ⑤ 居室の整備について ⑥ 学習会の方法
内容	① 事故・ヒヤリについて各部署より報告する ② 【所見】や【要因】欄に空白部が見られる。確実に入力するように。又、【状況】は職員が発見したのか、センサーが作動したのか発見に至るきっかけで入力していく ③ 【要因】を介助中と自律動作中に分類し、介助中の事故を減らすための取り組みを考えていく ④ ケアプラン見直しの利用者様を対象に評価する ⑤ 地震に備え各ユニットの委員を中心に居室の環境整備を行い整理整頓を行う。10月には各居室のラウンドを実施 ⑥ 2回/年の学習会を少人数のグループで行う。KYTと実際の施設内で起こった事故報告書をもとに危険予知訓練を企画していく

① 第1回研修会

開催日	令和4年9月7日
出席者	赤石寮介護士 古川佳代
テーマ	リスクマネジメント研修「安全管理体制のための研修」
内容	① 事故防止活動の基礎知識 ② 効果が上がる事故防止活動 ③ 各場面での事故防止の具体策 ④ 事故対応マニュアルの見直し ⑤ 安全部門の活動

② 第2回研修会

開催日	令和5年1月
出席者	赤石寮介護士
テーマ	KYTトレーニングと事例検討
内容	食事介助中の場面を想定し危険予知訓練を行う(KYT トレーニング) 安全な介護のルールと介護職員の行動のルールについて学ぶ 事例①②について自由意見を述べてもらう 自分の行動を見直し、重大事故を予防するための学習を行った

エリア名	委員会名	記載者	記載日
阿南エリア	身体拘束廃止及び高齢者虐待防止委員会	長谷 たつ江	令和5年5月1日

(3) 身体拘束廃止及び高齢者虐待防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月28日(木)
出席者	施設長：芝田 生活相談員：長谷 管理栄養士：土屋 介護支援専門員：牛山 介護主任：古川 介護士：村松 太田 伊東 佐々木 調理：村澤 G・H介護士：勝又
議題	① 委員会目標の設定と委員会開催日程 ② 施設内での身体拘束チェック ③ 接遇の改善について ④ 学習会開催計画 ⑤ 自身の行動を見直すための伝え方
内容	① 今年度委員会目標を「自身の行動を見直す」に設定する。委員会を1回/3月開催する ② 身体拘束の定義の読み合わせを行う。併せて身体拘束チェックを実施した ③ 接遇の信条6つのポイント内容の見直しを行った ④ 2回/年の学習会を開催したい。第1回目は「身体拘束について」、第2回目は「接遇の改善について」開催する。 全体での学習会は困難なため、委員を中心に一緒に学ぶこととする ⑤ 介護中の不適切な発言が見受けられるも個人的に指摘は困難と考え、部署長会議に提案し各ユニット会議に部署長からも伝えてもらえるよう協力をお願いする

② 第2回委員会

開催日	令和4年7月28日(木)
出席者	施設長：芝田 生活相談員：長谷 介護支援専門員：牛山 看護師：東 管理栄養士：土屋 調理：村澤 介護士：村松 龍口 佐々木 太田 GH介護士：勝又
議題	① 施設内での身体拘束チェック ② 第1回学習会のまとめ ③ ③ 第2回学習会の方法
内容	① 身体拘束チェックを実施した ② 学習会のまとめを行う。アンケート結果をもとに目に見える身体拘束は無いものの言葉による身体拘束(スピーチロック)が気になる職員は多い。そのことに気づく機会を持たせた事は評価できる ③ 次回の学習会は動画を作成して、訴えてみてはどうかという意見が挙がった

③ 第3回委員会

開催日	令和4年10月27日(木)
出席者	施設長：芝田 介護支援専門員：牛山 管理栄養士：土屋 介護士：村松 佐々木 宮澤 調理員：村澤
議題	① 施設内での身体拘束チェック ② スピーチロックについて ③ 12月の学習会について
内容	① 身体拘束チェックを実施した ② 施設内でのスピーチロックが疑われる場面と相手にもたらす影響について再認識する。言い換え表現の例を挙げる。否定的な言葉ではなく依頼系で伝えることでスピーチロックを回避できるのではないかと ③ 数名でのグループ学習を実施したい。動画を見て意見を出し合えるような学習会を計画していく

④ 第4回委員会

開催日	令和5年2月23日(木)
出席者	施設長：芝田 生活相談員：長谷 介護支援専門員：牛山 介護士：佐々木 宮澤 太田 村松 GH介護士：中村
議題	① 赤石寮における身体拘束の現況 ② 委員会内での学習会開催 ③ 今年度の振り返り ④ 来年度の取り組み
内容	① 高齢者虐待防止法に基づき振り返りを行う。当該事案は無いとの結論に至った ② 第2回学習会として「自身の行動を見直すために～不適切なケアと改善策～」の動画を鑑賞した。今後ユニット各部署での動画を使用した学習会を推奨していく ③ 意識付けはできてきたもののやはり未だ反省すべき点がある。言葉一つとっても丁寧な言葉の上に怒りや忙しさの感情がのっていることが見受けられるといった反省が挙げられた ④ 次年度目標を「見本」となれる「自分」になる、に設定する 利用者様からの声を受け止めて、自分の事と思えるように、細部にも気を配っていく

① 第1回研修会

開催日	令和4年7月
出席者	赤石寮職員全員 GH職員全員
テーマ	身体拘束について学ぼう
内容	① 身体拘束禁止の対象となる具体的な行為について穴埋め方式で学ぶ ② 身体拘束が認められる3要件について学ぶ ③ 小人数ごとに委員を中心とした学びの場を作りお互いに確認しあう事とした。実施後アンケートを取った。 ④ 初めての試みであったが概ね良い評価を得る事が出来た。

② 第2回研修会

開催日	令和5年2月23日～3月
出席者	赤石寮職員全員
テーマ	自身の行動を見直すために・・・不適切なケアと改善策
内容	① スピーチロックについて ② 動画鑑賞 ③ 依頼系での声がけの事例 ④ 自身の行動や発言を振り返って ⑤ 委員が中心になり各ユニットへ持ち帰り動画を一緒に観る ⑥ 意見交換を行う

エリア名	委員会名	記載者	記載日
阿南エリア	感染症及び食中毒防止委員会	長谷 たつ江	令和5年5月1日

(4) 感染症及び食中毒防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年5月18日(水)
出席者	施設長：芝田 生活相談員：長谷 介護支援専門員：牛山 管理栄養士：土屋 調理員：金田 介護主任：古川 看護師：村松 東 介護士：上嶋 後藤 佐々木 DS看護師：玉沢
議題	① 新型コロナウイルスについて ② 今年度の委員会目標「感染症を外から持ち込まない！うつらない、広めない。感染症マニュアルを周知徹底し初動対応の強化を図る」とする ③ 手洗いチェッカー実施 ④ 食中毒発生事項
内容	① 施設内感染があった場合の初動と各部署での役割分担 防護服の着脱方法訓練を実施した(第1回研修会) ② 阿南病院ICN鎌倉Nsによる研修会を予定している ③ 手洗いチェッカーによる手洗いチェックを実施する。5/18～1wごとにDS→赤石寮→GHへ回す ④ 飯田保健所管内でノロウイルスによる食中毒が発生している。予防に努めるようポイントを啓蒙する

② 第2回委員会

開催日	令和4年8月17日(水)
出席者	施設長：芝田 管理栄養士：土屋 看護師：村松・東 介護士：上嶋・佐々木・小林
議題	① 5S活動について ② 感染症対策についての検討事項 ② 病院より退院される利用者様への対応について ③ 夏期食中毒注意報、ヒスタミンによる食中毒等発生事項
内容	① ICN鎌倉看護師より5S活動について提案された。各ユニットのトイレの整理整頓に取り掛かることとする ② 携帯用消毒ジェルの導入検討を行った。またアルコール消毒液の設置場所を今後より使いやすい場所へ変更検討 ③ 退院時の抗原検査を実施し且つ3日間の居室隔離を行う多床室の場合はプライベートカーテンなどで仕切りフェイスマスクや使い捨てグローブを使用することとする ④ 夏期における食品の温度管理や肉の過熱具合など留意する点について啓蒙する

③ 第3回委員会

開催日	令和4年11月16日(水)
出席者	施設長：芝田 相談員：長谷 管理栄養士：土屋 DS看護師：玉沢 介護士：上嶋 小林 佐々木 調理員：栗生 GH介護士：勝又
議題	① 利用者様への濡れタオル提供について ② インフルエンザ予防接種について ③ マスク着用について ④ 食中毒について ⑤ その他
内容	① 感染症認定看護師より保温庫の使用は細菌の温床となることの指摘を受け今後顔拭きタオル・口拭きタオルの提供について検討する 共に廃止とし、代替案として保温庫は廃止し顔拭きはタオルを絞ってレンジで温めるなどして提供する。口拭きに関してもタオルを使用していく ② 2グループに分けて計画的に実施する ③ 厚労省及び県よりマスク着用についてのリーフレットが配布されたが、施設としては今後も引き続きの予防を行い前場面でのマスク着用を実施する ④ ヒスタミン食中毒・ノロウイルス食中毒について学ぶ ⑤ 加湿器の使用方法について、注意事項の確認を行う

④ 第4回委員会

開催日	令和5年2月15日(水)
出席者	施設長：芝田 看護師：村松 管理栄養士：土屋 介護支援専門員：牛山 介護士：小林 佐々木 上嶋 DS看護師：玉沢 GH：勝野
議題	① オミクロン株対応ワクチン接種について ② 感染対策について ③ 今年度の目標の反省と得られた結果 ④ 来年度目標と活動内容
内容	① 感染されていない方への予防接種は1月に実施済。感染された方への接種については阿南病院と相談しながら4月に予定 ② 感染対策セットの保管について ノロウイルス食中毒とコロナ感染症とは分けて設置・保管することとする。また予防着など残数管理の目的から医務室内で保管する ③ 今回のコロナ感染症については様々な反省が出された。改善点も多々あることから課題を分析し今後への対策を考えていく ④ 4回/年委員会、2回/年学習会の開催予定 次年度目標については後日決定する。感染予防の行動の見直し・改善を進めていく。 PPEの着脱方法訓練を実施したい。

① 第1回研修会

開催日	令和4年5月18日(水)
出席者	施設長：芝田 生活相談員：長谷 介護支援専門員：牛山 管理栄養士：土屋 調理員：金田 介護主任：古川 看護師：村松 東 介護士：上嶋 後藤 佐々木 DS看護師：玉沢
テーマ	① 感染防護服の着脱について ② コロナウイルス感染経路
内容	① 東Nsによる実技指導のもと実際に着脱訓練を行った 装着時：手袋→マスク→帽子→ガウン→フェイスシールド→手袋（各工程ごとに手指消毒実施） 脱衣時：ガウン+手袋→フェイスシールド→帽子→マスク→手袋（各工程ごとに手指消毒実施） ② コロナウイルスについて再認識の為の学習と初動対応での役割分担の確認

② 第2回研修会

開催日	令和4年7月11日(月)
出席者	施設長：芝田 管理栄養士：土屋 看護師：金田 村松 小林 東 南島 介護支援専門員：牛山 相談員：長谷 介護士：小林 上嶋 佐々木 GH介護士：勝又
テーマ	① 社会福祉施設における感染対策：県立阿南病院感染管理認定看護師鎌倉寿美子看護師
内容	① 感染対策の基本 「日常時からの予防対策」と「発生時の拡大防止対策」について。スタンダードプリコーションを常日頃から意識して取り組むことで発生時にも対応できるようになる。遵守することが有事の際の自身と利用者様、家族、同僚を守ることにつながる ② 感染経路別予防策 「接触感染予防策」「飛沫感染予防策」「空気感染予防策」について其々の相合方法を学ぶ ③ 新型コロナウイルス対策 ゾーニングの目的と当該施設でのゾーニング方法をシュミレーションした。陽性者の状態、発生人数、施設内状況によってゾーニング方法は変わるが、レッドゾーンから病原体を持ち出さないこととその維持管理が重要になることを学ぶ

エリア名	委員会名	記載者	記載日
阿南エリア	褥瘡予防委員会	長谷 たつ江	令和5年5月1日

(5) 褥瘡予防委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年7月26日(火)
出席者	施設長：芝田 看護師：金田(有) 管理栄養士：土屋 介護士：吉澤 熊谷 村松 調理員：溝口
議題	① 今年度上半期の振り返り ② 現在の褥瘡発生者の報告
内容	① ・早め早めの対応を取ることで悪化予防となっている。 ・繰り返し発生していた方も現在予防効果が上がっている。 ・指導内容を伝えるということが難しい。また委員以外の職員でも対応できるようにしていく ・今年度初めて車いす姿勢のラウンドを実施した。 ② ひだまり1名の褥瘡は完治した。入所時の持ち込みであったが除圧で完治することができた。発赤者1名はあるものの褥瘡者なし なごみ1名の皮むけがまだ治っていない状態。引き続きの除圧とポジショニングを継続していく あじさいは褥瘡者なし 今後も利用者様の安楽と笑顔のために発赤の段階で、褥瘡にならないよう決まったポジショニングを行っていく

② 第2回委員会

開催日	令和5年2月21日(火)
出席者	施設長：芝田 相談員：長谷 機能訓練指導員：金田(有) 介護支援専門員：牛山 介護士：平栗 佐川 奥田
議題	① 今年度目標の振り返りと褥瘡者報告 ② 来年度目標
内容	① ひだまりではN様が複数個所できており塚原先生から指導を受けた。が、うまく除圧ができていない。ユニット職員のポジショニングが統一できていないし伝達がうまくいっていない なごみではコロナ感染症後複数名の褥瘡が発生し、悪化している方もいる。職員の協力も得られたが完治には至っていない あじさいでは他ユニットの指導内容を把握できず、伝達することが出来なかった ② 「褥瘡を作らない」を目標設定とする PT指導内容をユニットスタッフへ伝達するために、時間を取り伝えていくようにする また2回/年の学習会を計画しポジショニング基礎編と確認編に分けて行う

① 第1回研修会

開催日	令和4年4月12日(火)
出席者	機能訓練指導員：金田(有) 相談員：長谷 介護支援専門員：牛山 管理栄養士：土屋 介護士：吉澤 佐川 村松
テーマ	① 車いすシーティングラウンド ② 個々へのポジショニング指導
内容	① 車いす姿勢の傾きの修正方法を学びシーティング姿勢のラウンドを実施する。心地よい良い姿勢を保持するだけで精神機能が向上し不穏や介護拒否が減ると関りも良くなり相乗効果で色々な機能が高まることを学ぶ ② 骨盤を直しても右に傾くのは体幹の変形の可能性がある。体幹の変形の状態をよく理解して身体の重さが垂直にかかるようにバスタオル等で調整する

② 第2回研修会

開催日	令和5年3月30日(木)
出席者	看護師 東・介護主任 古川
テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ① 褥瘡の定義 ② 褥瘡の原因と予防 ③ 耐圧分散マットレスの使用時の考え方 ④ 体位変換・ポジショニングの目的
内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 血流の低下により阻血性障害を起し褥瘡を発生させる ② 圧縮+ずれ=褥瘡 仰臥位<側臥位のほうが筋力を使い支える点が多くなる ③ エアマットを使用時にも体位変換を行うこと 例えば右側に褥瘡があったとしても満遍なく左右の体位変換を実施する。褥瘡側の時間を短くするなど工夫して行う ④ 「触る」という行為が重要であり刺激になる。体位変換は非常に必要な事といえる

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	芝田 和弘	令和5年5月1日

2 職員研修の状況

(1) 研修の状況（必須研修以外すべて）

No	研修名	参加数	研修の内容（ねらい）
1	リスクマネジメント安全管理体制	1	施設マネジメント、事故発生、内容、防止、対応
2	安全運転管理者講習	1	道路交通法、安全運転管理者法定講習
3	認定調査員現認研修	4	要介護認定における公平・公正かつ適切な認定調査
4	苦情対応システム研修	1	苦情制度と苦情への対応
5	褥瘡管理セミナー	2	褥瘡予防、処置、体圧分散等の考え方
6	喀痰吸引指導者研修	1	介護職員による喀痰吸引実習指導者
7	介護職種の技能実習指導員	2	技能実習生指導者養成講習
8	看取り研修	1	高齢者の病気の特徴、医療的なケアの方法

注1 研修は施設内、施設外を問いません。（法人で開催したものは含みません。）

注2 コロナ禍のため、外部研修とオンラインで開催された。

3 人材育成の状況

(1) 資格取得の状況

		受験者数	合格者数	備考
①	介護福祉士	0名	0名	
②	介護支援専門員	3名	0名	
③	社会福祉士	0名	0名	
④	その他	2名	2名	技能実習指導員及び管理者資格
	合計	5名	2名	

注①→公的資格を対象とします。講習、研修の参加によって得られる資格は対象外とします。

(2) 採用・離職の状況

		正規職員	契約職員	備考
①	採用	0名	4名	介護職員、看護職員
②	離職	1名	4名	住所移転、定年後の再雇用者
③	その他	1名	0名	人事異動
	合計	0名	0名	

注①→再雇用は含まないこととします。

エリア名	記載者	記載日
阿南エリア	長谷 たつ江	令和5年5月15日

VI その他

1 預かり金の状況

令和5年5月15日現在

施設名	預り金総額	人数	備考
赤石寮	68,985,424 円	62 人	
やすらぎの郷	7,185,107 円	9 人	
合計	76,170,531 円	74 人	

2 阿南町人口地区別推移（平成 28 年 4 月から令和 5 年 4 月）

H28 4月 1日現在			大下条	新野	和合	富草	合計
	世帯		870	531	126	593	2,120
	人口	男	982	575	120	684	2,361
		女	1,074	664	123	697	2,558
	計		2,056	1,239	243	1,381	4,919
H29 4月 1日現在			大下条	新野	和合	富草	合計
	世帯		866	521	118	583	2,088
	人口	男	970	550	116	676	2,312
		女	1,047	636	117	683	2,483
	計		2,017	1,186	233	1,359	4,795
H30 4月 1日現在			大下条	新野	和合	富草	合計
	世帯		860	507	114	582	2,063
	人口	男	947	526	118	671	2,262
		女	1,024	608	114	672	2,418
	計		1,971	1,134	232	1,343	4,680
H31 R1 4月 1日現在			大下条	新野	和合	富草	合計
	世帯		859	502	114	575	2,050
	人口	男	924	501	116	666	2,207
		女	1,015	585	114	663	2,377
	計		1,939	1,086	230	1,329	4,584
R2 4月 1日現在			大下条	新野	和合	富草	合計
	世帯		848	496	112	568	2,024
	人口	男	904	490	111	658	2,163
		女	983	563	112	643	2,301
	計		1,887	1,053	223	1,301	4,464
R3 4月 1日現在			大下条	新野	和合	富草	合計
	世帯		838	490	109	568	2,005
	人口	男	886	476	111	646	2,119
		女	963	547	109	648	2,267
	計		1,849	1,023	220	1,294	4,386
R4 4月 1日現在			大下条	新野	和合	富草	合計
	世帯		833	487	101	564	1,985
	人口	男	875	480	104	630	2,089
		女	942	530	100	617	2,189
	計		1,817	1,010	204	1,247	4,278
R5 4月 1日現在			大下条	新野	和合	富草	合計
	世帯		825	482	97	545	1,949
	人口	男	854	468	98	605	2,025
		女	912	526	92	589	2,119
	計		1,766	994	190	1,194	4,144

令和4年度 下條エリア事業報告（案）

目 次

I	利用者処遇	
1	利用者サービスの状況（振り返り）	1
2	看取りの状況	3
3	行事報告	4
II	運営管理（サービス状況報告）	
1	苦情解決報告	9
2	事故対応報告	11
3	ひやり・ハットの状況報告	12
4	身体拘束の状況報告	13
III	会計・経理	
1	主な収入、人件費の状況（エネルギー支出）	14
2	経営の状況（振り返り）	15
IV	安全対策	
1	災害安全対策の状況	
(1)	避難誘導訓練の状況	16
(2)	点検の状況	16
2	交通安全対策の状況	
(1)	交通安全対策の状況	16
(2)	事故発生の状況	16
V	職員関係	
1	必須委員会、研修会の実施状況（光の園）	
(1)	苦情解決委員会	17
(2)	事故防止委員会	18
(3)	身体拘束委員会	19
(4)	感染症及び食中毒防止委員会	20
(5)	褥瘡予防委員会	22
2	必須委員会、研修会の実施状況（第二光の園）	
(1)	苦情解決委員会	23
(2)	事故防止委員会	24
(3)	身体拘束委員会	25
(4)	感染症及び食中毒防止委員会	27
(5)	褥瘡予防委員会	29
(6)	必須委員会の種類	30
(7)	口腔内吸引・経管栄養委員会	31
(8)	優先入居委員会	32
3	職員研修の状況	33
4	人材育成の状況	34
VI	その他	
1	預り金の状況	35

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	東海林眞	令和5年4月21日

I 利用者処遇

1 サービスの状況（振り返り）

(1) 光の園

感染予防対策を継続しながら、利用者さまに楽しんでいただけるよう、外出に代わる行事を企画した。8月にコロナの陽性者が2名発生したが、感染が拡大することなく収束できた。今後は状況に合わせて感染症対策を緩和し、利用者さまの希望に添った支援に取り組んでいきたい。

昨年度に続き、今年度も下條村認知症高齢者等地域生活支援事業による1名の入所があり、計2名の方が契約入所利用となっている。養護ではあるが、利用者さまの高齢化が進み、今年度は7件の退所があり多く感じた。定員50名が満床となる期間もあったが、7月より退所が続き、2～4床が空床となっている。看取りについては、7件中6件（85.7%）施設で行うことができた。

(2) 第二光の園

今年度も感染症予防対策を継続しながら、フロアごと少人数での行事を実施した。季節に合わせたお花見や紅葉狩りドライブ、五平餅やおやつ作り等の行事を実施し、利用者様に四季を感じていただくことができたのではないかと考える。また、面会については感染状況に応じて方法を検討しながら、ご家族との交流の機会を持っていただくことができた。1年とおして新型コロナウイルス第6～8波が確認されたが、施設内でのクラスターを防ぐことができ、感染症予防対策により制限された生活環境ではあったが、利用者様の日常生活には大きな影響を与えることなく過ごしていただくことができた。

5月より新型コロナウイルスの感染法上の分類が「5類」に引き下がることで、世の中のコロナに対する対応や意識が大きく変化してくると考えられる。その上で、コロナ感染自体が変わるわけではないので、感染リスク予防の観点、利用者様の生活満足度、ご家族等と関わりの重要性等とのバランスを見ながら、利用者様の生活を守っていきたい。

(3) デイサービスセンター幸齢館

事業所の形態を地域密着型通所介護に移行し1年が経過した。

11名の新規利用者さまをお受けし、『利用者さま、一人ひとりお好きなように過ごしていただける地域密着型通所介護』を目指すと共に、感染予防対策を重視しながら、下條中学校の生徒さんたちとの福祉交流も行うことができた。次年度も、自己選択・決定により達成感を高めていただける取り組みをしていきたい。

(4) 光の園デイサービスセンター

新型コロナ予防に努めながら、比較的好調なサービス提供ができた。法改正により、指定権者が市町村（下條村）へと移行し地域密着型デイサービス（定員10名）となって7年を経過した。

図書館などの地域資源も有効に活用しつつ、花壇・野菜作りなど来所の楽しみを得ていただけるレクリエーションや日常生活に役立つ機能訓練を充実していきたい。次年度も、『地域との交流』と『透明性の確保』を図りたい。

(5) 光の園ホームヘルプセンター

令和4年度も在宅と養護老人ホーム光の園へのサービス、光の園の契約入所のサービスを行った。上半期はコロナ感染拡大により施設へのサービスが中止となった期間もあったため稼働率が低下したが、下半期は感染予防を徹底し、施設へのサービスを中止することなく行えた。また、在宅サービスも利用者様が増え、好調なサービス提供を行うことができた。

(6) 光の園ケアプランセンター

居宅介護支援事業、介護予防計画作成の受託、地震・大雨等自然災害時の安否確認や市内での強盗事件発生の際は利用者さまへ注意喚起を行なった。新型コロナの影響は大きく、病院・施設との連携による退院・退所支援の加算取得が難しい状況が続いていた。5/8からの5類移行に伴い制限緩和もあり次年度は加算取得が見込めそう。ただ村内のスーパー閉店、利用できる事業所の減少など利用者さまの生活支援を行なううえで重要な資源不足が進んでいる。次年度は受け持ち件数の増加、加算取得だけでなくこの課題に対する対応を包括支援センターの協力を得ながら考えていきたい。

2 看取りの状況

(1) 光の園

令和4年度

	氏名	逝去場所	日付	主要疾患（死亡原因）	ターミナル	入所期間	享年
1	A	施設	7/29	老衰	看取7日	27年11ヶ月	98歳
2	B	施設	9/21	致死性不整脈（急性心筋梗塞）	看取数分	3年9ヶ月	86歳
3	C	施設	10/4	胃がん	看取5年4ヶ月	10年4ヶ月	95歳
4	D	施設	11/4	老衰	看取14日	6年3ヶ月	97歳
5	E	病院	11/19	老衰		5年9ヶ月	90歳
6	F	施設	3/8	老衰（認知症）	看取14日	12年6ヶ月	95歳
7	G	施設	3/14	老衰	看取14日	2年8ヶ月	86歳

※1 網掛け→病院での逝去 ※2 二重線→四半期ごとの区切り

(2) 第二光の園

令和4年度

	氏名	逝去場所	日付	主要疾患（死亡原因）	ターミナル	入所期間	享年
1	A	施設	4/6	老衰（アルツハイマー型認知症）	看取7日	11年6ヶ月	91歳
2	B	施設	4/14	老衰（C型慢性肝炎）	看取7日	3年11ヶ月	82歳
3	C	施設	4/23	老衰	看取23日	4年6ヶ月	96歳
4	D	施設	6/13	直腸がん	看取10日	8ヶ月	95歳
5	E	病院	6/13	不明	看取0日	5年11ヶ月	86歳
6	F	施設	6/26	老衰（アルツハイマー型認知症）	看取23日	1年3ヶ月	94歳
7	G	施設	8/25	老衰（認知症）	看取7日	9年2ヶ月	101歳
8	H	施設	9/7	老衰（アルツハイマー型認知症）	看取33日	3年0ヶ月	85歳
9	I	施設	10/14	老衰	看取14日	1年4ヶ月	94歳
10	J	施設	10/29	脳梗塞（食欲不振、脱水症）	看取9日	4ヶ月	95歳
11	K	施設	11/5	老衰（レビー小体型認知症）	看取7日	6ヶ月	90歳
12	L	施設	12/3	前立腺がん（老衰）	看取22日	4年8ヶ月	90歳
13	M	施設	2/25	老衰	看取40日	3年11ヶ月	92歳
14	N	施設	3/5	老衰	看取3日	3年8ヶ月	97歳

※1 網掛け→病院での逝去 ※2 二重線→四半期ごとの区切り

(3) 看取りの状況（まとめ）

令和4年度は、光の園7名、第二光の園14名の利用者様をご逝去された。主に老衰が原因であり、ほとんどの利用者様の看取りを施設にてさせていただいた。この頃は、最期の時を施設で過ごしたいと希望される方が多く、その意向に沿って多くの看取りケアを行うことができた。

コロナ禍になってからは面会が大きな課題となっているが、感染症対策を講じながら短時間の面会や窓越し面会、オンライン面会等、その時々状況に合わせた面会を実施することができた。

今後も医師をはじめ多職種との細やかな連携を大切に、ご本人、ご家族へ丁寧な説明を心掛け、コミュニケーションの充実、意向等の確認をしながら、個々に合わせた看取りケアの実施に努めていきたい。

施設名	記載者	記載日
光の園	福島真由美	令和5年4月21日

3 行事報告

	季節の行事	お楽しみ	誕生会	その他
4月	お花見(13) 摘み草(29)	カラオケ(24) 喫茶(27) お花見ドライブ(1,6) テイクアウトランチ(6)	2名(20)	
5月	端午の節句(5) 菖蒲湯(4,7) 母の日(8) お花祭り(11)	喫茶(25) カラオケ(29)	3名(18)	音楽療法(15)
6月	野外食(8) 父の日(19)	カラオケ(26) 喫茶(29)	6名(22)	音楽療法(12) 避難訓練(13)
7月	七夕(7)	カラオケ(31) 食券喫茶(29)	3名(20)	音楽療法(10) コロナワクチン接種(22) 胸部レントゲン(25)
8月	お施餓鬼(8) 迎え火(13) 牛馬作り・盆法要(中止) 納涼大会(中止) 送り火(中止)	カラオケ(中止)	4名(中止)	音楽療法(中止)
9月	彼岸法要(22)	カラオケ(25) 喫茶(28)	7名(21)	総合防災訓練(1) 俳句句集「山天」 第50号発行 敬老祝賀会(15) 音楽療法(30)
10月	観月会(12)	喫茶(7) カラオケ(30) テイクアウトランチ(31)	4名(19)	音楽療法(5) インフルエンザ予防接種(28)
11月	芋煮会(9)	朗読会(7) カラオケ(26) 食券喫茶(28)	5名(23)	音楽療法(2) コロナワクチン接種(25) 手作り年賀状制作
12月	成道会(8) ゆず湯(20, 22) 忘年会(26) 餅つき(28) おやす飾り(28) 越年会(31)	クリスマスサンタ(25) カラオケ(25)	3名(21)	音楽療法(2) 年賀状代筆、大掃除 門松づくり
1月	元旦祝賀会・福引(1) 初詣(1) 書初め(2)七草粥(7) 鏡開き(11)	新年お茶会(4) 新年朗読会(16)	3名(18)	小正月飾り 音楽療法(11)
2月	はんぐいぬき(1) 節分(3) 針供養・涅槃会(9)	カラオケ(26) 喫茶(27)	3名(22)	音楽療法(8)
3月	ひな祭り(3) 彼岸法要(20)	カラオケ(26) 食券喫茶(29)	3名(22)	音楽療法(1) 行事計画委員会(6) 避難訓練(15)

施設名	記載者	記載日
第二光の園	小林由実	令和5年4月20日

3 行事報告

	季節の行事	お楽しみ	誕生会	その他
4月		お花見ドライブ (8,12,16) よもぎおやき作り(15)	花浅葱(0名) 千歳緑(2名) 照柿(2名)	
5月	菖蒲湯(3~7) 端午の節句(5) お花祭り(11)	よもぎおやき作り(12)	花浅葱(1名) 千歳緑(1名) 照柿(0名)	母の日(8) 避難訓練(9)
6月	八十八夜新茶の会 (19)	そばのお花見ドライブ (20,21,26,28) 五平餅作り(15,17)	花浅葱(2名) 千歳緑(1名) 照柿(1名)	父の日(19) 避難訓練(11,23)
7月	七夕(7)	おやつ作り(13)	花浅葱(3名) 千歳緑(4名) 照柿(1名)	コロナワクチン接種(8,15) 胸部レントゲン(25)
8月	お施餓鬼法要(8) 牛馬作り(15) 迎え火・送り火(13,16)	花火大会(中止)	花浅葱(1名) 千歳緑(1名) 照柿(1名)	
9月	彼岸法要(22)	そばの花見ドライブ (中止)	花浅葱(0名) 千歳緑(1名) 照柿(1名)	地震総合防災訓練(1) 敬老祝賀会(15)
10月		焼き芋大会(11) おやつ作り(14,18) 紅葉狩りドライブ(23,28)	花浅葱(1名) 千歳緑(3名) 照柿(0名)	龍巖寺菊花展(23) インフルエンザ予防接種(21)
11月	芋煮会(9)	五平餅作り(18,22) 紅葉狩りドライブ (3~22)	花浅葱(3名) 千歳緑(2名) 照柿(1名)	コロナワクチン接種(11,18)
12月	成道会(8) ゆず湯(19~27) 忘年会(19) 餅つき(中止) おやす飾り(30) 越年会(31)	クリスマスケーキ作り (22,24,25)	花浅葱(1名) 千歳緑(2名) 照柿(1名)	匠の会お正月飾り(21)
1月	元旦祝賀会(1) 初詣(中止) 書初め(2) 七草粥(7) 鏡開き(11)	正月遊び(1~3) 新年お茶会(3)	花浅葱(2名) 千歳緑(1名) 照柿(5名)	匠の会小正月飾り(6)
2月	半杭抜き(1) 節分(3) 針供養・涅槃会(9)	バレンタインチョコ作り (13,15,16)	花浅葱(2名) 千歳緑(1名) 照柿(2名)	下條エリアサービス 評価事業(中止)
3月	ひな祭り(3) 彼岸法要(20)	五平餅作り(15,21) お花見ドライブ(31)	花浅葱(4名) 千歳緑(2名) 照柿(5名)	避難訓練(22, 23)

施設名	記載者	記載日
デイサービスセンター幸齢館	小池みちよ	令和5年4月19日

3 行事報告

	1週	2週	3週	4週	5週
4月	お花見ドライブ (1) ひな祭り(2)	お花見ドライブ (9)	お誕生日会(15) お花見ドライブ (16)		
5月	端午の節句(5)		お誕生日会(16)		
6月			お誕生日会(15) 避難訓練(18)		
7月		お誕生日会(6) 七夕祭り(7)		お誕生日会(21)	
8月		お誕生日会(9)			
9月	避難訓練(3)		敬老会(13～ 16) お誕生日会(15)		
10月		お誕生日会(5)	お誕生日会(11) ドライブ(11～ 14)	ドライブ(20)	下條中福祉交流 事前学習(25)
11月				遠方ドライ(22) お誕生日会 (24,26)	
12月		お誕生日会(7)	大忘年(15,16) クリスマス会 (16,17)		
1月		お誕生日会(12)	お誕生日会(17)		
2月	節分(3)	お誕生日会(10)		お誕生日会(23) 下條中福祉交流 (24)	
3月	桃の節句(3)	お誕生日会(10)	お誕生日会(13) 遠方ドライブ (13～15)		遠方ドライブ (27)

施設名	記載者	記載日
光の園デイサービスセンター	上原タネ子	令和5年4月13日

3 行事報告

	1週	2週	3週	4週	5週
4月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、花苗植(28)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
5月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、竹の子皮むき(6) 花苗植え(10)、野菜苗植え(10) お誕生日会(11,25)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
6月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、図書館(2)、 梅仕事(6,23)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
7月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、七夕飾り(5) お誕生日会(1,23)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
8月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
9月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、敬老お茶会(15) 栗の皮むき(20,23,27)、お誕生日会(27)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
10月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、栗の皮むき(7) お誕生日会(17,19)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
11月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、おやつ作り お誕生日会(11,17,28)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
12月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、お誕生日会 クリスマスツリー飾り(16)、忘年会(19~22)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
1月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、お誕生日会 正月遊び(3~6)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
2月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、花壇づくり(6)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		
3月	【AM】地域の方対象デイ ストレッチ体操、音楽、個別リハビリ 手芸(月,火,木,金)、お誕生日会(7,27,29,31)		【PM】視覚障害者対象デイ ストレッチ体操(個別対応)、音楽		

施設名	記載者	記載日
光の園	林加奈	令和5年4月21日

4 クラブ活動報告

	器楽クラブ	俳句クラブ	詩吟クラブ	おしぼり コーラス	ハンドベル	手芸園芸 クラブ
4月	第3金曜日	第2金曜日	第1,4金曜日	毎日 誕生会で披露 「春が来た」	第1日曜日 お花見で披露	第3月曜日 台拭き縫い
5月	第3金曜日	第2月曜日 県視障協 通 信句会へ投句	第2,4金曜日 母の日で披露	毎日 誕生会で披露 「春の小川」	第1日曜日	第3月曜日 夏野菜植え ダリア種まき
6月	第3金曜日	第1月曜日	第2金曜日	毎日 誕生会で披露 「雨降り」		第3水曜日 七夕飾り 台拭き縫い
7月	第1金曜日	第1月曜日 (吟行会 県視障協 通 信句会へ投句)	第3金曜日 第5水曜日	毎日 誕生会で披露 「夏の思い出」	第1日曜日 七夕で披露	第2水曜日 香り袋作り
8月	コロナの為中止	第2月曜日	コロナの為中止	毎日 誕生会で披露 (コロナの為中止)	第1金曜日	コロナの為中止
9月	コロナの為中止	コロナの為中止 句集「山天」 (第50号)発行 県視障協 通 信句会へ投句	コロナの為中止 敬老祝賀会で 披露(中止)	毎日 誕生会で披露 (コロナの為中止)	コロナの為中止	コロナの為中止
10月	第3金曜日	第2月曜日	第2日曜日 第4金曜日	毎日 誕生会で披露 「村まつり」	第1月曜日	第3月曜日 ヒマワリの種取
11月	第2日曜日	第2月曜日 県視障協 通 信句会へ投句	第2金曜日 第5水曜日	毎日 誕生会で披露 「里の秋」		第3水曜日 手作りハガキ 作り
12月	第2水曜日 忘年会	第2月曜日 忘年会	第2金曜日 忘年会	毎日 誕生会で披露 「たき火」	第1日曜日 忘年会	第1水曜日 忘年会 台拭き縫い
1月	第4日曜日 新年会	第2月曜日 新年会 県視障協 通 信句会へ投句	第2金曜日 新年会	毎日 誕生会で披露 「雪」	第2日曜日	第4水曜日 新年会
2月	第3金曜日	第2月曜日	第2,4金曜日	毎日 誕生会で披露 「スキー」	第1日曜日	第3水曜日 台拭き縫い
3月	第3金曜日	第2月曜日 県視障協 通 信句会へ投句	第2,4金曜日	毎日 誕生会で披露 「春よ来い」	第1日曜日	第2水曜日 香りの庭散歩

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	佐々木真	令和5年4月15日

II 運営管理（サービス状況報告）

1 苦情解決報告

(1) 苦情件数

(令和3年度)

	苦情内容	事業所宛	第三者委員宛	サービス評価事業
①	サービス利用に係わる事項	1件	0件	0件
②	職員の接遇	1件	0件	0件
③	事故・被害・損害	0件	0件	0件
④	利用者間のトラブル	0件	0件	0件
⑤	建物の構造に対する要望	0件	0件	0件
⑥	法人・施設・事業所運営に対する要望	0件	0件	0件
⑦	契約内容に関する要望	0件	0件	0件
⑧	制度・施策・法律に関する要望	0件	0件	0件
⑨	その他（事務・守秘義務に関すること）	0件	0件	0件
⑩	その他	1件	0件	0件
	合計	3件	0件	0件

(2) 特定事項点検事項(苦情に至らないが自主点検で確認した事項、又は問い合わせがあった事項)

	点検事項	件数
①	短期入所（長期含む）忘れ物	4件
②	デイサービス忘れ物	0件
③	デイサービス送迎時間問合せ	0件
④	ホームヘルプ訪問時間問合せ	0件
⑤	その他訪問時間問合せ	0件
⑥	その他（事務）問合せ	0件
⑦	その他問合せ	0件
	合計	4件

(3) 考察

コロナウイルス感染症対策について、様々な制限等をお願いしなければならない中、説明が不明瞭になってしまうことは利用者さまに不安や混乱を招くことになってしまう。地域の感染状況等によって対応策も変更しなければならないという難しさもあるが、その都度わかりやすく説明する必要があったと考える。

職員の接遇や環境整備については度々苦情やご意見をいただく内容であるため、繰り返し振り返る機会を設け、確認し続けていきたい。

(4) 苦情に対する対応・解決の状況 (すべて)

①苦情対応

内容	8月1日(月) 13時00分(電話にて受付) 利用者ご家族より、コロナ感染症対策の文章について、休まなければならない場合があるのなら文章に記載し、事前にお知らせしてくれた方が有難い。といった指摘を受ける。 (申し出者; デイサービス幸齢館利用者様の娘様)
対応・解決	(原因) 利用者様、ご家族様宛に発信した文章には、どのような場合にどうするという明確な対応策の記載がなかったため、ご指摘いただいた。また、利用者様、ご家族様に寄り添った文章ではなかった。 (対応・解決策) 記載不足だったことをお詫びし、ご意見をいただいたことへの感謝を伝えた。その際、今後は対応策も含めた文章で連絡をすべきだというご意見を受け取った。 (対策) 今後は、利用者様、ご家族様に寄り添った文章で、対応策も含めた記述を発信していく。

②苦情対応

内容	2月3日(金)15時30分頃(口頭) 甘酒をお出した際のコップの底が黒く汚れていたようで、ちゃんと洗ったものを使用してほしい、といったお話をうかがう。また、これまで食事の際にもスプーンが汚れていることがあり、取り替えてもらったことがある、とご指摘がある。 (申し出者; 光の園利用者M・M様)
対応・解決	コップが汚れていた件について謝罪をし、今後気を付けて食器を洗うようにする。また食器準備の際にも汚れているものがあった場合、その時点で取り換えるなどするよう、職員間で申し送る。

③苦情対応

内容	2月19日(日)10時30分頃(口頭) 就寝時の薬を飲む際に「早く飲みな」と言われ悲しかったと話がある。 (申し出者; 光の園利用者 O・T 様)
対応・解決	悲しい思いをさせてしまったことについて謝罪する。2月19日、職員間で話し合いを行い、ご本人が悲しい気持ちにならないような言葉選び、伝え方に気を付けるよう申し送る。

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	佐々木真	令和5年4月15日

2 事故対応報告

(1) 事故発生件数（行政への報告を要したもの）

令和4年度

	事故内容	発生件数	家族報告	保険者報告	本部報告
①	骨折	3件	3件	3件	3件
②	打撲・捻挫・脱臼	0件	0件	0件	0件
③	切傷・摩過傷	0件	0件	0件	0件
④	その他の外傷	0件	0件	0件	0件
⑤	異食・誤嚥	0件	0件	0件	0件
⑥	食中毒	0件	0件	0件	0件
⑦	感染症・結核	0件	0件	0件	0件
⑧	職員の法令違反	0件	0件	0件	0件
⑨	その他（ ）	0件	0件	0件	0件
	合計	3件	3件	3件	3件

※介護サービス提供により事故が発生した場合、事故の解決及び再発防止のため、事業所は保険者に速やかに報告することとなっています。その範囲については、以下のとおりとします。

報告すべき事故の範囲
(1) 介護サービスの提供（送迎・通院等含む）により、利用者のケガ、または死亡事故が発生した場合 ① ケガの程度については、医療機関で治療（複数回の通院加療を要すケガ）、または入院したもの。 ② 事業所の責任や過失の有無によらない。
(2) 感染症、食中毒及び結核が発生した場合 ① 感染症については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に定められている「疾病分類表」に掲載されているもの及びノロウイルスや疥癬症、食中毒等を対象とする。なお、原因不詳でも、嘔吐や下痢、高熱が伴う症状が10人以上、もしくは入所者の半数を超える場合には報告する。 ② 個々の保険者で別途、届出義務が定められている場合は、それに従うこと。
(3) 職員（従業員）の法令違反、不祥事等が発生した場合
(4) その他、報告が必要と認められる事故が発生した場合 ① 無断外出により外部組織に捜索依頼した場合など

(2) 事故発生の状況（行政への報告を要しないもの）

内容	発生件数	内容	発生件数
①転倒（けがの有無は問わない）	43件	⑧異食（治療を要したもの）	0件
②転落（けがの有無は問わない）	11件	⑨無断外出（自主捜索）	4件
③ずり落ち（けがの有無は問わない）	10件	⑩利用者間のトラブル（けがあり）	1件
④表皮剥離	2件	⑪誤薬（実際に飲んだ）	3件
⑤擦過傷	3件	⑫入れ歯、メガネ、補聴器等の破損	2件
⑥打撲	10件	⑬その他（圧迫・薬飲み忘れ）	2件
⑦誤飲・誤嚥（つまった）	1件	合計	92件

3 ひやりハットの取り組み

(1) 身体的事項

() の数字は実際に起こった事故数

内容	発生件数	内容	発生件数
①転倒しそうになった (ふらつき)	57(46)	⑧異食 (治療を要しないもの)	12(0)
②転落しそうになった	13(11)	⑨無断外出 (出て行きそうになった)	23(4)
③ずり落ちそうになった	11(10)	⑩利用者間のトラブル (けがなし)	13(1)
④はさみこみ (表皮剥離していない)	0(2)	⑪配薬ミス (実際に飲んでいない)	17(3)
⑤こすった (擦過傷にはならない)	0(3)	⑫入れ歯、メガネ、補聴器当の破損	0(2)
⑥ぶつけた (打撲はしていない)	5(10)	⑬その他 (経管栄養の漏れ、薬のセット忘れ他)	6(2)
⑦誤飲・誤嚥 (むせた)	2(1)	合計	159(95)

(2) 介護者中の事項

内容	発生件数	内容	発生件数
①車椅子等の取扱いを誤った	0(1)	⑥その他機具の取扱いを誤った	0(0)
②ベッドの取扱いを誤った	0(0)	⑦支持 (支え方)、介助方法を誤った	1(1)
③入浴器具の取扱いを誤った	0(0)	⑧利用者間の誤った介助があった	0(0)
④介護器具の取扱いを誤った	0(0)	⑨その他 ()	0(0)
⑤医療器具の取扱いを誤った	0(0)	合計	1(2)

※1 「車椅子等」とは→歩行器、杖等の移動に使用する器具を示す。

※2 「医療器具」とは→在宅酸素、胃ろうチューブ、バルン、点滴等の取扱いを示す。

4 その他の事項

内容	発生件数	内容	発生件数
①車椅子等の整備に不備があった	0(0)	⑥その他機具の備に不備があった	0(0)
②ベッドの整備に不備があった	0(0)	⑦衛生手順のミスがあった	0(0)
③入浴器具の整備に不備があった	0(0)	⑧持ち物取違い、紛失、破損	0(0)
④介護器具の整備に不備があった	0(0)	⑨その他 (経管栄養漏れ、送迎車が塀と接触)	0(0)
⑤医療器具の整備に不備があった	0(0)	合計	0(0)

※3 「連絡ミス」とは→ケアプランの記載事項の連絡ミスを示す。(逆にケアプランへの記載漏れも含む)

5 ひやりハット・事故の分析

発生場所	件数	発見の契機	件数	発生曜日	件数	発生時間	件数
居室	67(62)	職員が発見	150(89)	月曜日	26(16)	0:00～ 2:59	1(9)
食堂	32(17)	本人の通報	8(2)	火曜日	23(14)	3:00～ 5:59	7(2)
浴室	4(2)	他利用者の通報	1(1)	水曜日	25(17)	6:00～ 8:59	27(11)
トイレ	1(1)	家族の通報	0(0)	木曜日	19(16)	9:00～11:59	29(25)
機能訓練室	1(0)	センサー作動	0(3)	金曜日	14(12)	12:00～14:59	34(12)
廊下	25(4)	その他	0(0)	土曜日	23(10)	15:00～17:59	38(15)
移送時	3(1)			日曜日	29(10)	18:00～20:59	14(11)
その他	26(8)					21:00～23:59	9(10)
合計	159(95)	合計	159(95)	合計	159(95)	合計	159(95)

※ 1 (1) の①～⑬までの内容を対象として分析します。

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	中島慧	令和5年4月21日

4 身体拘束の状況報告

(1) 身体拘束（合法の手続きに基づく拘束の実施）

	身体拘束事項	件数
①	徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
②	転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
③	自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。（11月まで実施）	0件
④	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。	0件
⑤	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。	0件
⑥	車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったりしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける。	0件
⑦	立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する。	0件
⑧	脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。	0件
⑨	他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
⑩	行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。	0件
⑪	自分の意志で開けることのできない居室等に隔離する。	0件
⑫	その他	0件
	合計	0件

※1 「身体的拘束等とは」→指定基準において禁止の対象となっている行為は、「身体的拘束その他、利用者の行動を制限する行為」です。厚生労働省が発行した「身体拘束ゼロへの手引き」では、具体的な行為として、以上のような行為をあげています。なお、「言葉による拘束」や、「虐待的な行為」も含まれます。

※2 「当報告書の目的は」→以上の行為がないことを確認することと、発見した場合、速やかに解決することです。発見しても目をつぶらず、即時、対応することで解決を図りましょう。

(2) 無届の拘束の発見

項目	説明
①無届の拘束の有無	無
②発見の職（通報者）	無
③拘束の概要	無
④行われていた事情	無
⑤対処	無

※1 届出がされていなくても緊急性があり実施され、直ちに合法的な手続きが実施されたものは含みません。

※2 発見後、直ちに中止した場合は「あり」として記載してください。

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	萩野俊樹	令和5年5月3日

Ⅲ 会計・経理

1 主な収入、人件費の状況（エネルギー支出） ※事業活動計算書より

	稼働数	(率)	収入・支出管理	金額(円)	(率)
(1) 養護老人ホーム					
①稼働率	17,425 床	95.5%	①主な収入	206,852,880 円	
②入退所空床	701 床	3.8%	②人件費支出	129,110,575 円	62.4%
③入退院空床	123 床	0.7%	③エネルギー支出	14,065,848 円	6.8%
(2) 特別養護老人ホーム				329,882,504 円	
①稼働率	21,534 床	98.3%	①主な収入	304,702,898 円	
②入退所空床	182 床	0.8%	②短期収入	25,179,606 円	
③入退院空床	184 床	0.8%	③人件費支出	230,267,741 円	69.8%
④短期入所稼働率	1,883 名	86.0%	④エネルギー支出	23,719,520 円	7.2%
(3) デイサービス幸齢館					
①稼働率	3,881.25 名	69.0%	①主な収入	46,581,164 円	
②キャンセル(欠席)	226.00 名	4.0%	②人件費支出	38,406,263 円	82.5%
③受入れ拒否状況	0.00 件	0.0%	③エネルギー支出	2,436,734 円	5.2%
(4) 光の園デイサービス					
①稼働率	2,110.00 名	81.2%	①主な収入	22,766,089 円	
②キャンセル(欠席)	272.25 名	10.5%	②人件費支出	14,100,073 円	61.9%
③受入れ拒否状況	0.00 件	0.0%	③エネルギー支出	1,502,233 円	6.6%
(5) ホームヘルプ					
①述べ提供時間	2,843.25 時間	78.7%	①主な収入	14,838,810 円	
②キャンセル	65.00 時間	2.0%	②人件費支出	9,015,238 円	60.8%
③受入れ拒否状況	0.00 件	0.0%	③エネルギー支出		
(6) ケアプラン					
①延べプラン数(率)	996 件	76.1%	①主な収入	13,174,712 円	
			②人件費支出	11,542,376 円	87.6%
			③エネルギー支出	197,127 円	1.5%
(7) エリア				634,096,159 円	
			①主な収入	608,916,553 円	
			②人件費支出	432,442,266 円	68.2%
			③エネルギー支出	41,921,462 円	6.6%

注①→デイサービスの稼働率は「事業所規模の上限数」を100としてください。

注②→ケアプランセンターは職員の常勤換算により、指定基準上、対応可能な件数(39件×職員常勤換算)を100としてください。(支援のプラン数は率には含めないでください。)

注③→ホームヘルプは1日のサービス提供時間を1人5時間とし、常勤換算と稼働日数かけた数を100としてください。

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	東海林眞	令和5年5月3日

経営の状況（振り返り）

(1) 下條エリア

- ① サービス活動収益（前年度比）
約 26,708,005 円
- ② 人件費（前年度比）
約△9,100,000 円（実質的人件費比率 68.2%；4.5%減）
- ③ 人件費減の要因
「施設の介護職員の減少」が、主な要因と思われる。

参考；5年間の比較

	サービス活動収益	人件費額	比率	備考
30年度	622,433,303	398,856,030	64.1%	(新介護報酬単価)
R1年度	624,157,219	409,027,981	65.5%	
R2年度	612,895,906	426,151,993	69.5%	
R3年度	607,388,154	441,539,227	72.7%	(新介護報酬単価)
R4年度	634,096,159	432,442,266	68.2%	

④各事業所のサービス活動収益状況

7事業のうち、6事業所が前年度比増、1事業所が前年度比減となり、前年度比では合計約 26,708 千円の増収となった。

	サービス活動収益（前年度比）	積立金
光の園	14,358,582 円	0 円
光の園デイサービス	2,312,770 円	0 円
第二光の園	6,261,896 円	0 円
短期入所	1,419,127 円	—
デイサービス幸学館	△2,333,860 円	0 円
光の園ホームヘルプ	4,616,290 円	0 円
光の園ケアプラン	73,200 円	0 円

⑤ その他（特記事項）

イ 下條エリアは、法人本部へ計 11,200 千円の繰り入れを行った。

（第二光の園 6,000 千円、光デイ 5,200 千円）

ロ 光の園は、共同募金配分事業で移送用自動車新規整備として車いす仕様の公用車を購入した。幸学館では、下條村地域介護・福祉空間整備事業で土砂災害防止工事を実施した。（総事業費 光の園 2,890 千円。幸学館 4,180 千円。）

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	萩野俊樹	令和5年4月20日

IV 安全対策

1 災害安全対策の状況

(1) 避難誘導訓練の状況

	実施日	訓練内容	参加者	参加数	備考
①	5月9日	通報、避難誘導、総合防災、器具取扱、	職員 (資料での訓練)	3名	第二光の園 (千歳緑)
②	6月11日	通報、避難誘導、総合防災、器具取扱、	職員 (資料での訓練)	5名	第二光の園 (花浅葱)
③	6月13日	通報、避難誘導、器具取扱、	利用者様 職員	46名 11名	光の園
④	6月23日	通報、防災、総合防災	利用者様 職員	2名 3名	第二光の園 (照柿)
⑤	9月1日	情報受理伝達・広報・避難誘導 応急対策・初期消火・消火訓練 防護服着脱講習会(内部講師)	利用者様 職員(消防団2名)	79名 30名	光の園 第二光の園
⑥	3月15日	通報、避難誘導、器具取扱、	利用者様 職員	43名 12名	光の園
⑦	3月22日	夜間想定 避難誘導	利用者様 職員	名 名	第二光の園 (千歳緑)
⑧	3月22日	通報、防災、総合防災	利用者様 職員	2名 4名	第二光の園 (照柿)
⑨	3月23日	避難誘導	利用者様 職員	14名 6名	第二光の園 (花浅葱)

(2) 点検の状況

	内容	実施日①	実施日②	備考
①	火災警報設備	6月21日～22日	3月23日, 28日	弱電屋
②	スプリンクラー設備	6月22日	11月18日	明和工業(株)
③	消火器	6月21日～22日	3月23日, 28日	弱電屋

2 交通安全対策の状況

(1) 交通安全対策の状況

交通安全については、事故が発生しなくても、配慮に欠ける運転は地域の苦情の基になる。

(2) 事故発生の状況

	公務中の交通事故	通勤途上の交通事故	備考
①人身事故	0件	0件	
②対物事故	1件	1件	車対車の物損事故
③自損事故	0件	1件	負傷者のいない物損事故
④その他	0件	0件	
合計	1件	2件	

施設名	記載者	記載日
光の園	小林美華	令和5年4月21日

V 職員関係

1 必須委員会、研修会の実施状況(光の園)

(1) 苦情解決委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年10月18日
出席者	小林美華、近藤香代子、後藤伸一、林加奈、熊谷綾子、林輝京、伊藤達也 松下光代、鷺山真実、木下郁子、
議題	苦情受付について(配薬方法)
内容	①苦情について報告 ②配薬方法について職員の徹底事項確認

② 第2回委員会

開催日	令和5年2月17日
出席者	熊谷峰子、熊谷綾子、林輝京、小林美華、林加奈
議題	利用者間トラブルの対応対処について
内容	①苦情について報告 ②利用者間トラブルについて今後の対応策検討 ③食堂座席変更検討 ④今後の苦情対応について考える

(2) 事故防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年9月4日
出席者	小澤香代子、松村仁美、熊谷峰子、小林美華
議題	誤薬事故について
内容	①起こった事故の分析 ②介助方法の確認 ③配薬方法の見直し

② 第2回委員会

開催日	令和5年2月8日
出席者	小林美華、熊谷峰子、伊藤恵実、小澤香代子、松村仁美
議題	事故を未然に防ぐ支援方法について
内容	①令和4年度の事故の振り返り ②事故を防ぐための支援、防ぐことのできた支援についてアンケートの作成

③ 第1回研修

開催日	令和4年9月5日
出席者	福島真由美、近藤香代子、林加奈、折山勇太 伊藤恵実、中島なつみ、熊谷綾子、城田典子、松村仁美、小林美華、後藤伸一
テーマ	令和4年9月に起こった誤薬事故の事例検討
内容	①5月に起こった事故の分析 ②介助方法、ポイント確認

④ 第2回研修

開催日	令和5年2月12日
出席者	福島真由美、近藤香代子、後藤伸一、林加奈、小澤香代子、中島なつみ、林輝京、 伊藤達也、松下光代、城田典子、木下郁子
テーマ	事故を未然に防げる行動支援について
内容	①事前アンケート(事故防止技術の共有) ②事例検討、支援方法について考える

(3) 身体拘束廃止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年5月9日
出席者	後藤伸一、中島なつみ、田代ひなた、飯島綾子、熊谷峰子、林加奈
議題	身体拘束の定義について
内容	①何が拘束になるか ②身体拘束の実態把握

② 第2回委員会

開催日	令和4年7月14日
出席者	後藤伸一、中島なつみ、田代ひなた、熊谷峰子、林加奈
議題	言葉による拘束について
内容	①言葉の拘束によるADLへの影響について ②言葉の拘束による精神面への影響について

③ 第3回委員会

開催日	令和4年11月4日
出席者	後藤伸一、中島なつみ、田代ひなた
議題	身体拘束の定義について
内容	①介護現場でどのような事が身体拘束になりうるのか、意見交換 ②身体拘束はなぜ問題であるのか、資料の読み合わせ

④ 第4回委員会

開催日	令和5年2月15日
出席者	後藤伸一、中島なつみ、田代ひなた、熊谷峰子、林加奈
議題	言葉による拘束をなくすために
内容	①各個人言葉遣いについて今年度を振り返る、振り返りシート配布について ②言葉を伝えるための工夫、配慮について(声色、スピード等)

⑤ 第1回研修会

開催日	令和4年6月17日
出席者	後藤伸一、小澤香代子、竹村エミ、中島なつみ、熊谷綾子、田代ひなた、伊藤達也 松下光代、木下郁子、松村仁美、小林美華、福島真由美、近藤香代子、熊谷峰子
テーマ	身体拘束の定義
内容	①虐待の種類 ②視覚に障害がある方への言葉遣いについて

⑥ 第2回研修会

開催日	令和5年3月22日
出席者	後藤伸一、竹村エミ、折山勇太、伊藤恵実、林輝京、田代ひなた、松下光代、城田典子 木下郁子、松村仁美、小林美華、福島真由美、熊谷峰子、近藤香代子
テーマ	今年度の振り返り
内容	①事前振り返りシートのまとめ ②事例をもとに言い換えの表現について考える

(4) 感染症及び食中毒防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月11日
出席者	福島真由美、林加奈、近藤香代子、熊谷峰子、小林美華、木下郁子
議題	新型コロナウイルス感染時の対応
内容	①濃厚接触者の定義確認 ②新型コロナウイルスが施設内で発生した場合の対応について ③今後の注意点について

② 第2回委員会

開催日	令和4年8月30日
出席者	近藤香代子、熊谷峰子、小林美華、林加奈、土田治
議題	新型コロナウイルス発生時の対応
内容	①コロナ陽性者発生状況と対応について(再検討) ②PPE装着時の注意点、外すときの注意点 ③コロナ発生時の反省、改善点の報告

③ 第3回委員会

開催日	令和4年11月28日
出席者	福島真由美、近藤香代子、熊谷峰子、小林美華、林加奈、木下郁子
議題	インフルエンザとコロナウイルス感染症について
内容	①インフルエンザの基本的知識の再確認 ②コロナウイルスの基本的知識の再確認 ③インフルエンザ、コロナウイルスの感染防御について資料読み合わせ

④ 第4回委員会

開催日	令和5年3月22日
出席者	福島真由美、近藤香代子、熊谷峰子、小林美華、林加奈、木下郁子、土田治
議題	新型コロナウイルス感染症の今後の動向について
内容	①2類から5類に移行するにあたり今後の注意点について ②感染予防の基本的な考え方と知識の再確認 ③職員の健康管理について

⑤ 第1回研修会

開催日	令和4年4月14日
出席者	近藤香代子、熊谷峰子、林加奈、土田治、熊谷綾子、林輝京、田代ひなた、飯島綾子、松下光代、木下郁子
テーマ	新型コロナウイルス感染時の対応
内容	①濃厚接触者の定義確認 ②新型コロナウイルスが発生した場合の対応について ③今後の注意点について

⑥ 第2回研修会

開催日	令和4年9月6日
出席者	近藤香代子、熊谷峰子、福島真由美、林加奈、小澤香代子、伊藤恵実、土田治、熊谷綾子、伊藤達也、飯島綾子、松下光代、鷺山真実、小林美華
テーマ	新型コロナウイルス発生時の対応
内容	①コロナ陽性者発生状況と対応について(再検討) ②PPE装着時の注意点、外すときの注意点 ③コロナ発生時の反省、改善点の報

⑦ 第3回研修会

開催日	令和5年3月27日
出席者	福島真由美、近藤香代子、熊谷峰子、後藤伸一、小澤香代子、竹村エミ、伊藤恵実、土田治、松下光代、城田典子、松村仁美、小林美華
議題	新型コロナウイルス感染症の今後の動向について
内容	①2類から5類に移行するにあたり今後の注意点について ②感染予防の基本的な考えと知識の再確認 ③職員の健康管理について

(5) 褥瘡予防委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年6月5日
出席者	熊谷峰子、竹村エミ、折山勇太、福島真由美
議題	褥瘡予防について
内容	①褥瘡ハイリスク者の状況把握 ②現在の支援方法、予防支援の確認と伝達方法について

② 第2回委員会

開催日	令和5年1月10日
出席者	熊谷峰子、竹村エミ、折山勇太、福島真由美
議題	褥瘡予防とポジショニング方法について
内容	①PT指導を受けての報告 ②ベッド上での食事時の姿勢と仰臥位でのポジショニング方法の確認

③ 第1回研修会

開催日	令和4年6月8日
出席者	熊谷峰子、折山勇太、竹村エミ、中島なつみ、伊藤恵、林輝、田代ひなた、伊藤達城田典子、木下郁子、小林美華、福島真由美
テーマ	褥瘡ハイリスク者の状況把握と予防策
内容	①第1回の委員会の報告（褥瘡発生予防介助資料配布） ②現在の支援と今後の予防支援についての確認と意見交換

④ 第2回研修会

開催日	令和5年1月20日
出席者	熊谷峰子、竹村エミ、熊谷綾子、伊藤恵、松下光代 木下郁子、松村仁美、小林美華、福島真由美
テーマ	褥瘡予防とポジショニングの方法と注意点
内容	①第2回の委員会報告 ②PT指導時の資料配布 ② 写真活用しポジショニングの向きや角度の確認、下肢マッサージの方法の確認、実践。

2 必須委員会、研修会の実施状況(第二光の園)

施設名	記載者	記載日
第二光の園	佐々木真	令和5年4月15日

(1) 苦情解決委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月18日
出席者	佐々木真、福沢綾、久保田いずみ、中島慧、野牧美穂、飯嶋香代、仲田貴和子
議題	信頼関係を築くためのコミュニケーション方法について（ご家族基礎編）
内容	①信頼関係を築くマナーの基礎 ②電話連絡時のポイント ③苦情が寄せられた際の対応ポイント

② 第2回委員会

開催日	令和4年12月19日
出席者	佐々木真、福沢綾、久保田いずみ、中島慧、野牧美穂、飯嶋香代、仲田貴和子
議題	報告やご要望を受けた際の適切な伝達方法を考える
内容	①事故発生時の報告についてロールプレイング ②ご家族側、施設側の両面から考える

③ 第1回研修会（書面開催）

開催日	令和4年7月15日
出席者	計46名 ※花浅葱13名、千歳緑15名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名
テーマ	信頼関係を築くためのコミュニケーション方法について（ご家族基礎編）
内容	①信頼関係を築くマナーの基礎 ②電話連絡時のポイント ③苦情が寄せられた際の対応ポイント

施設名	記載者	記載日
第二光の園	山本陽介	令和5年4月10日

(2) 事故防止委員会

① 第1回委員会（書面開催）

開催日	令和4年5月11日
出席者	山本陽介、河合一明、グエンティクエン、山崎光太郎、武藤啓美、塚口愛未、仲田貴和子、熊谷敦子、竹村理恵
議題	離設による事故について
内容	①徘徊行動の原因 ②外出のタイミングを見極める

② 第2回委員会（書面開催）

開催日	令和4年10月13日
出席者	山本陽介、河合一明、グエンティクエン、山崎光太郎、武藤啓美、塚口愛未、仲田貴和子、熊谷敦子、竹村理恵
議題	介護の基本について
内容	①介護の基本方針の理解

③ 第1回研修会（書面開催）

開催日	令和4年7月15日
出席者	計46名 ※花浅葱13名、千歳緑15名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名
テーマ	離設行動について
内容	①徘徊行動の原因 ②外出のタイミングを見極める ③離設の事例検討

④ 第2回研修会（書面開催）

開催日	令和5年1月23日
出席者	計45名 ※花浅葱11名、千歳緑14名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名、副施設長2名
テーマ	介護の基本について
内容	①介護の基本方針の理解 ②やってはいけない介助方法

施設名	記載者	記載日
第二光の園	中島慧	令和5年4月11日

(3) 身体拘束廃止委員会

① 第1回委員会（書面開催）

開催日	令和4年4月20日
出席者	中島慧、河合一明、グエンティクエン、レーティハイン、北野達也、飯嶋香代、鵜飼朱音、竹村理恵
議題	身体拘束の概要とやむを得ず身体拘束を実施する際の手続き
内容	①身体拘束の概要とやむを得ず身体拘束を実施する際の要件と手続きの確認 ②現状報告を行う ③言葉遣いを見直す

② 第2回委員会（書面開催）

開催日	令和4年7月13日
出席者	中島慧、河合一明、グエンティクエン、レーティハイン、北野達也、飯嶋香代、鵜飼朱音、竹村理恵
議題	スピーチロックをしない対応を考える
内容	①身体拘束の概要を確認 ②現状報告を行う ③スピーチロックについて

③ 第3回委員会（書面開催）

開催日	令和4年10月25日
出席者	中島慧、河合一明、グエンティクエン、レーティハイン、北野達也、飯嶋香代、鵜飼朱音、竹村理恵
議題	光の園の身体拘束の指針について
内容	①身体拘束の概要を確認 ②現状報告を行う ③光の園の身体拘束の指針について確認 ④言葉遣いを見直す

④ 第4回委員会（書面開催）

開催日	令和5年1月28日
出席者	中島慧、河合一明、グエンティクエン、レーティハイン、北野達也、飯嶋香代、鵜飼朱音、竹村理恵
議題	事例から身体拘束廃止を学ぶ
内容	①身体拘束の概要を確認 ②現状報告を行う ③事例から学ぶ

⑤ 第1回研修会（書面開催）

開催日	令和4年7月15日
出席者	計46名 ※花浅葱13名、千歳緑15名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名
テーマ	スピーチロックをしないために
内容	①どのような言葉がスピーチロックに当たるのか ②スピーチロックをしてはいけない理由とは ③利用者様を拘束しない言葉使いとは

⑥ 第2回研修会（書面開催）

開催日	令和5年1月23日
出席者	計45名 ※花浅葱11名、千歳緑14名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名、副施設長2名
テーマ	読売新聞の事例から身体拘束を考える
内容	①「夜勤中、患者の身体拘束を外してみた これまで仕方がないと片づけてきたが最善だったのか」を読んで身体拘束を考える

施設名	記載者	記載日
第二光の園	大矢祐輔	令和5年4月20日

(4) 感染症及び食中毒防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月28日
出席者	大矢祐輔、山本陽介、後藤悦子、柏木愛
議題	食中毒予防対策
内容	①うがい・手洗いの状況把握、徹底について ②新型コロナウイルス感染状況について

② 第2回委員会

開催日	令和4年7月6日
出席者	大矢祐輔、山本陽介、後藤悦子、仲田貴和子
議題	感染症対策について
内容	①コロナウイルス、食中毒の感染症対策 ②研修会の内容検討

③ 第3回委員会

開催日	令和4年10月14日
出席者	大矢祐輔、野牧美穂、松延未夢
議題	感染症対策について
内容	①ゾーニングのやり方について ②PPEの手順

④ 第4回委員会（オンラインセミナー受講）

開催日	令和4年12月13日
出席者	大矢祐輔、山本陽介、野牧美穂、柏木愛、飯嶋香代、竹村理恵、原田三春
議題	施設における感染症対策（ZOOMによる研修）
内容	①感染症について ②標準予防策 ③ゾーニング

⑤ 第1回研修会（書面開催）

開催日	令和4年7月15日
出席者	計46名 ※花浅葱13名、千歳緑15名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名
テーマ	食中毒予防について
内容	①食中毒とその予防法について（食中毒予防の3原則、食中毒予防のポイント）

⑥ 第2回研修会（書面開催）

開催日	令和5年1月23日
出席者	計45名 ※花浅葱11名、千歳緑14名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名、副施設長2名
テーマ	施設における感染症対策
内容	①感染症について ②標準予防策 ③ゾーニング

施設名	記載者	記載日
第二光の園	北原隆之	令和5年4月12日

(5) 褥瘡予防委員会

① 第1回委員会（書面開催）

開催日	令和4年5月11日
出席者	北原隆之、西直幸、岩崎葉月、エリカドゥイプリダワティ、山崎光太郎、西尾奈緒、北野達也、中村瞳、ディタアフニダ、竹村理恵、熊谷百合恵、大矢祐輔
議題	①褥瘡発生の4つの要因と予防方法 ②第二光の園の現在の褥瘡の状況
内容	①資料配布「褥瘡発生の4つの要因と予防方法」 ②褥瘡管理シートによるハイリスク者の確認、各課の現状と褥瘡発生者の状況の報告

② 第2回委員会（オンラインセミナー受講）

開催日	令和4年9月13日
出席者	北原隆之、西直幸、岩崎葉月、エリカドゥイプリダワティ、山崎光太郎、西尾奈緒、北野達也、中村瞳、ディタアフニダ、竹村理恵、熊谷百合恵、大矢祐輔
議題	①褥瘡のリスク管理（オンラインセミナー受講） ②第二光の園の現在の褥瘡の状況
内容	①オンラインセミナー受講にて「褥瘡のリスク管理」について学ぶ ②褥瘡管理シートによるハイリスク者の確認、各課の現状と褥瘡発生者の状況の報告

③ 第1回研修会（書面開催）

開催日	令和4年7月15日
出席者	計46名 ※花浅葱13名、千歳緑15名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名
テーマ	褥瘡発生の4つの原因と予防方法
内容	①褥瘡が発生しやすい主な4つの原因とは ②褥瘡リスクのチェックポイント ③褥瘡の予防策

④ 第2回研修会（書面開催）

開催日	令和5年1月23日
出席者	計45名 ※花浅葱11名、千歳緑14名、照柿13名、機能訓練2名、看護師2名、管理栄養士1名、副施設長2名
テーマ	車椅子の選び方とシーティング
内容	①問題のある姿勢とその影響 ②シーティングの基本的な考え方 ③座位での身体の支え方 ④車椅子の種類と選び方 ⑤車椅子クッションの必要性和選び方

(6) 必須委員会の種類

委員会名	会議	研修	備考
イ 苦情解決委員会	年2回	年1回	
ロ 事故防止委員会	年2回	年2回	
ハ 身体拘束廃止委員会	3ヵ月1回	年2回	減算対象
ニ 感染症及び食中毒防止委員会	年4回	年2回	
ホ 褥瘡（じょくそう）予防委員会	年2回	(年2回)	
ヘ 口腔内吸引・経管栄養委員会	年4回	—	
ト 優先入居委員会	年3回	—	

施設名	記載者	記載日
第二光の園	竹村理恵	令和5年4月20日

(7) 口腔内吸引・経管栄養委員会

① 第1回委員会（書面開催）

開催日	令和4年5月13日
出席者	竹村理恵、久保田いずみ、中山和加奈、西尾奈緒、武藤啓美、福沢克哉、松延未夢、熊谷敦子、原田三春
議題	①現在の吸引、経管栄養施行者 ②喀痰吸引等実施研修について
内容	①書現在の喀痰吸引、経管栄養の現状報告 ②喀痰吸引等実施研修について報告

② 第2回委員会（書面開催）

開催日	令和4年8月3日
出席者	竹村理恵、久保田いずみ、中山和加奈、西尾奈緒、武藤啓美、福沢克哉、松延未夢、熊谷敦子、原田三春
議題	①現在の吸引、経管栄養施行者 ②喀痰吸引実施研修終了の報告 ③物品等の破損時の対応について
内容	①現在の喀痰吸引、経管栄養の現状報告 ②喀痰吸引等実施研修について報告 ③物品等の破損時の対応についてお願い

③ 第3回委員会（書面開催）

開催日	令和4年11月17日
出席者	竹村理恵、久保田いずみ、中山和加奈、西尾奈緒、武藤啓美、福沢克哉、松延未夢、熊谷敦子、原田三春
テーマ	①現在の吸引、経管栄養施行者 ②喀痰吸引等実施研修について ③吸引機の取り扱いについて
内容	①現在の喀痰吸引、経管栄養の現状報告 ②喀痰吸引等実施研修受講予定の職員について ③吸引機の取り扱いについて

④ 第4回委員会（書面開催）

開催日	令和5年3月8日
出席者	竹村理恵、久保田いずみ、中山和加奈、西尾奈緒、武藤啓美、福沢克哉、松延未夢、熊谷敦子、原田三春
議題	①現在の吸引、経管栄養施行者 ②喀痰吸引実施研修終了の報告 ③吸引対応時のお願い
内容	①現在の喀痰吸引、経管栄養の現状報告 ②喀痰吸引等実施研修について報告 ③吸引機の場所の把握、夜間の吸引についてのお願い

施設名	記載者	記載日
第二光の園	佐々木真	令和5年4月10日

(8) 優先入居委員会

① 第1回委員会（書面開催）

開催日	令和4年7月
出席者	竹村邦彦様、樋下陽子様 ※外部委員 東海林真、熊谷栄美、竹村理恵、佐々木真、小林由実、中島慧
議題	第55回 第二光の園優先入居検討委員会（1回目）
内容	①現在までの入居状況の報告 ②新規申込状況の報告 ③優先入居の協議 ④優先入居順位の判定

① 第2回委員会（書面開催）

開催日	令和4年11月
出席者	竹村邦彦様、樋下陽子様 ※外部委員 東海林真、熊谷栄美、竹村理恵、佐々木真、小林由実、中島慧
議題	第56回 第二光の園優先入居検討委員会（2回目）
内容	①現在までの入居状況の報告 ②新規申込状況の報告 ③優先入居の協議 ④優先入居順位の判定

② 第3回委員会（書面開催）

開催日	令和5年3月
出席者	竹村邦彦様、樋下陽子様 ※外部委員 東海林真、竹村理恵、小林由実、中島慧
議題	第57回 第二光の園優先入居検討委員会（3回目）
内容	①現在までの入居状況の報告 ②新規申込状況の報告 ③優先入居の協議 ④優先入居順位の判定

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	古田真弓・木下いそみ	令和5年4月20日

3 職員研修の状況

(1) 研修の状況（必須研修以外すべて）

	研修名	参加数	研修の内容（ねらい）
①	令和4年度相談支援従事者初任者研修	3	
②	いつまでも脳を元気に保つために（オンライン）	1	認知症の脳トレの方法について学ぶ
③	集合研修（EPA）	3	介護技術の学習（ディタ・ハイン・ガー）
④	青年研勉強会	1	社会保障の動向を学び、新たな実践の課題を探る
⑤	令和4年度特定給食施設等従事者研修会（オンライン）	1	給食業務に従事する者の栄養・健康に関する知識の向上及び衛生管理の徹底について学ぶ
⑥	令和4年度南部地区居宅支援事業所研修会（オンライン）	3	運営指導のポイント・10月からのベースアップ等支援加算について学ぶ
⑦	褥瘡のリスク管理（オンライン）	5	施設へ入所されている方への褥瘡ケアについて学ぶ
⑧	L I F Eを活用したケアの取り組みに係る研修会	1	L I F Eの導入の背景・目的・活用方法を学ぶ
⑨	いいだ成年後見支援センター「事例で学ぶ意思決定支援」（オンライン）	2	お互い支え合いながら自分らしく活躍できる地域社会づくりの一助となるよう、権利擁護支援の実践から支援のあり方について学ぶ
⑩	令和6年介護保険法改正の全体解説と事前対策（オンライン）	2	介護保険制度・介護報酬について学ぶ
⑪	日本介護経営学会 介護分野の労働生産性について（オンライン）	4	介護の生産性向上の考え方について学ぶ
⑫	感染症について（新型コロナウイルス）	7	福祉施設における感染症対策について学ぶ
⑬	南信州地域栄養士研修会	1	栄養士の資質の向上と連携による効率的な業務の推進を図るための学習
⑭	介護事業者のためのBCP作成セミナー（オンライン）	10	BCP作成のノウハウを習得する

注①→研修は施設内、施設外を問いません。（法人で開催したものは含みません。）

4 人材育成の状況

(1) 資格取得の状況

		受験者数	合格者数	備考
①	介護福祉士	2	1	
②	介護支援専門員	0	0	
③	社会福祉士	1	0	
④	その他	0	0	
	合計	3	1	

注1→公的資格を対象とします。講習、研修の参加によって得られる資格は対象外とします。

(2) 専門研修の受講状況

		受講者数	備考
①	主任介護支援専門員	0	
②	認知症介護実践者	0	
③	認知症介護実践リーダー	0	
④	認知症介護指導者	0	
⑤	喀痰吸引等研修	2	

※認知症介護実践者(県)⇒認知症介護実践リーダー(県)⇒認知症介護指導者(大府センター)

(3) キャリア段位制度

		受験者数	合格者数	備考
①	アセッサー	0	0	

(4) キャリア段位認定者

		受講者数	備考
①	レベル1	0	
②	レベル2	0	
③	レベル3	0	
	合計	0	

(5) 採用・離職の状況

		正規職員	契約職員	備考
①	採用	4	0	
②	離職	8	4	
③	その他	0	0	
	合計	12	4	

注①→再雇用は含まないこととします。

エリア名	記載者	記載日
下條エリア	萩野俊樹	令和5年4月22日

VI その他

1 預かり金の状況

令和5年3月31日現在

施設名	預り金総額	人数	備考
光の園	171,830,843 円	46 人	
第二光の園	44,178,976 円	61 人	
合計	216,009,819 円	107 人	

令和4年度 中津川エリア事業報告

目 次

I	利用者処遇	
1	利用者サービスの状況（振り返り）	1
2	看取りの状況	2
3	行事報告	3
II	運営管理（サービス状況報告）	
1	苦情解決報告	5
2	事故対応報告	6
3	ひやり・ハットの状況報告	7
4	身体拘束の状況報告	8
III	会計・経理	
1	主な収入、人件費の状況（エネルギー支出）	9
2	経営の状況（振り返り）	10
IV	安全対策	
1	災害安全対策の状況	11
(1)	避難誘導訓練の状況	11
(2)	点検の状況	11
2	交通安全対策の状況	11
(1)	交通安全対策の状況	11
(2)	事故発生の状況	11
V	職員関係	
1	必須委員会、研修会の実施状況	12
(1)	苦情解決委員会	12
(2)	事故防止委員会	12
(3)	身体拘束委員会	13
(4)	感染症及び食中毒防止委員会	14
(5)	褥瘡予防委員会	15
2	職員研修の状況	16
3	人材育成の状況	16
VI	その他	
1	預かり金の状況	16

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

I 利用者処遇

1 サービスの状況（振り返り）

（1）特別養護老人ホーム延暦寺広済寮

年間で4月、8月、11月、3月に新型コロナの施設内療養者がいたため、その都度、短期入所生活介護がストップした。以前のような活動はなかなか望めなかったが、施設内研修は毎月開催し、様々なテーマで1年を通じて学習することができた。

（2）ゆうらく苑デイサービスセンター

コロナ禍も3年目となり、6月、8月には利用者様、職員もコロナの陽性となり、デイサービスを休業する事態となりました。デイサービス内での感染対策の徹底を図り、保健所の指導を頂き、年末年始と中津川市内高齢者施設に陽性者が続く中、デイサービスは営業が出来ました。感染対策の為、利用者様、ご家族様と体調の悪い方は休んでいただいたため、稼働率が前年度比で、2.0%低下となってしまいましたが、新たに加算を取得する事が出来ました。

（3）中津川市ゆうらく苑地域包括支援センター

今年度は、実態把握訪問時にアンケートの協力をお願いし地域のニーズや課題の抽出を行った。アンケートの結果をもとに今後の事業や地域作りにいかしていきたいと考えています。また70歳前後の独居の方に対しては、就労等で不在な方も多いため、ポスティングにて地域包括の周知や各種情報提供を行った。担当地域内のケアマネジャーと協力し、令和元年11月以降実施できていなかった「認知症カフェ」を令和4年度より実施することができた。3月開催時には多くの方に参加していただき交流を楽しんでいただくことができた。今まで委託業務になかった介護予防ケアマネジメントでは、事業担当者へのプランを立てる業務が年度途中より始まった。

（4）ゆうらく苑ケアプランセンター

6月からは、常勤換算2.5人で業務を行ってきた。積極的に新規利用者を46名受け入れてきたが、要支援認定であったり、未利用となるなど実際の利用につながった方は26名だった。また、契約終了（永眠・施設入所など）となる方も25名おり、利用者数は増えておらず、年間平均稼働率は75.6%となっている。

（5）みなみ在宅介護支援センター

実態把握事業については、担当地区の高齢化率も年々上がっている状況や、コロナ禍で地域の活動が少なくなり、また遠方のご家族もなかなか来られない状況があることから、新規状態把握を増やせるよう努めてきました。電話で訪問を断られる・門前払いされるなど、実態把握につながらないケースもありますが、地域の方に在宅介護支援センターについて知っていただくことも含めて訪問していきたいと思えます。介護予防事業についてはコロナ禍で地域のサロンなど集う機会が少なくなっている状況があり、貴重な交流の機会になっているように感じます。川上地区での介護予防事業は7年間の活動が無事終了、次年度からは一色地区での活動に注力していきたいと思えます。食関連アセスメントについては、新規利用は少なく、また既存の利用者も辞められる方もあり、年々利用者数は低下している状態です。家族の会については参加者少ないながらも、介護保険サービス未利用の方など介護の悩みを伺う機会にもなっているように感じます。

2 看取りの状況

(1) 広済寮

令和4年度

	氏名	逝去場所	日付	最大疾患（死因）	ターミナル	入所期間	享年
1	A	病院	4/25	不明		1年6ヶ月	84歳
2	B	施設	5/15	老衰	9日	5年5ヶ月	85歳
3	C	施設	6/19	急性心不全	—	2年6ヶ月	97歳
4	D	施設	6/30	急性心不全	—	2年2ヶ月	87歳
5	E	病院	7/11	不明	—	2年7ヶ月	82歳
6	F	施設	7/23	老衰	8日	1年1ヶ月	93歳
7	G	施設	8/12	老衰	4日	2年4ヶ月	94歳
8	H	施設	8/19	急性心不全	—	2年11ヶ月	90歳
9	I	施設	10/3	急性心不全	—	15年5ヶ月	98歳
10	J	施設	10/5	老衰	1ヶ月以上	3年1ヶ月	100歳
11	K	施設	11/7	老衰	1日	3年1ヶ月	94歳
12	L	施設	11/22	老衰	3日	3年6ヶ月	95歳
13	M	施設	11/27	急性心不全	—	6年3ヶ月	97歳
14	N	施設	12/8	老衰	6日	6年11ヶ月	101歳
15	O	施設	12/16	老衰	—	2年9ヶ月	106歳
16	P	施設	12/26	急性心不全	—	5年4ヶ月	88歳
17	Q	施設	1/19	老衰	3日	3年11ヶ月	90歳
18	R	施設	1/25	老衰	9日	2年1ヶ月	93歳
19	S	施設	2/3	急性心不全	—	7カ月	96歳
20	T	施設	2/9	急性心不全	—	1年4ヶ月	87歳
21	U	施設	3/12	急性心不全	—	2年5ヶ月	90歳
22	V	施設	3/19	急性心不全	—	9ヶ月	100歳

(2) 看取りの状況（まとめ）

令和4年度は、退所者（死亡）22名のうち、9名の看取り介護をすることができた。新型コロナウイルス感染や10日間の強制隔離（年4回）により、体力を蝕まれた影響が考えられ、死亡者の平均年齢は93歳だった。中には市内最高齢の方も含まれていた。

施設名	記載者	記載日
特別養護老人ホーム延暦寺広済寮	萱垣 憲英	令和5年5月15日

行事報告

	季節の行事	地域交流	お楽しみ・レクリエーション	その他
4月	こいのぼり飾りつけ		職員ギター演奏	
5月	花まつり			
6月		神坂広済寮の草刈り	駄菓子屋さん(りんどう・なでしこ) 職員ギター演奏	
7月	七夕	神坂中富士見台研修送迎 協力		
8月	夏祭り			
9月	敬老祝賀会			
10月		坂下高校介護実習 神坂中学校山行き		
11月		神坂文化祭作品展へ参加	職員ギター演奏 運動会(りんどう・なでしこ)	
12月	門松づくり 餅つき			
1月	新年会		お楽しみ会(ささゆり・はなもも) 職員ギター演奏	
2月	節分 ひな人形飾り	落合公民館祭り作品展へ 参加	職員ギター演奏	
3月			職員紹介(ささゆり・はなもも)	

毎月2回 販売

毎月1回 非常災害訓練 移動図書 書道クラブ 絵画教室

毎月1回 レクリエーション

施設名	記載者	記載日
ゆうらく苑デイサービスセンター	今井 めぐみ	令和5年5月15日

3 行事報告

	季節の行事	お楽しみ	誕生会	その他
4月	プランター畑づくり お花見弁当 お花 見鑑賞 ドライブ	脳トレ ジャがいもの苗うえ 春のクイズ お 花見ドライブ ポール体操 ゆうらく苑喫茶 100才お祝い まちがい探し	お祝いカード	内外点検 /毎月1回
5月	端午の節句 母の 日 八十八夜新茶 の会	セレクトメニュー 回想法五月人形作り 脳ト レ あるなしクイズ 軽体操 都道府県クイズ 饅頭リレーしりとり 饅頭狩り	〃	
6月	朴葉寿司昼食 父 の日 あじさいドライ ブ	軽体操 言葉遊び 玉ねぎ収穫 回想法 スイーツバイキング ゆかいな授業 タワー 積みゲーム 梅酢作り	〃	大掃除
7月	七夕 収穫祭	七夕飾り 七夕祭り ハーモニカ演奏 脳ト レ 回想法 風鈴作り クリームソーダ 夏の クイズ 己書 ゼリーバイキング 都道府県 クイズ	〃	
8月	夏祭り 花火鑑賞 収穫祭	花火作り 軽体操 都道府県クイズ 漢字ク イズ 100才お祝い ゆかいな授業 掛け 算 ヨーヨー釣り 輪投げゲーム スイーツ バイキング 回想法 歌・花火のビデオ ア イスクリーム狩り ピーマン、茄子の収穫	〃	ぎふシェイク アウト(県民一 斉防災訓練)
9月	ぶどう狩り 敬老のつどい	ゼリーバイキング 秋の味覚作り 脳トレ ブドウ狩り 十五夜の話 軽体操 言葉遊び 野球観戦 セレクトメニュー 秋のクイズ	〃	
10月	干し柿作り	手形の作品作り 広済寮のビデオ鑑賞 秋 のクイズ ゆうらく苑喫茶 運動会 軽体操 脳トレ	〃	
11月	紅葉鑑賞、ドライブ 神坂文化祭見学 みかん狩り	菊の作品作り 歌のビデオ 干し柿作り も みじの貼り絵 感染症について神坂文化祭 見学 紅葉ドライブ ポール体操 回想法 ゆかいな授業 音読 みかん狩り	〃	防災訓練
12月	干支の貼り絵 ゆず湯 パナナ狩り	歌体操 ラジオ体操 己書 歌のビデオ セ レクトメニュー 言葉遊び クリスマス会	〃	大掃除
1月	新年会 書初め 七草粥 鏡開き	新年会(釜飯) 己書 お正月遊び 回想法 地名クイズ 開所記念日	〃	
2月	節分 バレンタインデー	回想法 鬼退ゲーム 豆まき 卒業作品作り 軽体操 ゆうらく苑喫茶 なぞなぞ ラジオ 体操 将棋 雛人形飾り	〃	
3月	お雛祭り ホワイトデー	軽体操 雛人形作り ラジオ体操 すごろく ゆかいな授業 防災の話 言葉遊び 回想 法 歌のビデオ 花見ドライブ	〃	総合防災訓 練②

※2ヶ月に1回 ゆうらく苑デイサービスだより発行

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

II 運営管理（サービス状況報告）

1 苦情解決報告

(1) 苦情件数

(令和4年度)

	苦情内容	事業所宛	第三者委員宛	サービス評価事業
①	サービス利用に係わる事項	2件	0件	0件
②	職員の接遇	2件	0件	0件
③	事故・被害・損害	0件	0件	0件
④	利用者間のトラブル	0件	0件	0件
⑤	建物の構造に対する要望	0件	0件	0件
⑥	法人・施設・事業所運営に対する要望	0件	0件	0件
⑦	契約内容に関する要望	0件	0件	0件
⑧	制度・施策・法律に関する要望	0件	0件	0件
⑨	その他（事務）	0件	0件	0件
⑩	その他（送迎について）	0件	0件	0件
	合計	4件	0件	0件

(2) 特定事項点検事項（苦情に至らないが自主点検で確認した事項、又は問い合わせがあった事項）

	点検事項	件数
①	短期入所（長期含む）忘れ物	0件
②	デイサービス忘れ物	0件
③	デイサービス送迎時間問合せ	0件
④	ホームヘルプ訪問時間問合せ	0件
⑤	その他訪問時間問合せ	0件
⑥	その他（事務）問合せ	0件
⑦	その他（問い合わせ）	0件
	合計	0件

(3) 考察

短期入所生活介護利用者家族より、職員の言葉遣いやサービス内容について、ご指摘をいただきました。事業所内で改善事項等を話し合い、当該家族や居宅ケアマネへ報告しました。

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

2 事故対応報告

(1) 事故発生件数 (行政への報告を要したもの)

令和3年度

	事故内容	発生件数	家族報告	保険者報告	本部報告
①	骨折	4件	4件	4件	4件
②	打撲・捻挫・脱臼	0件	0件	0件	0件
③	切傷・摩過傷	0件	0件	0件	0件
④	その他の外傷	0件	0件	0件	0件
⑤	異食・誤嚥	0件	0件	0件	0件
⑥	食中毒	0件	0件	0件	0件
⑦	感染症・結核	0件	0件	0件	0件
⑧	職員の法令違反	0件	0件	0件	0件
⑨	その他	0件	0件	0件	0件
	合計	4件	4件	4件	4件

※介護サービス提供により事故が発生した場合、事故の解決及び再発防止のため、事業所は保険者に速やかに報告することとなっています。その範囲については、以下のとおりとします。

報告すべき事故の範囲
(1) 介護サービスの提供(送迎・通院等含む)により、利用者のケガ、または死亡事故が発生した場合 ① ケガの程度については、医療機関で治療(複数回の通院加療を要すケガ)、または入院したもの。 ② 事業所の責任や過失の有無によらない。
(2) 感染症、食中毒及び結核が発生した場合 ① 感染症については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に定められている「疾病分類表」に掲載されているもの及びノロウイルスや疥癬症、食中毒等を対象とする。なお、原因不詳でも、嘔吐や下痢、高熱が伴う症状が10人以上、もしくは入所者の半数を超える場合には報告する。 ② 個々の保険者で別途、届出義務が定められている場合は、それに従うこと。
(3) 職員(従業員)の法令違反、不祥事等が発生した場合
(4) その他、報告が必要と認められる事故が発生した場合 ① 無断外出により外部組織に捜索依頼した場合など

(2) 事故発生の状況 (行政への報告を要しないもの)

内容	発生件数	内容	発生件数
① 転倒 (けがの有無は問わない)	10件	⑧ 異食 (治療を要したもの)	5件
② 転落 (けがの有無は問わない)	25件	⑨ 無断外出 (自主捜索)	0件
③ ずり落ち (けがの有無は問わない)	10件	⑩ 利用者間のトラブル (けがあり)	0件
④ 表皮剥離	10件	⑪ 誤薬 (実際に飲んだ)	5件
⑤ 擦過傷	5件	⑫ 入れ歯、メガネ、補聴器等の破損	3件
⑥ 打撲	3件	⑬ その他	10件
⑦ 誤飲・誤嚥 (つまった)	1件	合計	87件

3 ひやりハットの取り組み

(1) 身体的事項

内容	発生件数	内容	発生件数
①転倒しそうになった(ふらつき)	20(10)	⑧異食(治療を要しないもの)	15(5)
②転落しそうになった	20(25)	⑨無断外出(出て行きそうになった)	1(0)
③ずり落ちそうになった	15(10)	⑩利用者間のトラブル(けがなし)	0(0)
④はさみこみ(表皮剥離していない)	5(10)	⑪配薬ミス(実際に飲んでいない)	10(5)
⑤こすった(擦過傷にはならない)	10(5)	⑫入歯、メガネ、補聴器等破損	1(3)
⑥ぶつけた(打撲はしていない)	10(3)	⑬その他	15(10)
⑦誤飲・誤嚥(むせた)	1(1)	合計	123(87)

(2) 介護者中の事項

内容	発生件数	内容	発生件数
① 車椅子等の取扱いを誤った	1	⑥その他機具の取扱いを誤った	0
② ベッドの取扱いを誤った	1	⑦ 支持(支え方)、介助方法を誤った	0
③ 入浴器具の取扱いを誤った	0	⑧ 利用者間の誤った介助があった	0
④ 介護器具の取扱いを誤った	1	⑨ その他()	0
⑤ 医療器具の取扱いを誤った	1	合計	4

※1「車椅子等」とは→歩行器、杖等の移動に使用する器具を示す。

※2「医療器具」とは→在宅酸素、胃ろうチューブ、バルン、点滴等の取扱いを示す。

(3) その他の事項

内容	発生件数	内容	発生件数
① 車椅子等の整備に不備があった	1	⑥ その他機具の備に不備があった	1
② ベッドの整備に不備があった	1	⑦ 衛生手順のミスがあった	0
③ 入浴器具の整備に不備があった	0	⑧ 持ち物取違え、紛失、破損	10
④ 介護器具の整備に不備があった	1	⑨ その他()	10
⑤ 医療器具の整備に不備があった	1	合計	25

※3「連絡ミス」とは→ケアプランの記載事項の連絡ミスを示す。(逆にケアプランへの記載漏れ含む)

(4) ひやりハットの分析

発生場所	件数	発見の契機	件数	発生曜日	件数	発生時間	件数
居室	55(50)	職員が発見	104(60)	月曜日	20(14)	0:00～ 2:59	10(8)
食堂	28(20)	本人の通報	6(5)	火曜日	16(15)	3:00～ 5:59	5(8)
浴室	12(10)	他利用者の通報	5(2)	水曜日	18(11)	6:00～ 8:59	13(13)
トイレ	6(4)	家族の通報	0(0)	木曜日	20(7)	9:00～ 11:59	40(15)
機能訓練室	0(0)	センサー作動	5(5)	金曜日	11(15)	12:00～14:59	18(13)
廊下	3(0)	その他	3(15)	土曜日	18(15)	15:00～17:59	23(10)
移送時	4(0)			日曜日	20(10)	18:00～20:59	11(15)
その他	15(3)					21:00～23:59	3(5)
合計	123(87)	合計	123(87)	合計	123(87)	合計	123(87)

※4 1(1)の①～⑬までの内容を対象として分析します。

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

4 身体拘束の状況報告

(1) 身体拘束（合法的手続きに基づく拘束の実施）

	身体拘束事項	件数
①	徘徊しないように、車いすやいす、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
②	転落しないように、ベッドに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
③	自分で降りられないように、ベッドを柵（サイドレール）で囲む。	0件
④	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、四肢をひも等で縛る。	0件
⑤	点滴・経管栄養等のチューブを抜かないように、または皮膚をかきむしらないように、手指の機能を制限するミトン型の手袋等をつける。	0件
⑥	車いすやいすからずり落ちたり、立ち上がったりにしないように、Y字型拘束帯や腰ベルト、車いすテーブルをつける。	0件
⑦	立ち上がる能力のある人の立ち上がりを妨げるような椅子を使用する。	0件
⑧	脱衣やおむつはずしを制限するために、介護衣（つなぎ服）を着せる。	0件
⑨	他人への迷惑行為を防ぐために、ベッドなどに体幹や四肢をひも等で縛る。	0件
⑩	行動を落ち着かせるために、向精神薬を過剰に服用させる。	0件
⑪	自分の意志で開けることのできない居室等に隔離する。	0件
⑫	その他	0件
	合計	0件

※1 「身体的拘束等とは」→指定基準において禁止の対象となっている行為は、「身体的拘束その他、利用者の行動を制限する行為」です。厚生労働省が発行した「身体拘束ゼロへの手引き」では、具体的な行為として、以上のような行為をあげています。なお、「言葉による拘束」や、「虐待的な行為」も含まれます。

※2 「当報告書の目的は」→以上の行為がないことを確認することと、発見した場合、速やかに解決することです。発見しても目をつぶらず、即時、対応することで解決を図りましょう。

(2) 無届の拘束の発見

項目	説明
① 無届の拘束の有無	無
② 発見の職（通報者）	
③ 拘束の概要	
④ 行われていた事情	
⑤ 対処	

※1 届出がされていなくても緊急性があり実施され、直ちに合法的な手続きが実施されたものは含みません。 ※2 発見後、直ちに中止した場合は「あり」として記載してください。

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

Ⅲ 会計・経理

1 主な収入、人件費の状況（エネルギー支出）

	稼働率管理(数)	率(%)	収入・支出管理	金額	率(%)
(1) 養護老人ホーム					
① 稼働率	名	%	①主な収入	円	
② 入退所空床(率)	床	%	②人件費支出(率)	円	%
③ 入退院空床(率)	床	%	③エネルギー支出	円	%
(2) 特別養護老人ホーム				379,314,671 円	(収入計)
① 稼働率	24839 名	97.2 %	①主な収入	353,776,860 円	
② 入退所空床(率)	- 床	%	②短期収入	25,537,811 円	
③ 入退院空床(率)	- 床	%	②人件費支出(率)	251,406,279 円	66.3 %
④ 短期入所稼働率	2211 名	60.6 %	③エネルギー支出	20,709,175 円	5.5 %
(3) グループホーム					
① 稼働率	名	%	①主な収入	円	
② 入退所空床(率)	床	%	②人件費支出(率)	円	%
③ 入退院空床(率)	床	%	③エネルギー支出	円	%
(4) ゆうらく苑デイサービス					
① 稼働率	5810 名	68.7 %	①主な収入	61,435,442 円	
② キャンセル(欠席)	0 名	0 %	②人件費支出(率)	39,807,586 円	64.8 %
③ 受入れ拒否状況	0 名	0 %	③エネルギー支出	6,343,961 円	10.3 %
(5) デイサービス					
① 稼働率	名	%	①主な収入	円	
② キャンセル(欠席)	名	%	②人件費支出(率)	円	%
③ 受入れ拒否状況	名	%	③エネルギー支出	円	%
(6) ホームヘルプ					
① 延べ提供時間	時間	%	①主な収入	円	
② キャンセル(欠席)	時間	%	②人件費支出(率)	円	%
③ 受入れ拒否状況	件	%	③エネルギー支出	円	%
(7) ゆうらく苑ケアプランセンター					
① 延べプラン数	700 件	67.0 %	①主な収入	8,834,280 円	
			②人件費支出(率)	10,984,741 円	124.3 %
			③エネルギー支出	154,693 円	1.8 %
(8) 中津川市ゆうらく苑地域包括			(9) みなみ介		
①主な収入	8,677,111 円		①主な収入	6,311,678 円	
②人件費支出(率)	7,141,747 円	82.3 %	②人件費支出(率)	5,643,494 円	89.4 %
③エネルギー支出	474,148 円	5.5 %	③エネルギー支出	139,880 円	2.2 %
			(10) 中津川エリア		
			①主な収入	464,573,182 円	
			②人件費支出(率)	314,983,847 円	67.8 %
			③エネルギー支出	27,821,857 円	6.0 %

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

(2) 経営の状況 (振り返り)

表1 中津川エリアの経営指標の経年比較

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
適正性	1 平均介護度					
	2 人件費率	71.7%	72.7%	70.9%	67.8%	67.8%
	3 経費率	27.8%	25.7%	25.7%	23.9%	25.2%
	4 減価償却費率	4.3%	10.6%	10.2%	5.6%	9.2%
安定性	5 流動比率 ※200%以上が望ましい	307.6%	410.1%	412.2%	410.7%	341.3%
	6 純資産比率 ※負の比率も含まれる	40.6%	38.6%	36.5%	33.8%	33.0%
	7 固定長期適合率 ※100%以下であることが適切	95.0%	92.0%	91.4%	90.8%	91.5%
収益性	8 経常増減差額比率	-1.4%	-8.4%	-6.4%	2.9%	-1.8%
	9 総資産回転率	0.29	0.36	0.39	0.45	0.47
	10 総資産経常増減差額比率	-0.4%	-3.0%	-2.5%	1.3%	-0.9%
公平性	11 労働分配率	105.6%	114.1%	110.5%	96.2%	103.4%

広済寮では、前年度に引き続き、償却前利益 3,500 万円程のうち、ほぼ同額を飯田信金への借入金の償還に充てている。完済時期は繰り上げ返済を毎年 2,000 万円にした場合は 8 年後になるが、毎年 1,500 万円にした場合は、10 年後となる見込みである。

エリア内の事業所では、みなみ在宅介護支援センターは例年通りの赤字であり、撤退時期の検討が必要となっている。また、ゆうらく苑ケアプランセンターは、ケアマネを 1 名増員したものの件数が伸びておらず、こちらも 5 年連続でサービス活動増減差額がマイナスとなっている。この 2 つの赤字事業所は、事業として成り立っていない可能性もあるため、今後抜本的な見直しが必要となっている。

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

IV 安全対策

1 災害安全対策の状況

(1) 避難誘導訓練の状況

実施日	訓練内容	参加者	参加数
4月15日	消防用設備点検、非常通報装置点検	(株)東商	2名
5月13日	避難路点検、危険個所点検	職員	5名
6月17日	避難訓練	職員、入所者	100名
7月15日	非常災害時連絡網の使用	職員	70名
8月19日	避難訓練	職員、入所者	100名
9月16日	外回りの排水路点検	職員	5名
10月14日	夜間避難訓練、消防用設備点検、非常通報装置点検	職員、入所者	100名
11月18日	避難路点検、U字溝点検	職員	5名
12月16日	救急法	職員	10名
1月13日	部分訓練、外回りの危険個所点検	職員	5名
2月17日	室内・外回り避難路点検、非常食説明	職員	5名

(2) 点検の状況

内容	実施日①	実施日②	備考
火災警報設備	4月15日	10月14日	広済寮

2 交通安全対策の状況

(1) 交通安全対策の状況

<ul style="list-style-type: none"> ・安全運転管理者講習年1回の講習会に参加し、職員に伝達。 ・交通安全について、自家用車出勤者の運転免許証の写し、任意保険の写しの提出、確認。 ・運転者の注意事項 ～通勤・退勤・訪問・送迎時～ ・交通マナーの確認、定期的伝達、「交通安全管理ぎふ」の回覧、配布（各事業所へ） ・車両の維持管理点検の徹底。（エンジンオイル、タイヤの確認） ・早めのライト点灯啓発（冬季に関係なく） ・危険箇所の確認。 ・狭い道路の運転走行の注意喚起。歩行者（高齢者、子供）がいる時の運転走行注意喚起。 ・朝礼等での情報提供や注意喚起。 ・雨の日の運転4つのセーフティポイント ・デイ送迎、ショート送迎時の交通安全

(2) 事故発生の状況

	公務中の交通事故	通勤途上の交通事故	備考
① 人身事故	0	0	
② 対物事故	0	0	車対車等の物損事故
③ 自損事故	0	0	負傷者のいない物損事故
④ その他	0	0	
合計	0	0	

V 職員関係

1 必須委員会、研修会の実施状況

エリア名	委員会名	記載者	記載日
中津川エリア	苦情解決委員会	萱垣 憲英	令和5年5月15日

(1) 苦情解決委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年9月7日(水)
出席者	施設長、生活相談員、ケアマネ、看護師、栄養士、介護主任、ユニットリーダー
議題	利用者家族からの苦情について
内容	1 苦情報告 2 結果・改善事項等

② 第2回委員会

開催日	令和5年2月8日(水)
出席者	施設長、生活相談員、ケアマネ、看護師、栄養士、介護主任、ユニットリーダー
議題	利用者家族からの苦情について
内容	1 苦情報告 2 結果・改善事項等

エリア名	委員会名	記載者	記載日
中津川エリア	事故防止委員会	萱垣 憲英	令和5年5月15日

(2) 事故防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月11日(月)
出席者	施設長、生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	昨年度の事故報告の分析と今年目標の確認
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の事故報告の分析 ・事故防止の指針・高齢者虐待防止法、身体拘束廃止の指針の確認 ・ヒヤリ・気づきは事故の予防になるので多く出してもらい、情報を共有し事故を防ごう ・重大事故の場合は臨時の委員会を実施する。 ・年2回の研修会の内容検討と実施

② 第2回委員会

開催日	令和4年9月12日(月)
出席者	施設長、生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	事故・ヒヤリハット・気づき報告の分析
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期の事故報告の分析 ・高齢者虐待、身体拘束の有無の確認

③ 第1回研修会

開催日	令和4年4月11日(月) 書面研修
出席者	全員対象
テーマ	事故とヒヤリハットについて
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事故とヒヤリハットの定義について ・事故を減らすためには

④ 第2回研修会

開催日	令和4年10月26日(水) 集合研修
出席者	全員対象
テーマ	事故発生時の対応について
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・初動対応について ・同じ事故を再び起こさないために

エリア名	委員会名	記載者	記載日
中津川エリア	身体拘束廃止及び 高齢者虐待防止委員会	萱垣 憲英	令和5年5月15日

(3) 身体拘束廃止及び高齢者虐待防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月11日(月)
出席者	施設長、生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	昨年度の事故報告の分析と今年目標の確認
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の事故報告の分析 ・事故防止の指針・高齢者虐待防止法、身体拘束廃止の指針の確認 ・ヒヤリ・気づきは事故の予防になるので多く出してもらい、情報を共有し事故を防ごう ・重大事故の場合は臨時の委員会を実施する。 ・年2回の研修会の内容検討と実施

② 第2回委員会

開催日	令和4年9月12日(月)
出席者	施設長、生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	事故・ヒヤリハット・気づき報告の分析
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・上半期の事故報告の分析 ・高齢者虐待、身体拘束の有無の確認

③ 第1回研修会

開催日	令和4年4月27日(水) 集合研修
出席者	全員対象
テーマ	虐待と身体拘束について
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待とは ・身体拘束とは

④ 第2回研修会

開催日	令和5年3月17日(金) Zoom 研修
出席者	全員対象
テーマ	施設における高齢者虐待の予防と発生時の対応
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待を防止するために ・身体拘束における手続き

エリア名	委員会名	記載者	記載日
中津川エリア	感染症・食中毒防止委員会	萱垣 憲英	令和5年5月15日

(4) 感染症及び食中毒防止委員会

① 第1回委員会

開催日	令和4年4月18日(月)
出席者	生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	年間計画の確認と目標に沿った活動について
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回以上の研修計画 ・新型コロナウイルス感染症対策 ・一年を通じた委員会活動の確認

② 第2回委員会

開催日	令和4年7月11日(月)
出席者	生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	研修会の検討と感染対策
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の精査 ・新型コロナウイルス感染症対策 ・排泄介助時の感染対策について

③ 第3回委員会

開催日	令和4年10月17日(月)
出席者	生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	排泄介助時の感染対策と食中毒防止
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手指消毒 ・陰洗用洗浄液

④ 第4回委員会

開催日	令和5年2月13日(月)
出席者	施設長、生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	新型コロナウイルス感染症について
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策の確認 ・コロナ陽性者発生時の対応について

⑤ 第1回研修会

開催日	令和4年7月11日(月) 書面研修
出席者	全員対象
テーマ	標準予防策
内容	・標準予防策の適応と目的 ・標準予防策の概要

⑥ 第2回研修

開催日	令和5年2月13日(月) 書面研修
出席者	全員対象
テーマ	感染症予防と食中毒防止について
内容	・感染症予防について ・食中毒防止について

エリア名	委員会名	記載者	記載日
中津川エリア	褥瘡予防委員会	萱垣 憲英	令和5年5月15日

(5) 褥瘡予防委員会(介護改善委員会)

① 第1回委員会

開催日	令和4年5月18日(水)
出席者	施設長、生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	年間目標の確認 褥瘡予防委員会の目的の確認と塚原先生のリハビリの取り組み
内容	・1年間を通して褥瘡予防強化月間を設け、職員への啓発を図る。 ・エアーマットの使用者の把握。 ・塚原PTのリハビリ指導内容の確認。

② 第2回委員会

開催日	令和5年2月22日(水)
出席者	施設長、生活相談員、看護師、栄養士、介護士
議題	シーティングとリハビリについて
内容	・車いす上での座位保持について ・塚原PTのリハビリ指導について

③ 第1回研修会

開催日	令和4年5月18日(水) 書面研修
出席者	全員対象
テーマ	機能訓練について
内容	・生活リハビリとは ・リハビリに必要な備品など

④ 第2回研修会

開催日	令和4年8月31日(月) 集合研修
出席者	全員対象
テーマ	介護福祉施設における機能維持・向上
内容	・生活リハビリについて ・ポジショニングによる対策

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

1 職員研修の状況

(1) 研修の状況（必須研修以外すべて）

	研修名	参加数	研修の内容（ねらい）
①	高齢者虐待防止、身体拘束廃止	28名	高齢者虐待防止を推進するための方策
②	認知症ケア	27名	認知症ケアの基礎を学ぶ
③	排せつ支援	26名	ユニ・チャームアドバイザーによる研修会
④	口腔ケア	24名	歯科衛生士による研修会
⑤	褥瘡予防	26名	塚原 PT による研修会
⑥	看取り介護	25名	看取りケアの基礎を学ぶ
⑦	事故防止	21名	事故防止の取組みについて
⑧	高齢者虐待防止	16名	三好弁護士の研修会（Zoom）

※ 研修は施設内、施設外を問いません。（法人で開催したものは含みません。）

2 人材育成の状況

(1) 資格取得の状況

		受験者数	合格者数	備考
①	介護福祉士	1	0	
②	介護支援専門員	3	0	
③	社会福祉士	0	0	
④	その他	0	0	
	合計	4	0	

※ 公的資格を対象とします。講習、研修の参加によって得られる資格は対象外とします。

(2) 採用・離職の状況

		正規職員	契約職員	備考
①	採用	2	10	
②	離職	2	14	
③	その他	0	1	派遣職員採用
	合計	4	25	

※ 再雇用は含まないこととします。

エリア名	記載者	記載日
中津川エリア	萱垣 憲英	令和5年5月15日

VI その他

1 預かり金の状況

令和5年3月31日現在

施設名	預かり金総額	人数	備考
広済寮	79,459,138円	70人	

令和4年度 鼎あかり保育園事業報告（案）

目次

I 利用者処遇

1	利用者サービスの状況（振り返り）	1
2	保育時間	2
3	児童利用状況	2
4	職員状況	2
5	行事報告	3

II 運営管理（サービス状況報告）

6	安全管理	4
7	苦情報告	4
8	事故報告	5
9	関係機関との連携	5
10	運営 人材育成	6

エリア名	記載者	記載日
鼎あかり保育園	福岡 恵子	令和5年5月7日

I 保育処遇

1 一年間の保育の振り返り

【受け入れ状況】								
年 齢 項 目	0	1	2	3	4	5	合 計	備 考
4月年度始め	6	19	29 1号	34 6	43 6	24 3	155 (15)	鼎地区以外からは10地区 (松尾・橋南・上郷・山本・殿岡・駄科・羽場・三穂・毛賀・桐林) 利用率103%
3月年度末	10	21	31 1号	32 3	43 5	24 3	161 (11)	利用率107%
途中入所	4	3	2	0	0	0	9	母親の職場復帰
途中退所		1	1	2			4	保育要件終了・転居
広域入所			1				1	高森
【一時預かり】								
年 齢	延べ人数	利 用 理 由						
0歳児	4	児童の集団保育の機会・園行事						
1歳児	5	児童の集団保育の機会・保護者の傷病						
2歳児	1	児童の集団保育の機会						
3歳児	3	児童の集団保育の機会						
5歳児	3	児童の集団保育の機会						
合 計	16	8名利用						
【感染症と感染対策への取り組み】								
<p>4月から年間19回の学級閉鎖があった。日々家庭からの健康チェック・マスク着用・手指消毒・保育室の消毒・以上児の給食は飛沫防止シート使用、同じ方向を向きなるべく黙食にも取り組むなど感染防止に取り組んだ。学級閉鎖になってもすでに感染歴のある子どもさんは、状況を聞き必要であれば保育体制をとり保育を受けるようにした。</p> <p>1月にはインフルエンザ・胃腸炎が流行した。特に未満児の胃腸炎は回復にかかった。健康観察をこまめに行い家庭との連携もこまめに行った。インフルエンザ・コロナと同時感染時もあり緊張感が増した。</p>								
【子ども主体の保育を考えて】								
<p>子どもが主体的になる時子どもには「ぼく、これやりたい！」がある。そして、子どもは自ら考え工夫し時には友達と対話し夢中になって実現に向かっていく。そこを保証していく保育に取り組みたいと考え、誕生会にスポットを当て異年齢チームで取り組むことにした。子どもたちの考えや思いを聞きそれが叶えられるように環境作りをしていく。年長児が中心になり「誕生日の友だちが喜ぶことをしてあげたい」と希望のプレゼントやお楽しみは何がいいか聞き友だちのために！と一生懸命取り組んだ。その様子を見ていた年中・年少は「自分もやってみたい」と加わり見たり聞いたり教えてもらいながら自然と3年齢がかかわる姿が生まれていった。子どもたちはやりたい！の気持ちが満たされると、とても充実して自信を持つ。そこには、大人の存在も大きく子どもたちのキラッとした姿を見とり認めていくことで子どもたちの自信に繋がっていくこと改めて感じた。保育園は教育的な保育でなく子どもが自ら考え心を動かし子ども主体的になる保育に取り組むことが大事。職員間で学びを深め未来につながる保育を展開していきたい。</p>								

2 保育園開所時間

(1) 7:30~19:00

3 児童利用状況 定員 150名

(1) 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0歳児	6	6	6	8	8	8	9	10	10	10	10	10	101
1歳児	19	19	19	19	19	20	21	20	21	21	21	21	240
2歳児	29	29	29	30	31	31	31	31	31	31	31	31	365
3歳児	34	34	34	34	33	33	33	33	32	32	32	32	396
4歳児	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	516
5歳児	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
合計	155	155	155	158	158	159	161	161	161	161	161	161	1,906

(2) 延長保育利用状況 (延べ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用総人数	749	984	1,323	993	1,049	922
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	1,024	1,028	1,117	1,008	1,110	1,277
						年間合計
						12,584

(3) 一時保育利用状況 (延べ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用総人数	0	0	0	1	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	8	1	0	6	1	0
						年間合計
						17

4 職員状況

(1) 3月末日在籍

園長	1	主任保育士	1	常勤保育士	15
パート保育士	16	事務員	2	その他	5

(2) 職員在籍状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	40	41	42	43	43	43	43	44	44	45	45	45	518
うち園長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち主任	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち正規保育士	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	166
うち非正規保育士	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	27
うちパート保育士	15	16	16	17	16	16	16	17	17	17	17	17	197
うち保育士補助	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	46
うち事務員	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
うち産休育休	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	2	10
うち栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保健師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

5 行事報告

(1) 年間行事の実績報告

コロナの感染状況をみながら取り組む

月	季節の行事	その他
4月	なかよし会（22日） 園庭にみんなで集まりチームごとで行う。	
5月	お花まつり（10日） お家にあるお花を一本ずつ持ち寄る。理事長さんにお話を聞き一人ひとりが大切な存在であることを学ぶ。毎日子どもたちが楽しんでいる獅子舞を披露したい！と有志が舞い祝う。	
6月	プール開き（23日） おっしゅんに安全祈願をしてもらいプール遊びを楽しみにする。	
7月	サマーフェスティバル（13・14・15日） 保護者会3役に協力いただく。獅子舞を見たい！の声に一日増やし名古熊の獅子舞を保護者に舞っていただき感動満足。	
8月		年少プール参観（22・26日） 年中プール参観（23・29日） 年長プール参観（25日） コロナ感染予防のため各家庭1名の参観とする。
9月	防災訓練（避難訓練・引き渡し訓練） プール閉じ（2日） できるようになったことを見せ合いっこ「認め合う日」	
10月	運動会（8日） 子どもたちのこれやりたい！の思いを実現しようと100人の表現・リレーの応援合戦をやる。子どもたちはとても張り切り3年齢が混ざり合い笑顔で楽しむことができた。 年長特別保育夜の保育園（30日）	
11月	焼き芋🍠（10日） 年長児柿むき（7日） 収穫祭（25日）年長児クッキング	
12月	避難訓練（6日）伊賀良消防署より2名派遣指導を受ける。 クリスマス会（20日）サンタの登場に驚きと感動。 大掃除（23・26日）お正月様が来る！と張り切る。	
1月	はじめの会（10日） 七草粥（食育・七草を見せて歌を歌いながら叩きおかゆを作り無病息災を祈り食べてみる） もちつき（13日）今年もコロナ感染予防のため職員で10臼つく。	
2月	節分（3日） 保護者会正副会長参加大いに盛り上げてくれる。 鬼が各クラスへ回り子どもたちは、びっくり・ドッキリ！	参観日（9日）学年ごと時間差で参観を行い子どもの成長を見て頂く。

3月	年長のお別れ会 年中のぺんぎんランド招待（6.7日） もうすぐお別れの年長さんに「ありがとう」を伝えたい！喜んでもらうことをしたい！という思いで作りに上げ楽しむ。 年少からプレゼント 未満からプレゼント 年長から年中・年少・未満へありがとうプレゼント 年長特別保育（8日）風越子どもの森公園へ お別れ遠足（16日） 以上児みんなで飯田美術博物館経由四季の広場へ 卒園式（25）年長児親子と職員で祝う。	年長親子交通安全教室・懇談会（9日）
----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------

(2)年間保健行事

保健行事	概要	実施機関
内科検診	1回目：6/9 2回目：10/27 12/1	菅沼病院 (菅沼加奈子医師)
歯科検診	1回目：6/27 7/1 2回目：12/12	歯科なかや (遠山清美医師)
健康診断	職員定期健診	中部公衆

6 安全管理

適用事項	実施回数	うち外部立会	備考
交通安全教室	3	3	警察署、生活安全指導員、交通安全支援センター
非常災害時の避難訓練	12	1	消防署（12月） 保護者引き渡し訓練（9月）
防火設備の点検	12	1	消防設備検査 避難訓練時目視検査
遊具点検	月1回	1	ナカハラ教材社
玩具消毒	日々		職員がその都度消毒
AED点検	0	1	3月バッテリー交換
不審者侵入訓練	1	0	各チームで行う

7 苦情報告

(1) 苦情件数

	苦情内容	保育園宛	第三者委員宛	サービス評価事業
①	保育サービスの係る事項	4	0	0
②	職員の接遇	0	0	0
③	事故・被害・損害	0	0	0
④	建物の構造に対する要望	0	0	0
⑤	法人・園運営に関する要望	0	0	0
⑥	法律・制度・施策に関する要望	0	0	0
⑦	事務手続きに関する事	0	0	0
⑧	守秘義務に関する事	0	0	0
⑨	その他	2	0	0
	合計	6	0	0

(2)考察

- ・第1子の子どもさんでお母さんは子育てがわからなかったり、一生懸命のため細かく要望を出してくると感じ気持ちを聞きながら納得できるように対応したり、確認をとったりした。「自分はクレマーだから」と宣言していたが、不安からくるものだと受け止めながら担任が負担になり気持ちが折れないようにホローをしていくことも配慮した。
- ・その他は駐車場の出入りの約束が守られていなかったこと、やき芋のけむりで驚かせてしまったことで地域への配慮不足。改めて地域へ迷惑が掛からないように心配りが必要と反省。

8 事故報告

(1)事故発生件数 (受診を要したもの)

	事故内容	発生件数	保護者報告	行政報告	本部報告
①	骨折	0	0	0	0
②	打撲・捻挫・脱臼	5	5	0	0
③	切傷・擦過傷	1	1	0	0
④	その他外傷	0	0	0	0
⑤	誤嚥・誤飲	0	0	0	0
⑥	食中毒	0	0	0	0
⑦	行方不明	0	0	0	0
⑧	水難	0	0	0	0
⑨	その他(アレルギー)	0	0	0	0
	合計	6	6	0	0

(2)考察

- ・脱臼しやすい子どもさんは自分で手をついたことでも脱臼してしまう。
- ・子どもは脱臼すると癖になりやすいので、保育士も気を付けてかかわるように確認しあう
- ・動きの多い子は思いついたら即行動で周りが見えていない。動きの様子を見ていて声をかけたり本児にも周りを見て動くことを繰り返し伝えていく。

(3)交通安全の状況

	事故内容	公務中の交通事故	通勤途上の交通事故	備考
①	人身事故	0	0	
②	対物事故	0	0	
③	自損事故	0	0	
④	その他	0	0	
	合計	0	0	

9 関係機関との連携 件数 (連携回数)

	連携機関	虐待	障がい	その他
①	児童相談所	0	0	0
②	子育て支援課	0	0	1
③	こども発達センターひまわり	0	0	
④	医療機関	0	0	0
⑤	小学校	0	0	1 (6)
⑥	その他	0	0	
	合計	0	0	2 (7)

10 運営・人材育成

(1)施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職員全体会	19	18	22	16	18	19	16	9	18	16	14	15	200
給食・食育会議	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
事故防止会議	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
クラス担任会議	8	8	8	8	8	10	12	8	8	8	12	14	112
感染症防止会議	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	1	15

(2)研修参加

(1) 研修の状況

	研修名	参加数	研修の内容
①	保育研究会 全ての研修は各保育園リ モートで行う	64名	やりたい!楽しい!あそびながら運動が好きになる(5月) 多様な子ども達の発達支援—未満児向け—(6月) 多様な子ども達の発達支援—以上児向け—(7月) 保護者の状況にそった支援の在り方(9月) 保育園でできる安全管理・危機管理(11月) 喜びにつながるわらべうた(12月)
②	保育部会総会	14名	子どもの「やりたい!」が発揮される保育環境(4月)
③	健康研究会	5名	給食担当者の質の向上を目指して
④	主任研修	4名	マネジメント研修
⑤	南信地域栄養士研修会	1名	食&健康の情報をより「伝える」ためのヒント
⑥	経過報告会	12名	元気なお口の育て方(2月)
⑦	キャリアアップ研修 (南信子育て塾・県保育研究 大会も含む)	延べ 90名	オンデマンド配信にて(乳児保育・幼児保育・障がい 児・食育、アレルギー・保健衛生、安全対策)
⑧	保育協会研修会	6名	子ども主体の保育～保育の「専門性」と「子ども理解」について(8月)
⑨	防災研修会	2名	講師 危機管理室後藤さん
⑩	職員研修	54名	◎あかりの保育方針をもとに 講師 上田女子短期大学 幼児教育学科 関 裕子先生 ◎保育所における虐待事例から予防と対応を考える 弁護士 三好登志行
⑦	絵本研修	延べ 78名	参考文献 「えほんのせかい・こどものせかい」 下沢洋子先生

(3)実習生の受入・職場体験

日程	学校名	人数	窓口	内容
6/6~6/16	長野県立大学	1名	福岡・桜井	保育実習
7/7~7/8	飯田 OIDE 長姫高校	2名	福岡・桜井	インターシップ
8/22~9/3	中部大学	1名	福岡・桜井	保育実習
10/31~11/14	飯田女子短期大学	1名	福岡・桜井	保育実習
11/28~12/8	長野県立大学	1名	福岡・桜井	保育実習

(4)地域交流

日 程	学校名	人 数	担当者	内 容
5/11	JA 青年部・夢かなえ隊	10名	福岡	じゃがいもの種植え
5/26	JA 青年部・夢かなえ隊	8名	福岡	田植え
6/1	JA 青年部・夢かなえ隊	7名	福岡	さつま芋の苗植え
7/28	JA 青年部・夢かなえ隊	7名	福岡	じゃがいも掘り
10/13	JA 青年部・夢かなえ隊	6名	福岡	稲刈り
10/18	JA 青年部・夢かなえ隊	7名	福岡	さつまいも掘り

令和4年度 県あかり児童クラブ事業報告（案）

目次

I 利用者処遇

1	利用者サービスの状況（振り返り）	1
2	保育時間	2
3	児童利用状況	3
4	職員状況	4
5	行事報告	4

II 運営管理（サービス状況報告）

6	安全管理	5
7	苦情報告	5
8	事故報告	5
9	関係機関との連携	6
10	運営 人材育成	6

エリア名	記載者	記載日
鼎あかり児童クラブ	桜井 芳子	令和5年5月2日

I 保育処遇

1 サービスの状況（振り返り）

【受け入れ状況】

- ・本年度より鼎あかり第1児童クラブ 30名（1年生・2年生）
鼎あかり第2児童クラブ 20名（3年生・4年生）の定員となる
4年生までの受入れをはじめたことにより、定員を増やしクラブも第1・第2と二つに分ける。
- ・年間登録児童51名
第1児童クラブ 1年生17名・2年生15名 計32名
※1年生2名・2年生3名の方をお断りしました。

第2児童クラブ 3年生14名・4年生5名 計19名
※3年生、4年生それぞれ1名の方をお断りしました。
- ・土曜日、長期休みのみ利用の登録児童
第1、第2合わせて10名の定員で募集
第1児童クラブ 1年生4名・2年生5名 計9名
第2児童クラブ 3年生2名 計2名
※14名の方をお断りしました。

【児童クラブでの取り組み】

- 子どもが安心して過ごせる環境を整える（新型コロナウイルス感染予防の中で）
本年度も新型コロナ感染予防対策に力を入れて運営をしてきました。
毎日行っている施設内の消毒、児童一人ひとりのマスク着用、手洗い、消毒は引き続き継続で行って来ました。
スタート直後、職員の感染により休館を行ったり、児童の感染により、休館を余儀なくされましたが、ゴールデンウィーク、土日連休などにより、実際に休館で保護者の方にご迷惑をおかけするのは1～2日で済みました。
また、お弁当やおやつの時の黙食、学年ごとで部屋を分けるなど、感染が広がらないように環境作りを考えてきました。
感染が拡大している時には、遊びの環境も、一人でできるものにすることや、2、3人で遊べるものになりました。そんな中 LAQ では、よい作品がたくさんでき子ども達の創造力や集中力に驚かされました。また、冬の間は編み物も流行り、毛糸のボンボンを作ったり、あやとりのひもを作ったりして一人ひとりが作る喜びを味わうことができました。
- 安全面に留意しながら子ども達が主体的に遊びや生活ができるようにする
クラブでの生活は子ども達が自分達で進めていこうとする気持ちが年々強くなり、クラブの中で自然とリーダーができ、その子を中心にみんなが同じ目標でクラブの生活をしていく姿ができてきました。年間の行事の中でも、子ども達に任せるところは子ども達に任せてやるなど、自分たちで企画し進めていく中で、子ども達の絆も深まったように思います。
ただ、遊びの中で、危険を感じ、安全面で気を付けるところなどは、支援員が投げかけみんな考えていくといった形をとってきたので、クラブのルールについては、子ども達の中に浸透しました。子ども達の創造力は遊びを考えたり作り上げたりする中で発揮されていて、こちらも驚くほどでした。
また、主体的に進めていく中でも、困ったこと、分からない事は何でも支援員や、支援員補助に聞くよ

うに話しています。困った事や分からない事をそのままにせず何でも聞けるそんな関係も大事にしていきたいです。

●あいさつや、言葉使いを丁寧にする

子ども達と支援員の関係は親しく、仲良くしていきたいと考えていますが、“親しき仲にも礼儀あり”の諺のようにポイント（物を受け取る時、頼みごとをやってもらった時、お願いする時など）の所では、きちんとできるようにしていきました。

中々思ったようにできない事もありますが、気づけるような言葉かけをし自分たちが気を付ける場面では自分で気を付ける姿もありました。

クラブという小さな社会ですが、大切に考えこだわっていききたいです。

●保育園とのかかわりを持ち、ちいさな子ども達との交流を通して関りの幅を広げる。

クラブの利用者には卒園児が多く、園庭を共有させていただいている関係で保育園からのつながりがあるので、一緒に遊ぶ姿が見られます。普段からのこうした関りがあるからか、夏休み中に行う夏祭りでは、保育園の子ども達を招待したいと声が出たり、運動会の後には学年ごとのダンスを園児たちに披露したいという希望があり、園庭で園児や保育園の先生方に披露しました。小学生ならではの子ども達の姿を見せてくれ小学生にとっても自分たちの自信につながっているように感じます。

保育園から児童クラブへと、そのつながりを大切にしたい活動ができるのは「あかり」ならではの特色です。今後もその特色を生かした活動ができるようにしていきたいです。

●一人一人に対する支援を学び、適切な対応ができるようにする。

塚原 PT の指導を毎月受けながら、短い時間の関りの中ではあったが、一人ひとりに適切な対応ができるように関りを持ってきました。

●保護者と共に子育てをしていく。

毎日の迎え時に、その日の子どもの様子やいい面などを見つけて保護者に伝えることで、一緒に子どもさんの良い面を共有し、見ていくことができました。また、そうした関りの中で、子ども達の成長を感じ取ることができて嬉しかったです。

●保護者のニーズに合ったサービスを求めて

本年度から、保護者から要望のあった4年生からの受入れが実現できた。人数はそれほど多くはなかったが、困っている家庭にとっては良かったのではないかと思います。

また、年々増えている長期休みのみの利用者ですが、その部分では何とかクラブとしても協力できないかと考えています。来年度には長期休みの利用の仕方を工夫し、もう少し多くの方を受け入れられるように考えていきたいです。

2 児童クラブ開所時間

- (1) 平日 下校時～19時まで
- (2) 土曜日、長期休み 8:15～19:00まで

3 児童利用状況 定員40名

	4月 開所日数 24日 51名			5月 開所日数 22日 50名			6月 開所日数 26日 49名		
	在籍人数	延べ人数	6時半以降	在籍人数	延べ人数	6時半以降	在籍人数	延べ人数	6時半以降
1年生	17	213	9	17	244	9	17	334	23
2年生	15	203	22	15	200	20	14	265	59
3年生	14	205	7	14	149	5	14	235	24
4年生	5	66	20	4	53	11	4	77	25
土曜日	9.16.23. 30日 4日間	1年生	3	14.21.28 3日間	1年生	4	4.18.25 3日間	1年生	3
		2年生	1		2年生	1		2年生	0
		3年生	7		3年生	2		3年生	1
		4年生	2		4年生	2		4年生	0
備考	4年生 4月末 1名退館			5/2 コロナ蔓延防止のため閉館 2年生 5月末 1名退館					

	7月 開所日数 25日 50名			8月 開所日数 23日 50名			9月 開所日数 24日 49名		
	在籍人数	延べ人数	6時半以降	在籍人数	延べ人数	6時半以降	在籍人数	延べ人数	6時半以降
1年生	18	275	8	18	239	7	17	252	12
2年生	14	200	25	14	165	10	14	202	37
3年生	14	163	11	14	139	7	14	189	17
4年生	4	43	8	4	57	7	4	56	24
土曜日	2.9.16. 23.30 5日間	1年生	4	27 1日間	1年生	1	10.17.24 3日間	1年生	0
		2年生	1		2年生	0		2年生	0
		3年生	1		3年生	0		3年生	4
		4年生	1		4年生	0		4年生	0
備考	7/1 より 1年生 1名入館			8/20.21.22 コロナ蔓延防止のため閉館 8月末 1年生退館			9月末 3年生 1名 1年生 1名 退館		

	10月 開所日数 26日 47名			11月 開所日数 24日 43名			12月 開所日数 24日 43名		
	在籍人数	延べ人数	6時半以降	在籍人数	延べ人数	6時半以降	在籍人数	延べ人数	6時半以降
1年生	16	220	13	15	218	7	15	232	7
2年生	14	204	32	14	157	28	14	208	36
3年生	13	163	12	11	147	12	11	186	15
4年生	4	52	12	3	42	6	3	52	14
土曜日	15.22. 29 3日間	1年生	0	5.12 2日間	1年生	0	3回	1年生	0
		2年生	0		2年生	1		2年生	0
		3年生	5		3年生	3		3年生	4
		4年生	0		4年生	0		4年生	0
備考	4年生 1名 3年生 2名 1年生 1名 10月末退館						3年生 1名 2年生 2名 12月末 退館		

	1月 開所日数 23日 40名			2月 開所日数 22日 41名			3月 開所日数 24日 41名		
	在籍人数	延べ人数	6時半以降	在籍人数	延べ人数	6時半以降	在籍人数	延べ人数	6時半以降
1年生	15	222	8	16	238	6	16	294	8
2年生	12	188	20	12	204	18	12	225	21
3年生	10	160	8	10	147	9	10	179	11
4年生	3	45	6	3	40	5	3	49	9
土曜日	7.14.21 2日間	1年生	0	18.25 2日間	1年生	1	4 1日間	1年生	0
		2年生	2		2年生	1		2年生	0
		3年生	2		3年生	2		3年生	1
		4年生	0		4年生	0		4年生	0
備考				2/1より 1年生 1名入館					

4 職員状況

(1) 3月末日在籍

館長	1名	放課後支援員	2名	補助員	3名
----	----	--------	----	-----	----

5 行事報告

(1) 年間行事の実績報告

月	内容	
4月	1年生を迎える会	4年生が中心となりスタートし、そこに2,3年生のやりたいお友達加わって迎える会の準備をしました。自分たちで劇の台本も書きペープサートを作りました。また、「①手洗いチーム」「②生活チーム」「③やちゃあいけないことチーム」でクラブの生活やルールを分かりやすく、楽しく伝えてくれました。
5月	お花まつり	今年も紙芝居を読み、保育園の花御堂を借りてお花まつりを行いました。
6月	ゴーヤを植える	今年も、自分たちで当番を作り、水やりをして世話を始めました。
7月	水鉄砲大会	家から水鉄砲を持って来てみんなで水のかけ合いをしました。保育園の園庭や水を使わせてもらい暑い夏を楽しむことができました。
	七夕	空き容器を使ったりして飾り物を自分たちで作って笹に飾り付けました。今年もコロナが早くなるようお願いが多かったです。羽場崎さんから夏の星座の話をしてもらい七夕にもう一つの楽しみができました。
8月	夏祭り	今年もお祭りやろう！の声で始まった、クラブの夏祭り。「おばけやしき」「射的」「屋台」「ピタゴラス」「的あて」「魚釣り」と6チームに分かれて準備をしました。保育園児を招待すると予定していた日にコロナが出てしまい、中止か、延期かみんなで話し合い、延期としてその日を待ち保育園児を招待して夏祭りを楽しみました。
9月	避難訓練	実際にシェイクアウト訓練を行う。小学生さすがに上手に避難ができました。
	ゴーヤ収穫	ゴーヤがたくさん収穫でき・ゴーヤチップスを作ってもらいみんなでおいしくいただきました。
10月	運動会披露	運動会で行ったダンスを保育園の園庭で保育園児に披露しました。
	ハロウィンパーティー	職員による出し物やゲームなど内容も豊富。いつもはコロナで友達同士一つになって遊ぶことができないでいましたが、リレーゲームやお菓子GETなど、みんなで楽しく遊ぶことができました。
12月	クリスマス会	職員のサンタクロースにニヤニヤしながらの小学生でした。プレゼ

		ントのお菓子や文房具に喜んだり、リレーゲームをしたりころがしドッチを楽しめた。
	大掃除	床に雑巾がけをしたり、棚を拭いたり、窓を拭くなど全員で行うことができました。
2月	節分	怖がる一年生をよそに赤鬼、青鬼が登場しました。落花生をまいて鬼を追い払うことができました。
3月	保護者会作業 年度末報告会	保護者の方 38 名が参加してくださり、窓ふきを中心にお掃除をしてくださいました。その後一年間の報告をさせて頂き、クラブでの子ども達の様子を保護者の方に知っていただく場となりました。
	お別れ会	3年生を中心に「お別れ会」の企画をしてくれ準備を始めました。4年生もクラブのお友達一人ひとりにメッセージを書いてくれ心温まるメッセージができました。お別れ会の日には、4年生に向けてエールを送ったりして今までの感謝をしました。

6 安全管理

適用事項	実施回数	うち外部立会	備考
避難訓練	2	0	

7 苦情報告

(1) 苦情件数

	苦情内容	児童クラブ宛	第三者委員宛	サービス評価事業
①	保育サービスの係る事項	0	0	0
②	職員の接遇	0	0	0
③	事故・被害・損害	0	0	0
④	建物の構造に対する要望	0	0	0
⑤	法人・園運営に関する要望	0	0	0
⑥	法律・制度・施策に関する要望	0	0	0
⑦	事務手続きに関すること	0	0	0
⑧	守秘義務に関すること	0	0	0
⑨	その他	0	0	0
	合計	0	0	0

(2) 考察

--

8 事故報告

(1) 事故発生件数 (受診を要したもの)

	事故内容	件数	保護者報告	行政報告	本部報告
①	骨折	1	0	0	0
②	打撲・捻挫・脱臼	0	0	0	0
③	切傷・擦過傷	0	0	0	0
④	その他外傷	0	0	0	0
⑤	誤嚥・誤飲	0	0	0	0
⑥	食中毒	0	0	0	0
⑦	行方不明	0	0	0	0
⑧	水難	0	0	0	0
⑨	その他(アレルギー)	0	0	0	0
	合計	1	0	0	0

(2) 考察

クラブに来るときに、門の前でこけて腕の骨を折る。子ども達には、学校が終わり気持ちも緩んでいるので、ふざけないで歩くことを伝える。お金の方は傷害保険を使いお支払いをする。保護者の方はご迷惑をかけてということでお話があった。

9 関係機関との連携 件数 (連携回数)

	連携機関	虐待	障がい	その他
①	児童相談所	0	0	0
②	子育て支援課	0	0	0
③	こども発達センターひまわり	0	0	0
④	医療機関	0	0	0
⑤	小学校	0	0	0
⑥	その他	0	0	1 1
	合計	0	0	1 1

10 運営・人材育成

(1) 施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
職員全体会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1 2
塚原 PT 研修	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1 1

(2) 施設外研修

・放課後児童クラブ職員研修

「発達が気になりな子どもへの対応」 1名参加